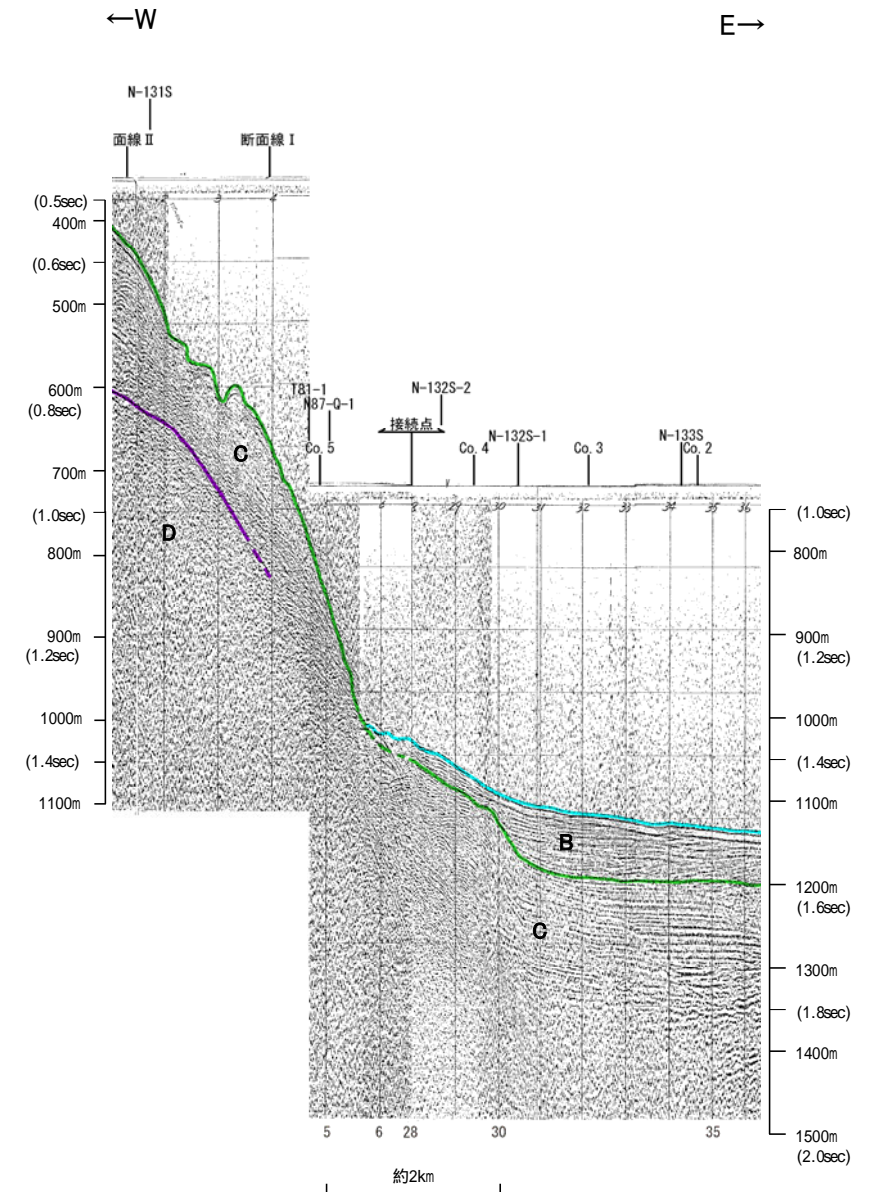
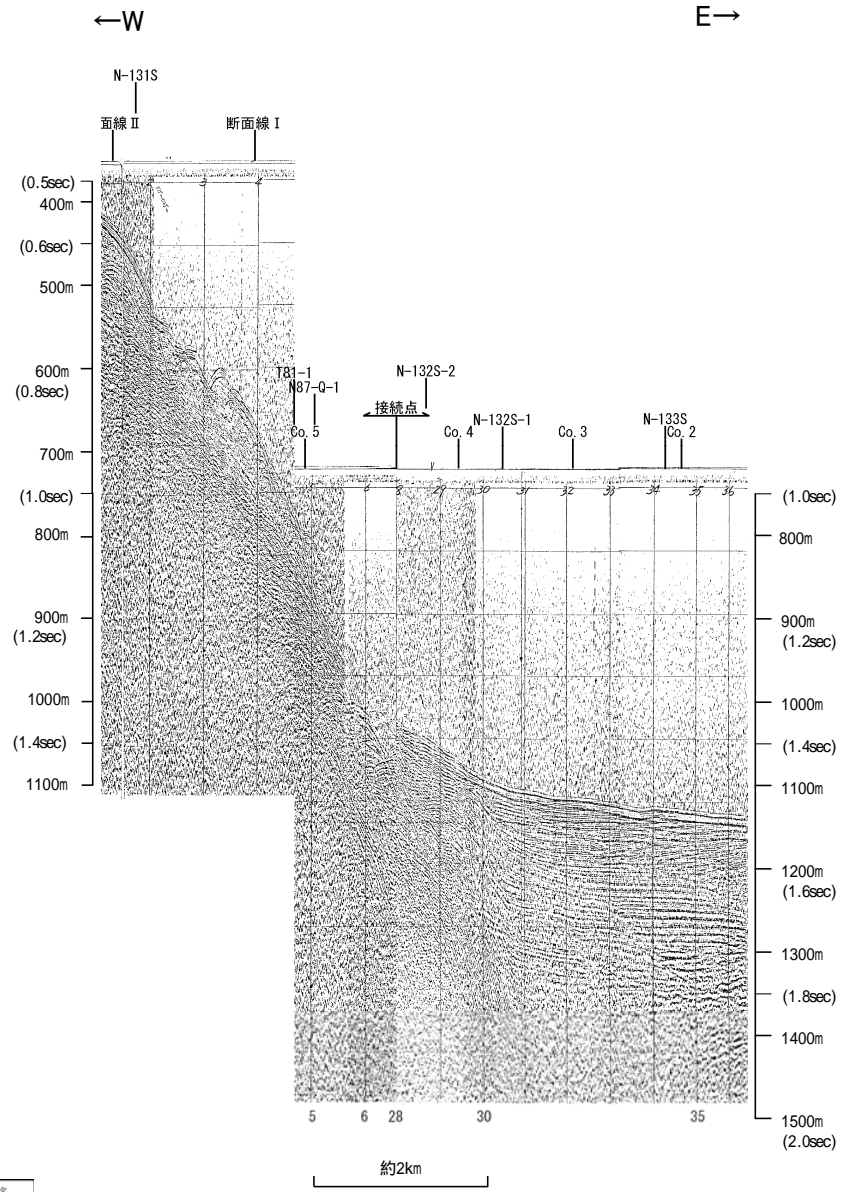
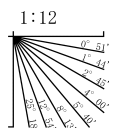


海上保安庁スパーカー L-24

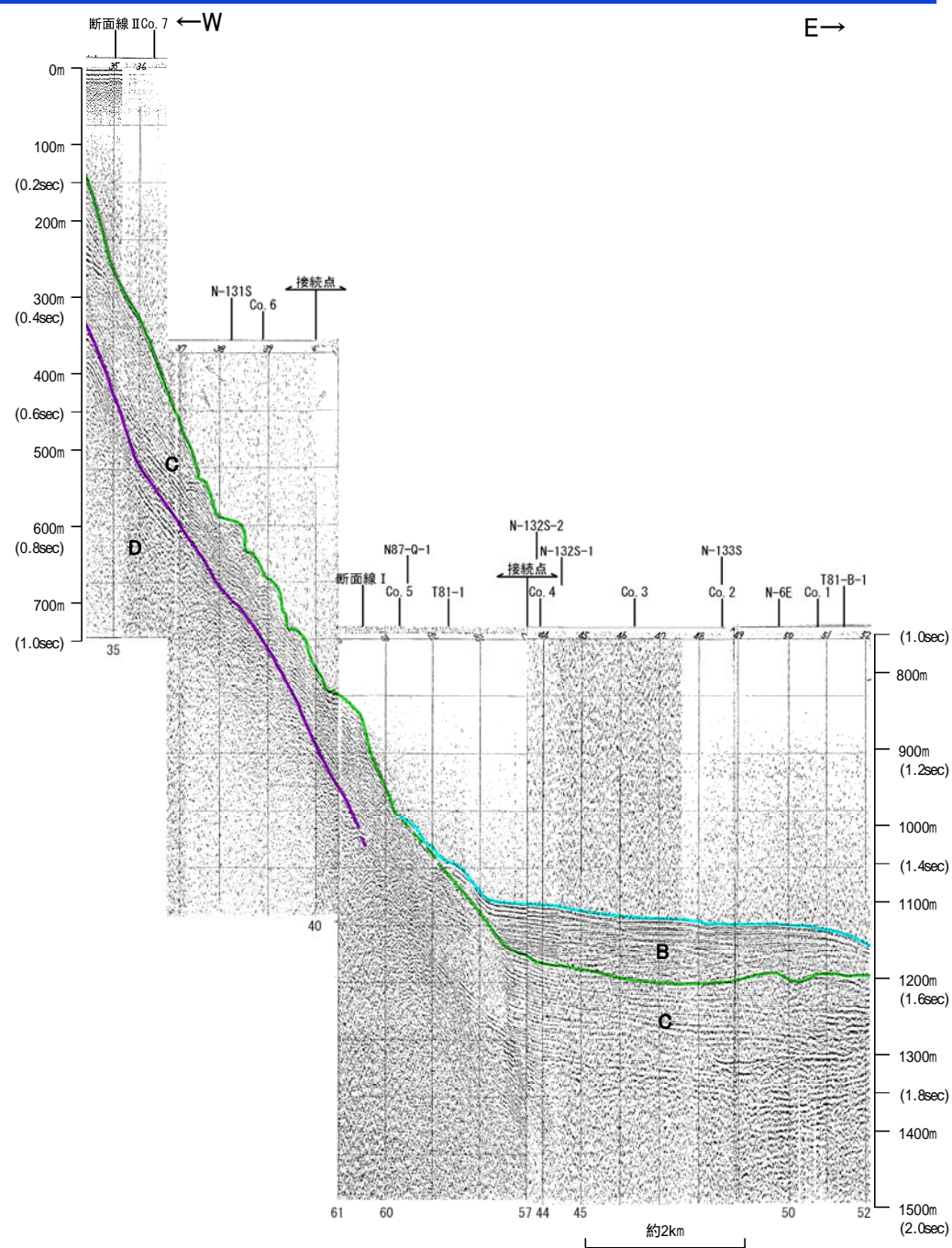
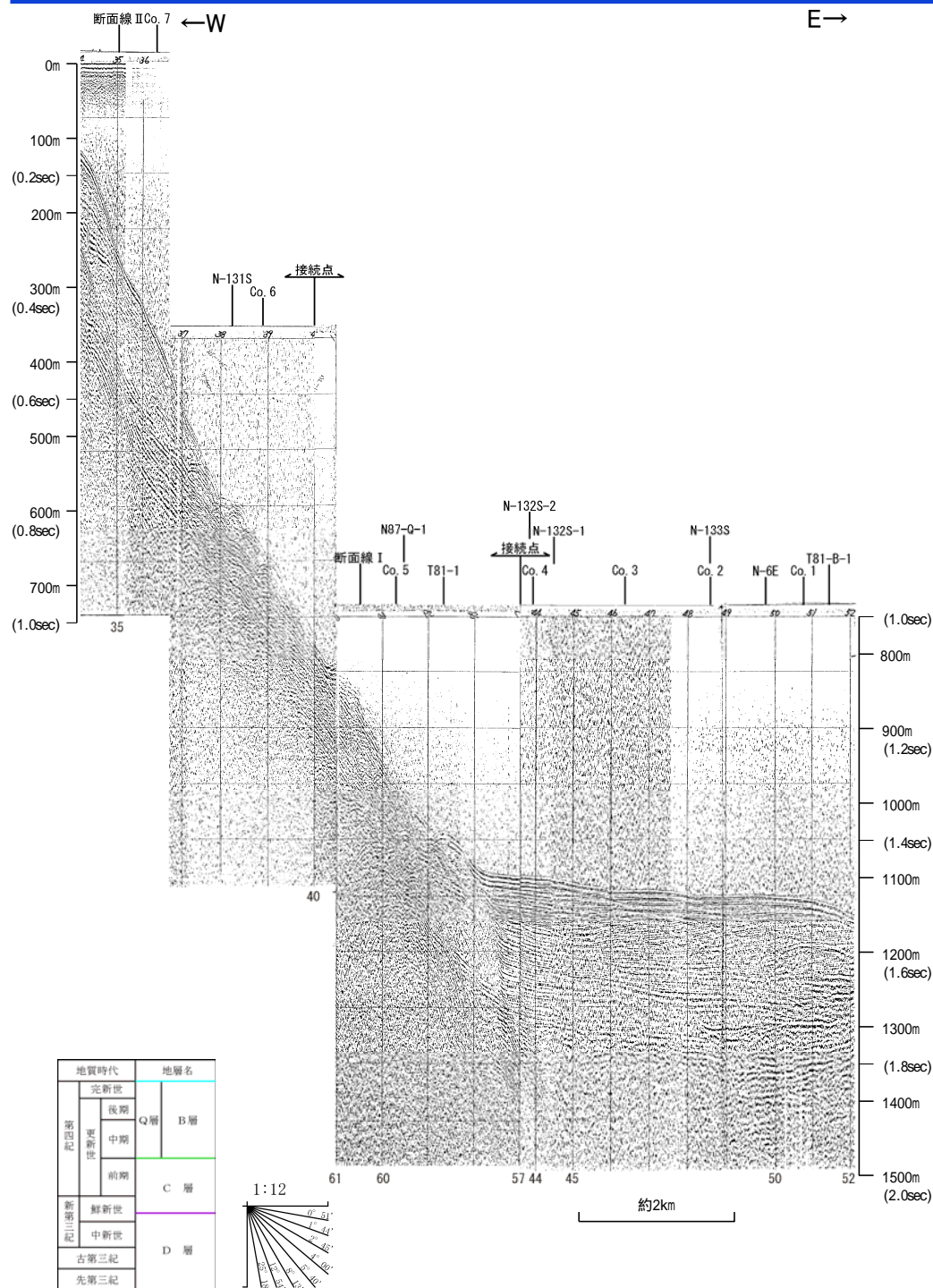


地質時代		地層名
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	
第三紀	前期	C層
	中新世	D層
古第三紀		
先第三紀		



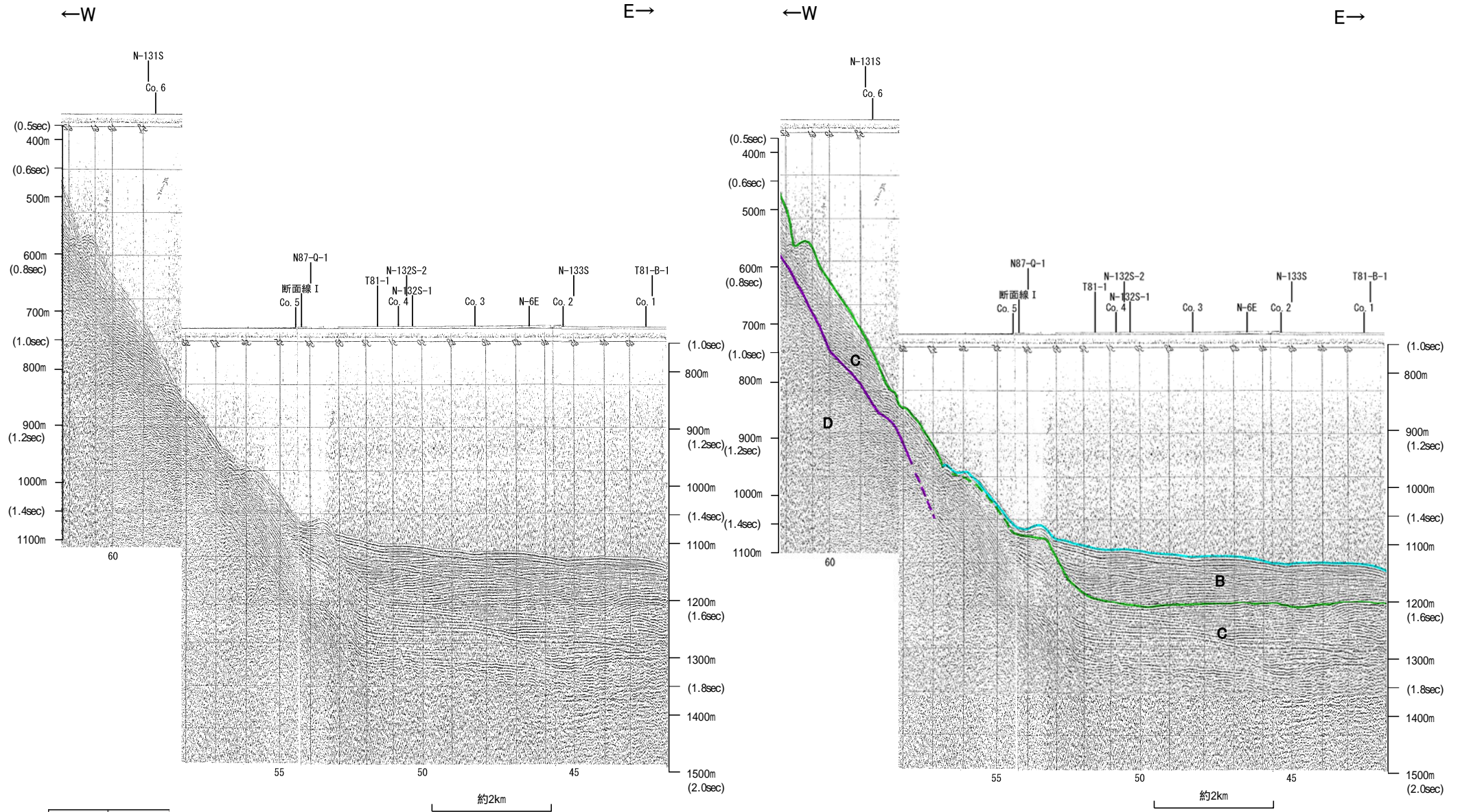
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-23

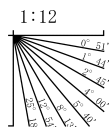


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-22

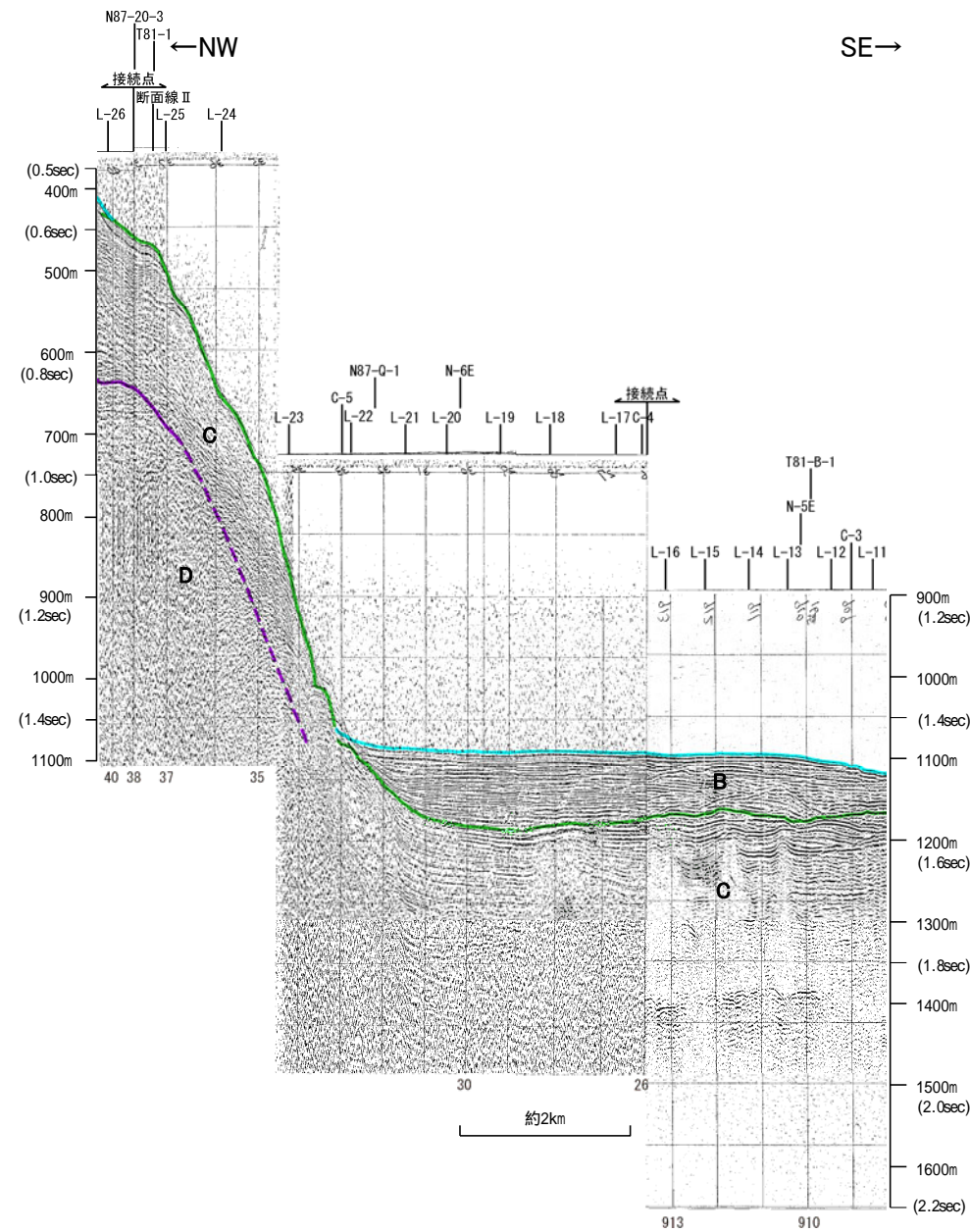
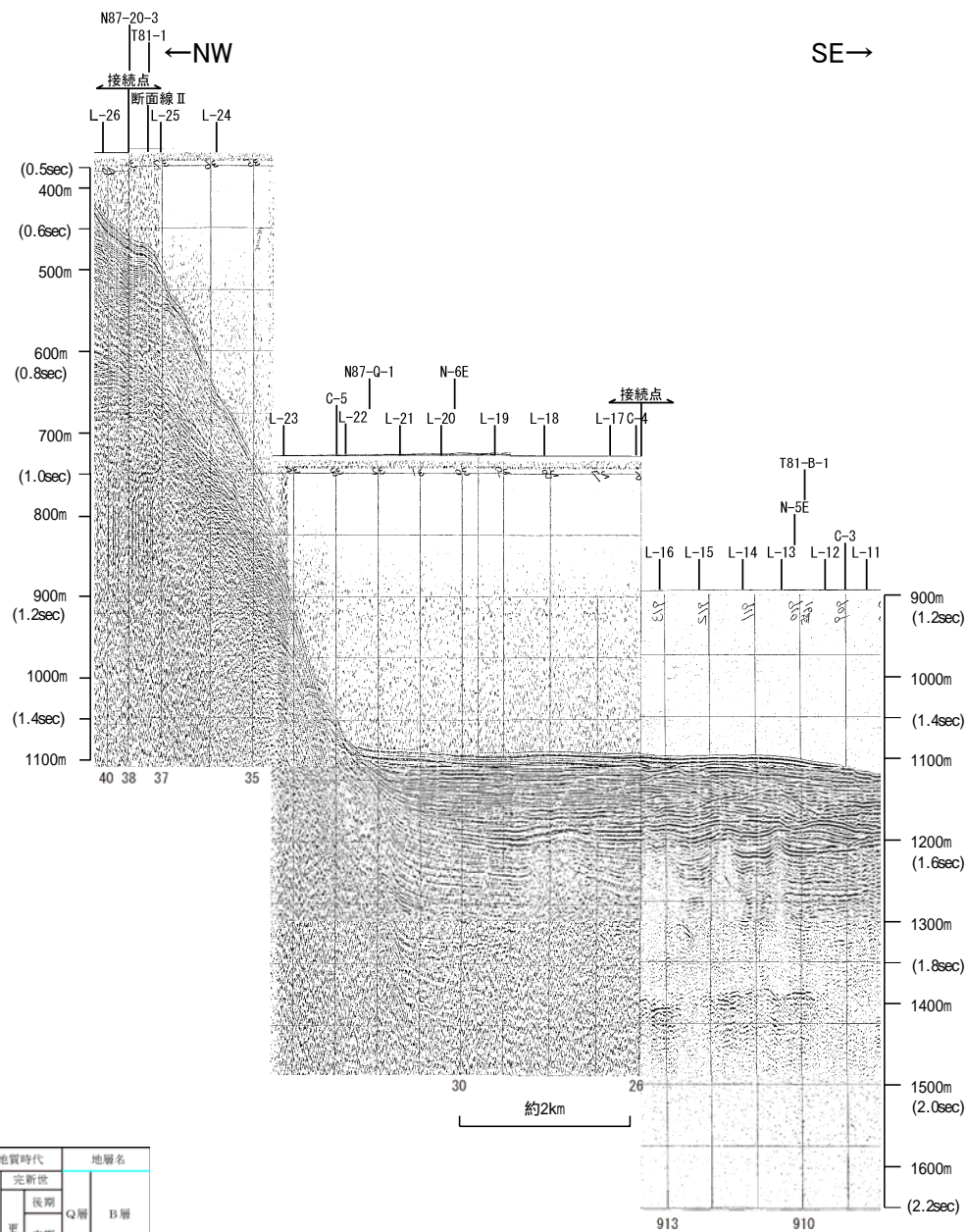


地質時代		地層名
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	
第四紀	前期	C層
	新第三紀	D層
中新世		
古第三紀		
先第三紀		

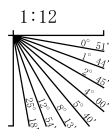


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー 断面線 I

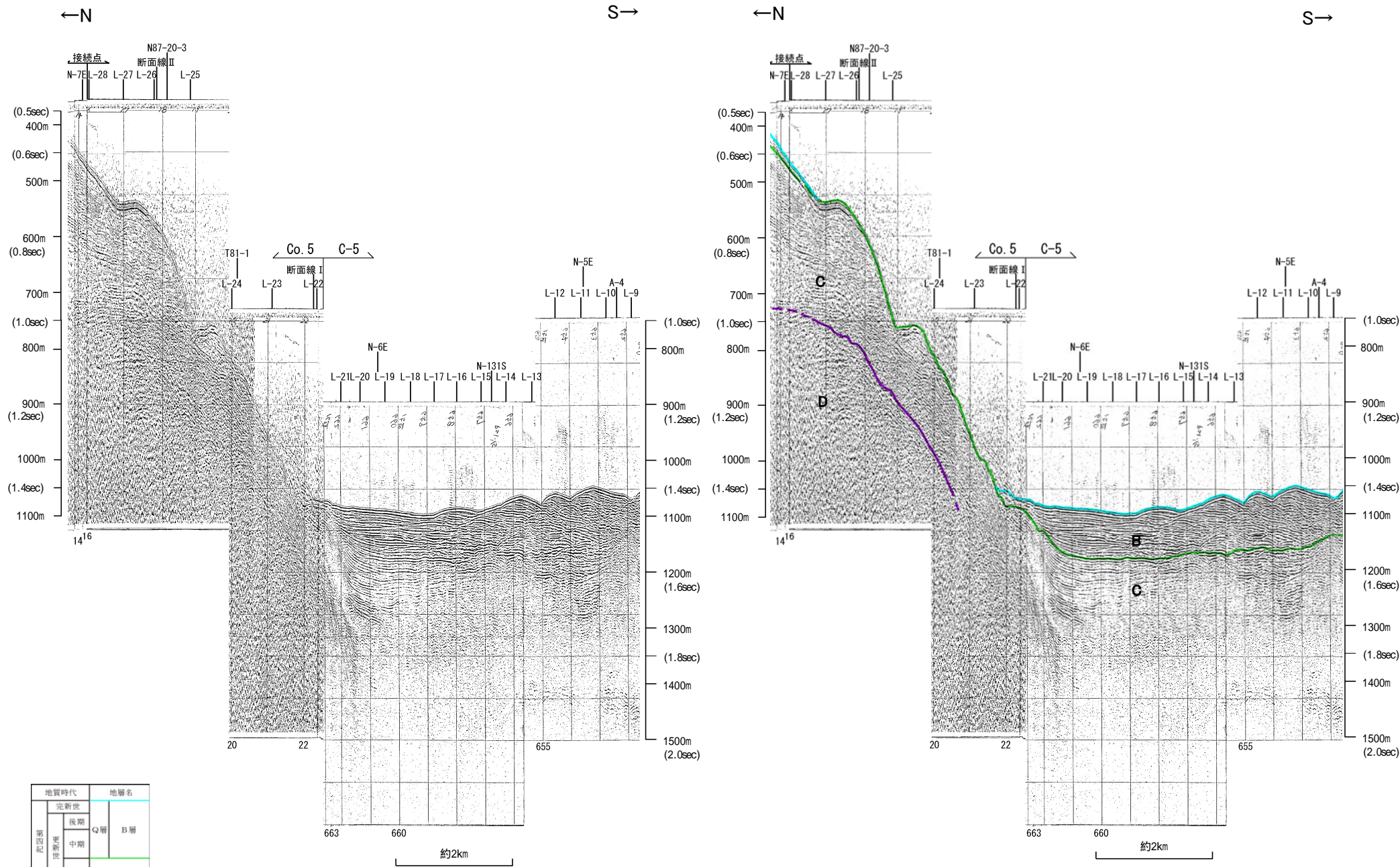


地質時代		地層名
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	
更新世	前期	C層
	前期	D層
中新世		
古第三紀		
先第三紀		

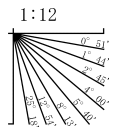


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー Co.5,C-5



地質時代		地層名
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	
更新世	前期	C層
	前期	D層
第三紀	中新世	
第三紀	古第三紀	
第三紀	先第三紀	



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

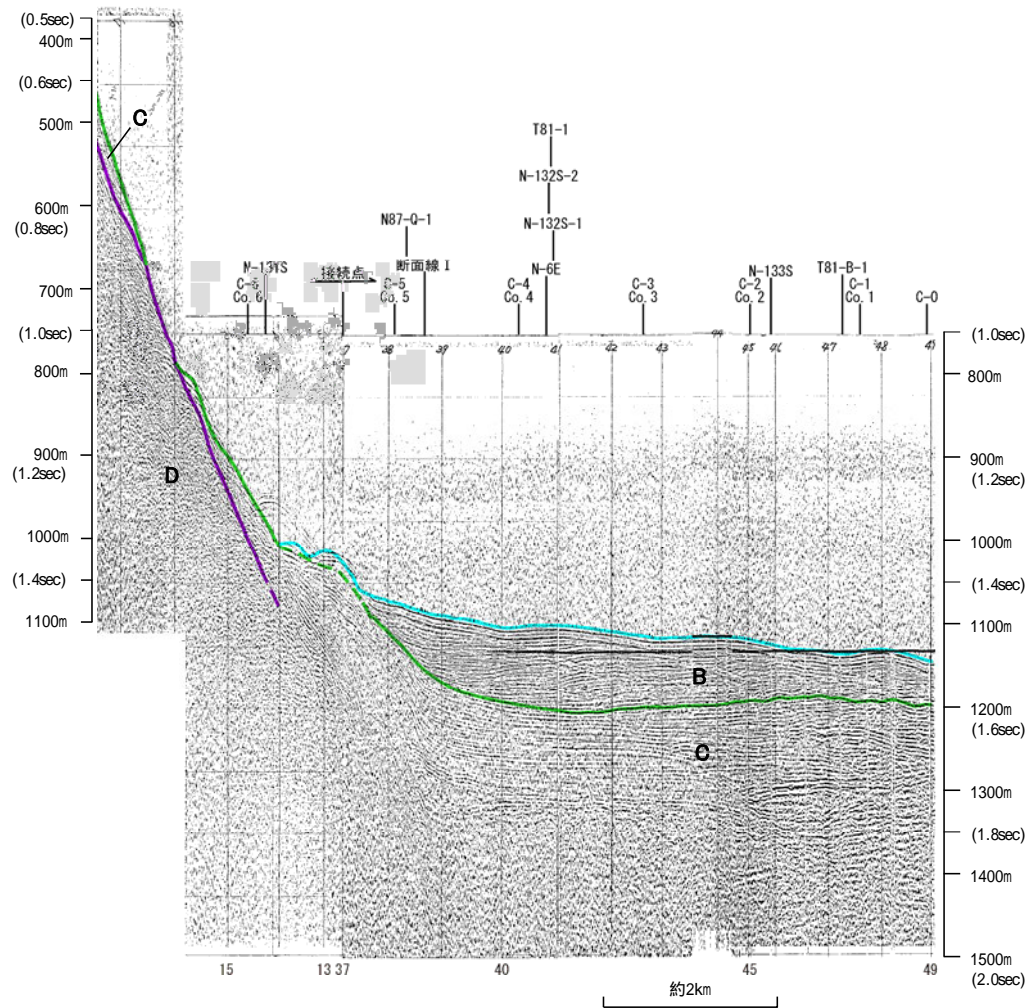
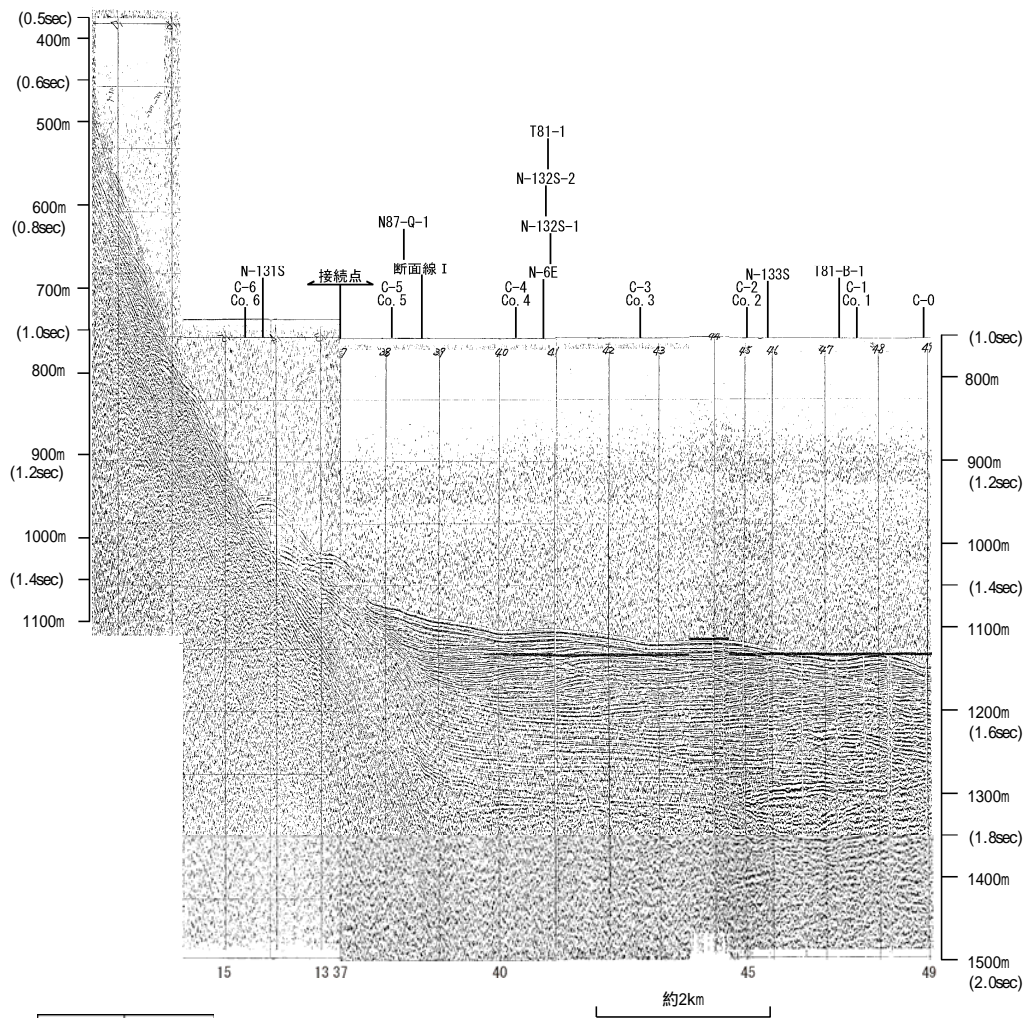
海上保安庁スパーカー L-21

←W

E→

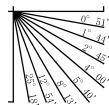
←W

E→



地質時代		地層名
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	
更新世	前期	C層
	前期	D層
中新世		
古第三紀		
先第三紀		

1:12

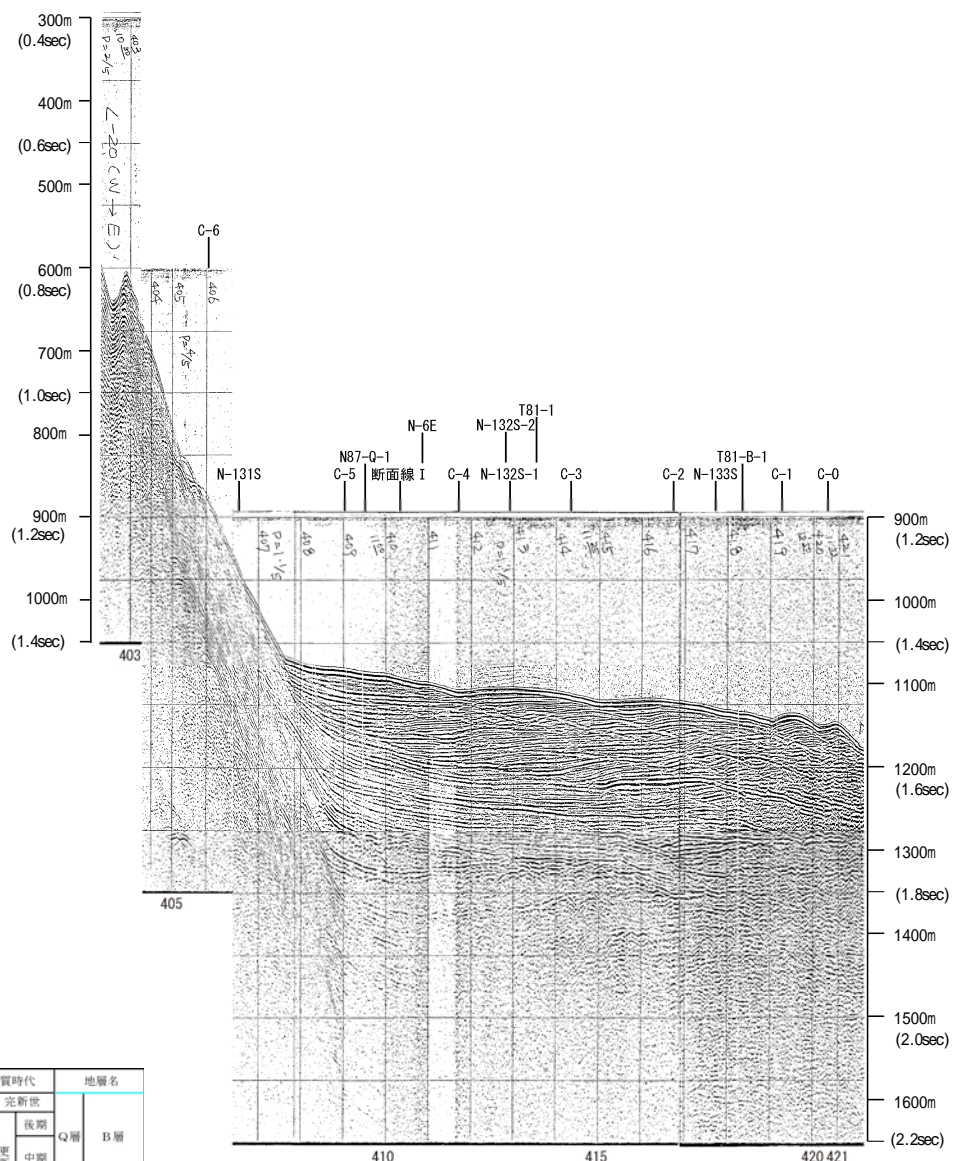


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-20

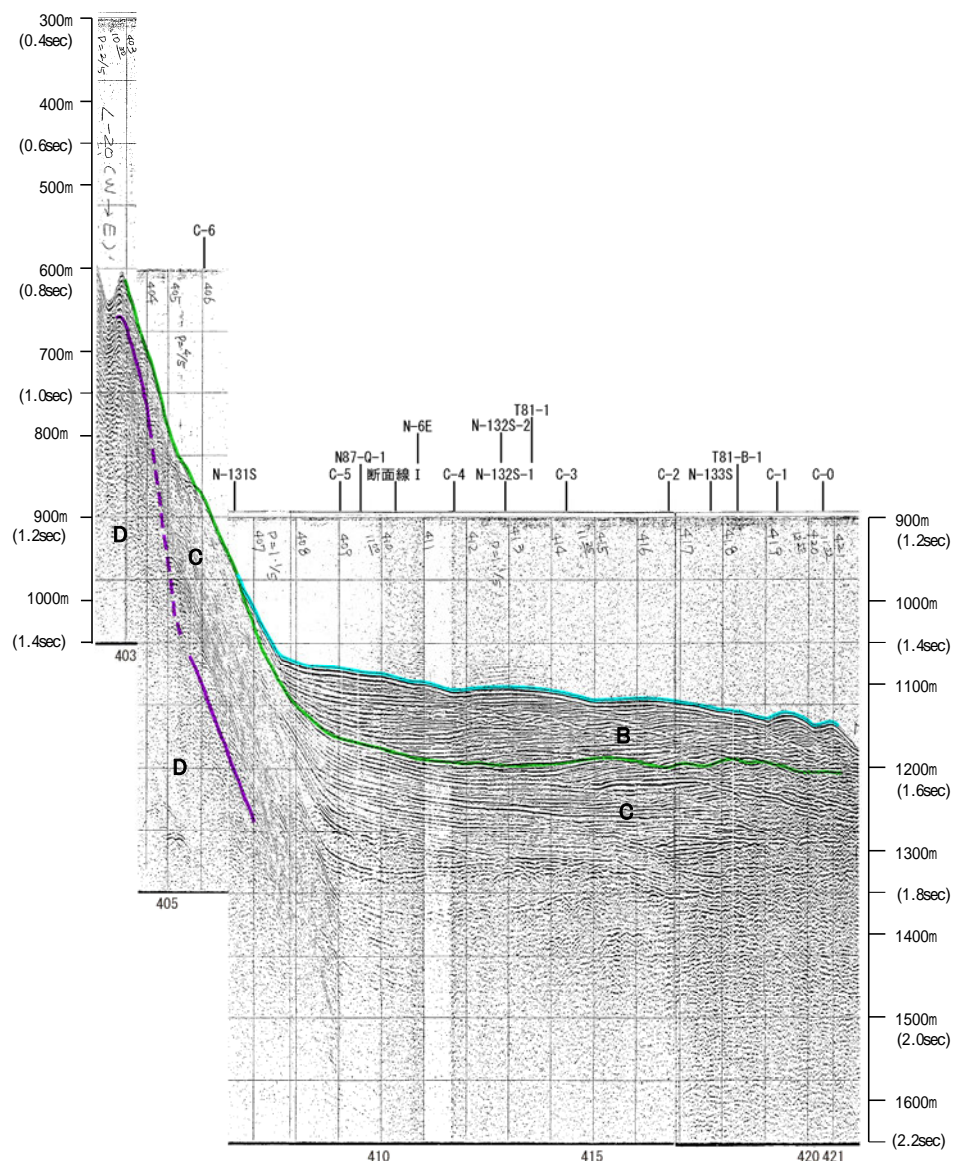
←W

E→

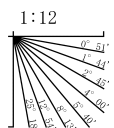


←W

E→

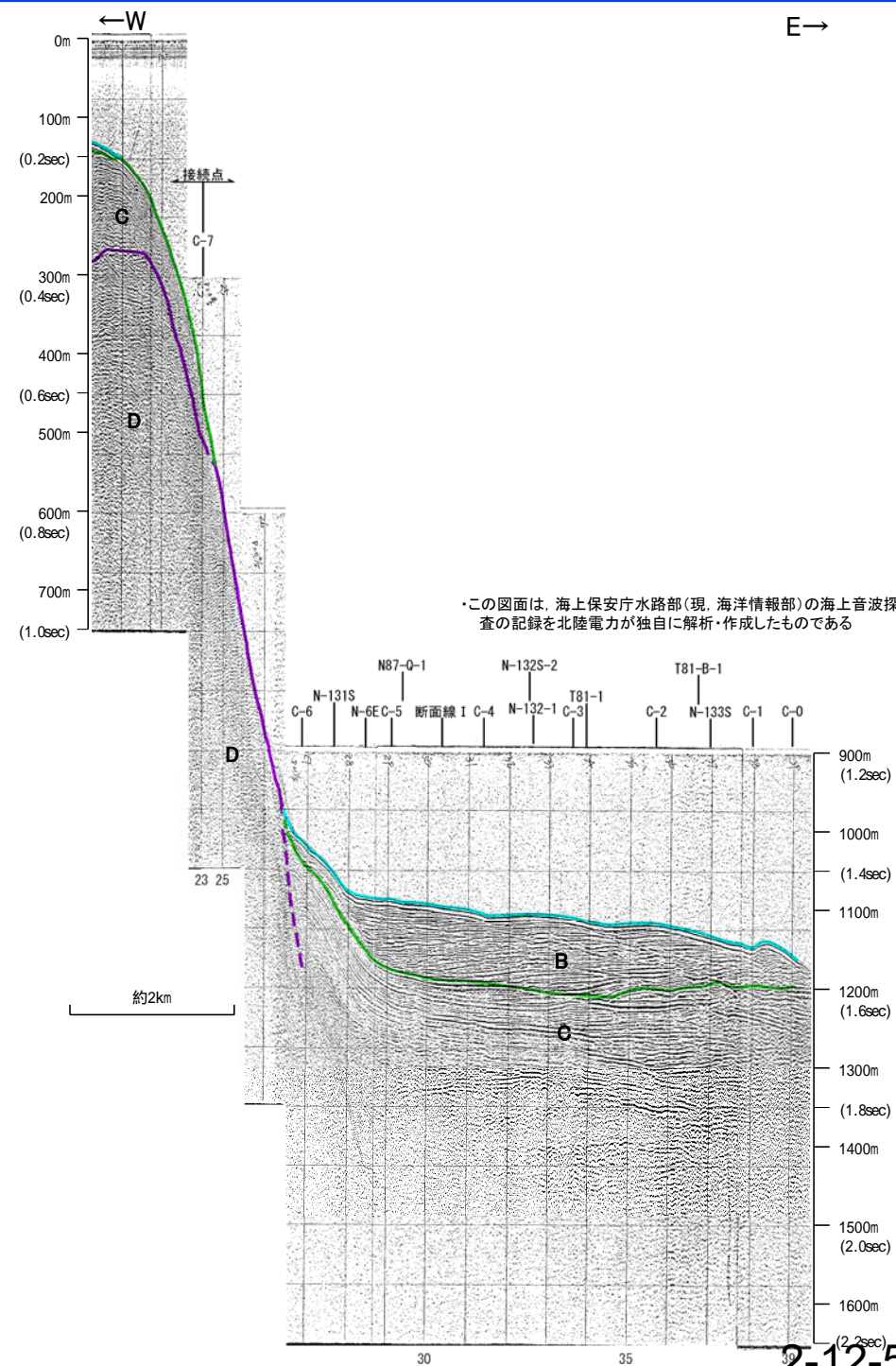
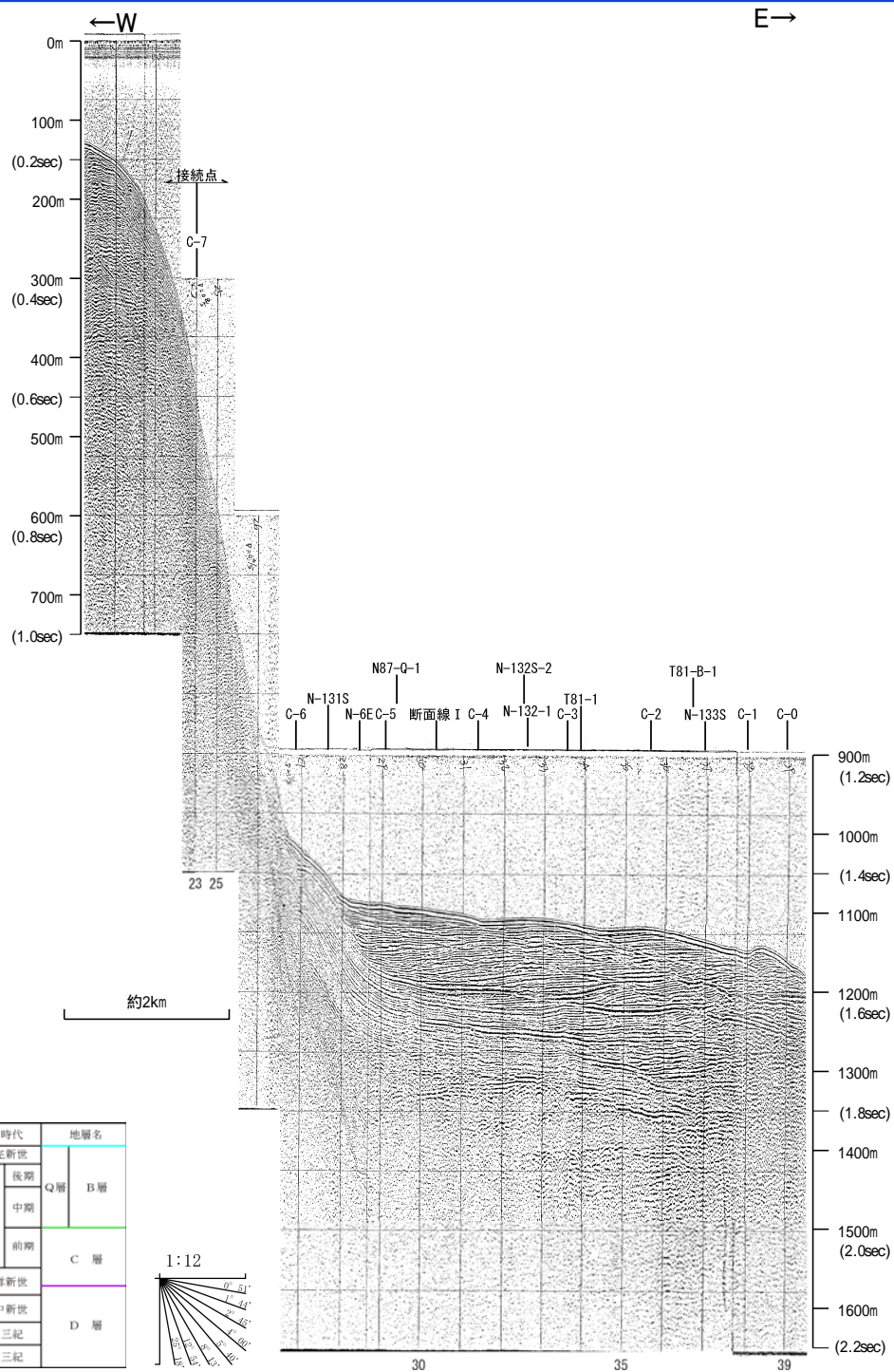


地質時代		地層名
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	
更新世	前期	C層
	前期	D層
第三紀	中新世	D層
	古第三紀	
先第三紀		



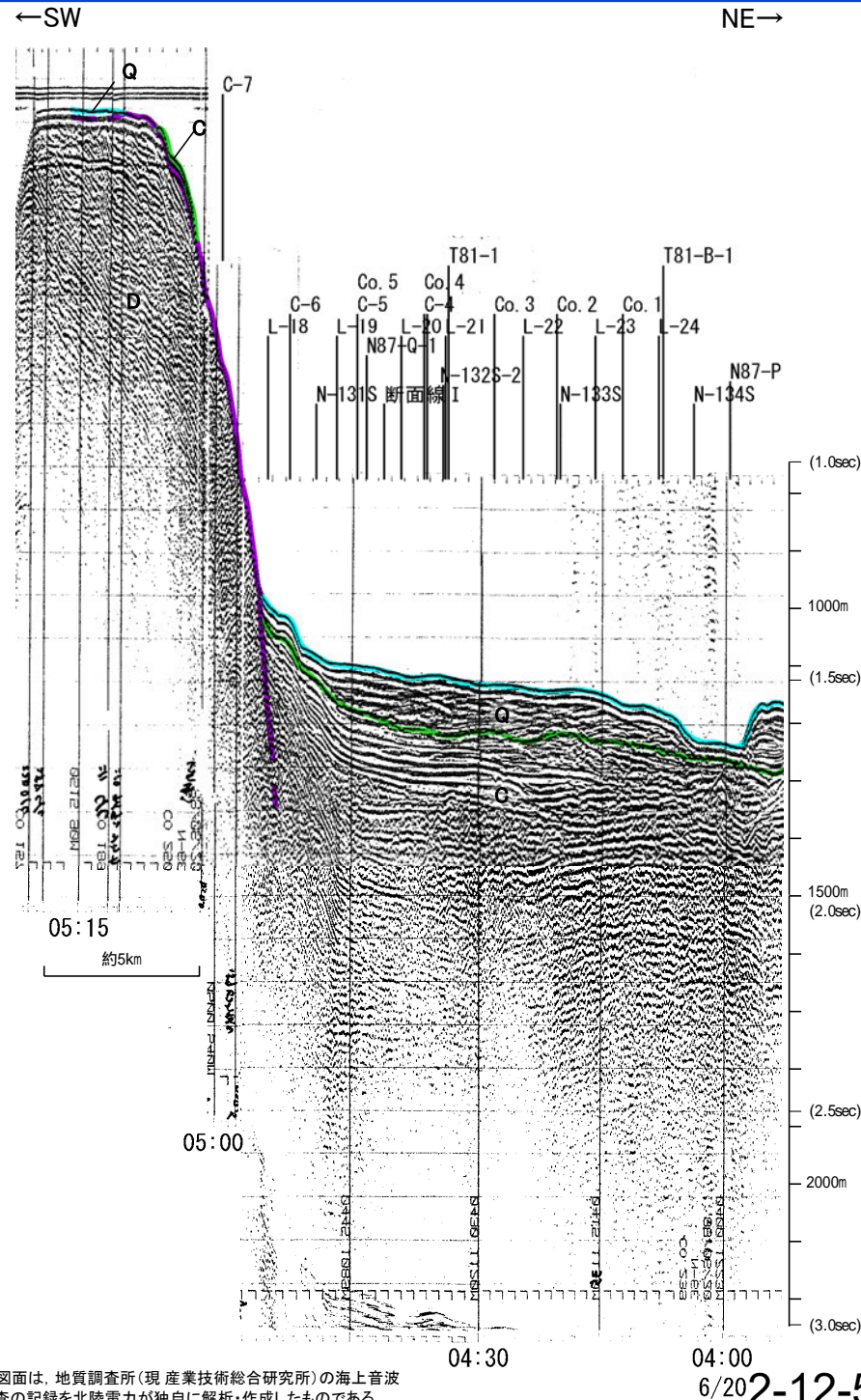
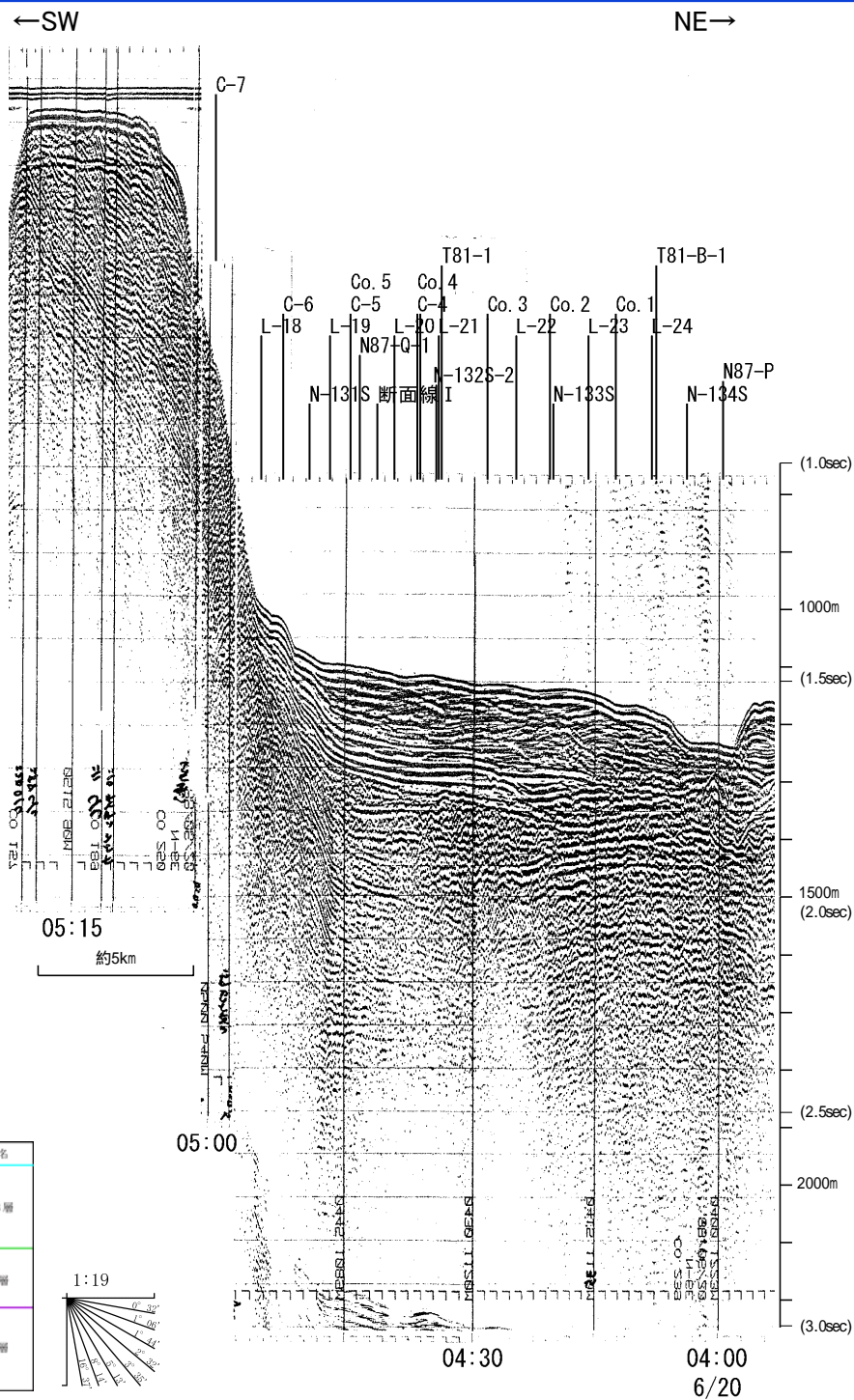
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-19

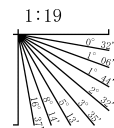


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-6E



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
第三紀	前期	C層	
	中新世		
古第三紀	中新世		
	古第三紀	D層	
先第三紀			



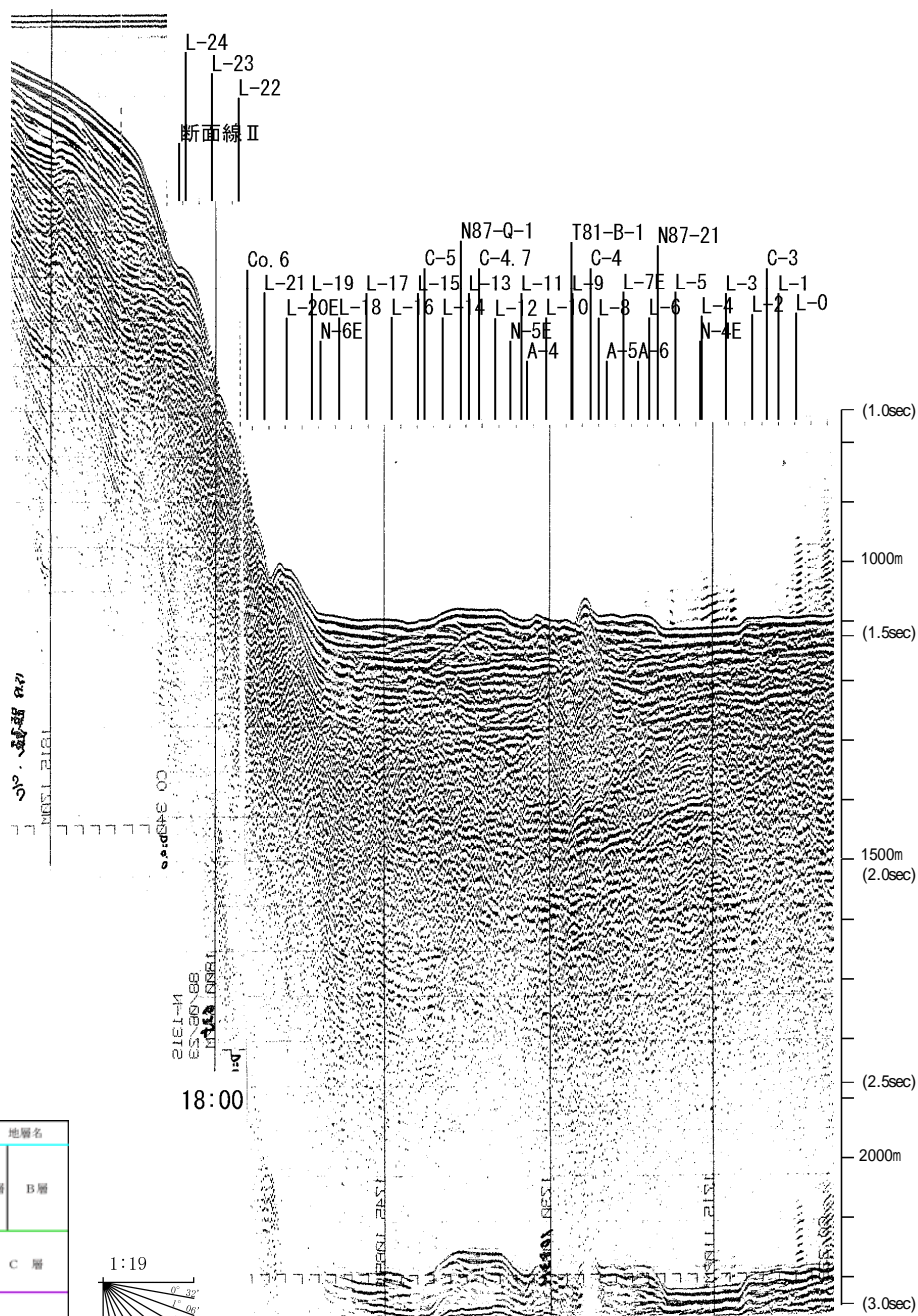
この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

2-12-52

地質調査所エアガン N-131S

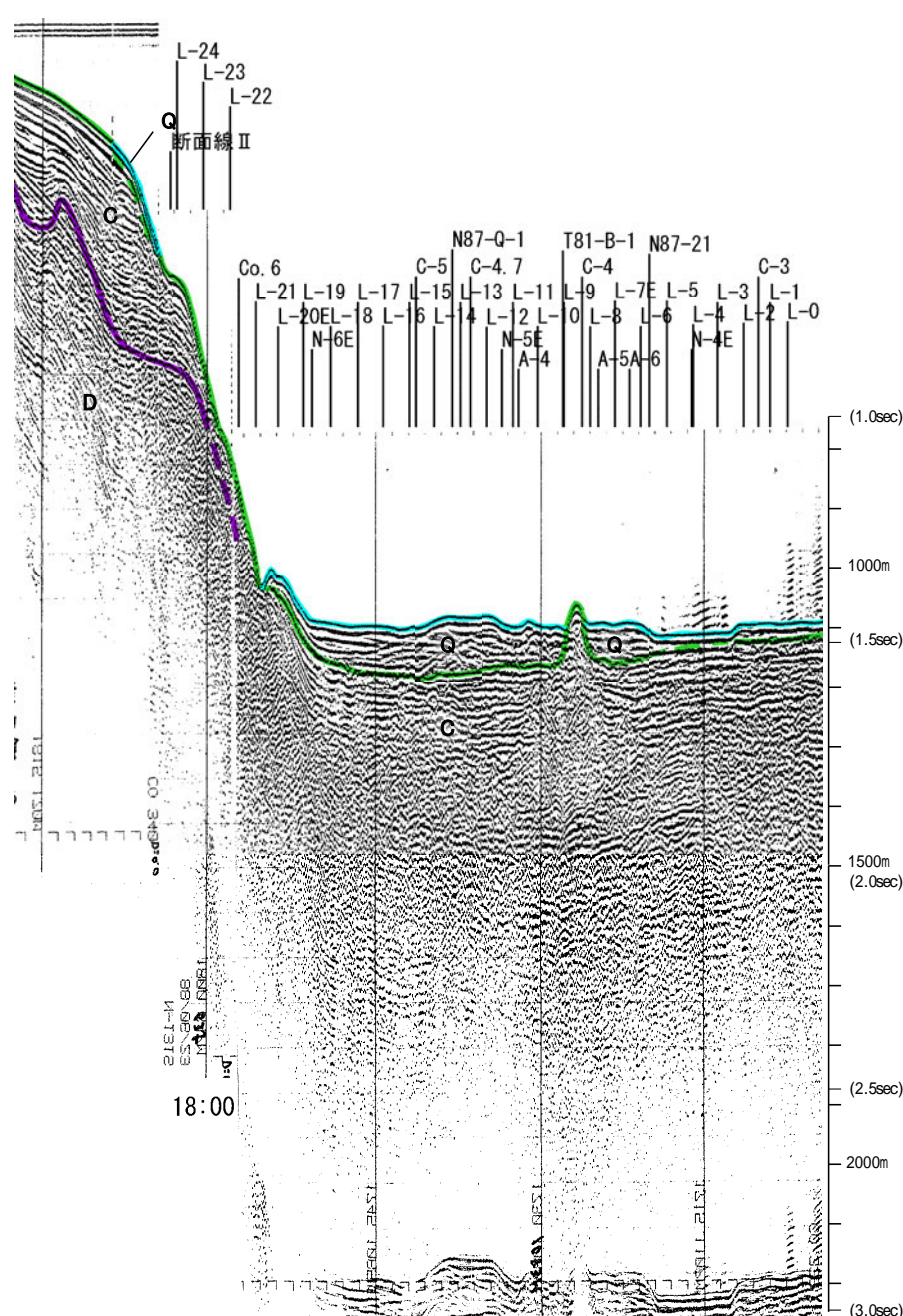
←NW

SE→

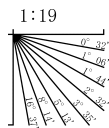


←NW

SE→



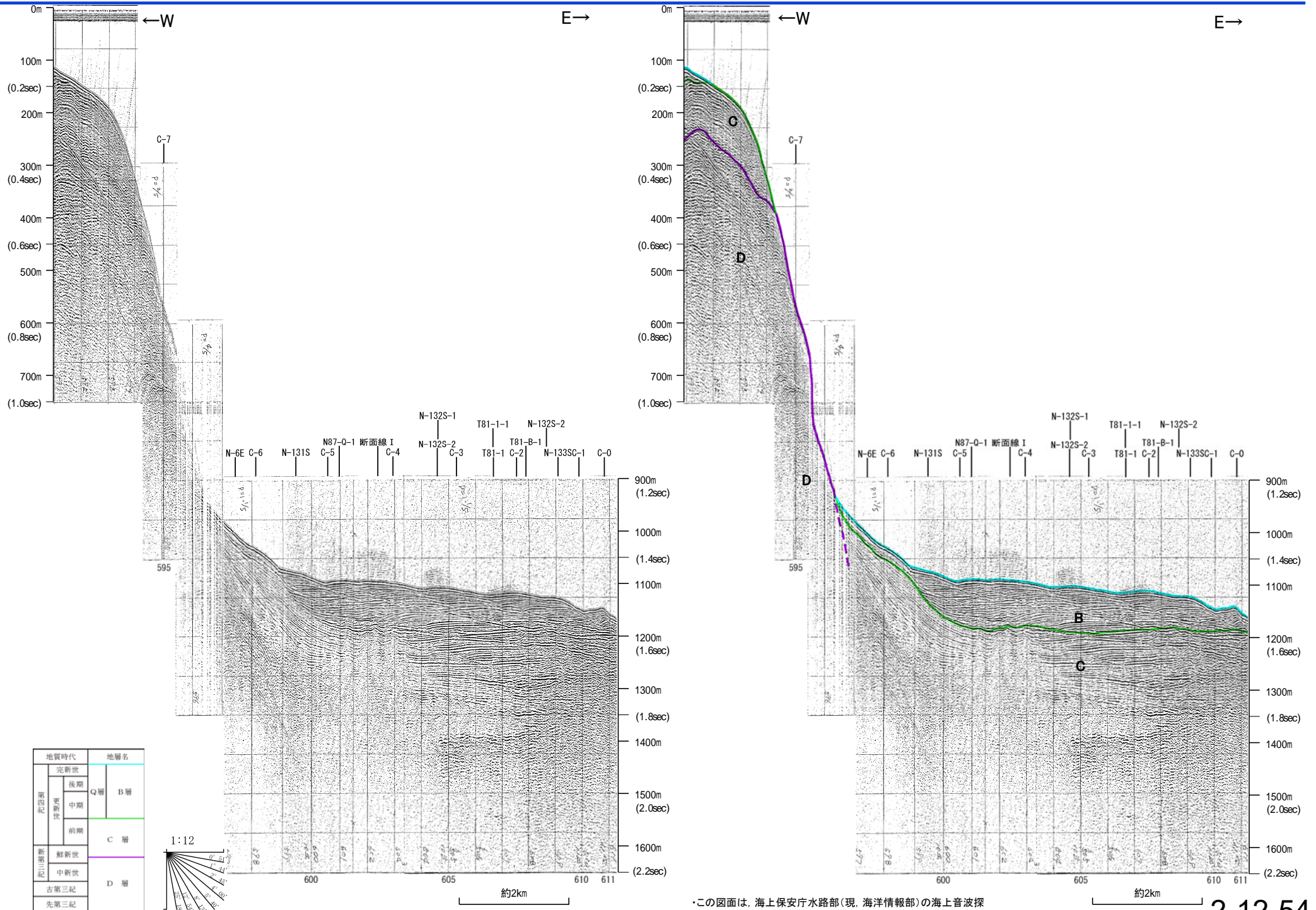
地質時代		地層名
紀伊新統	完新世	Q層 B層
	後期	
	中期	
紀伊新統	前期	C層
	中新世	D層
古第三紀		
先第三紀		



この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

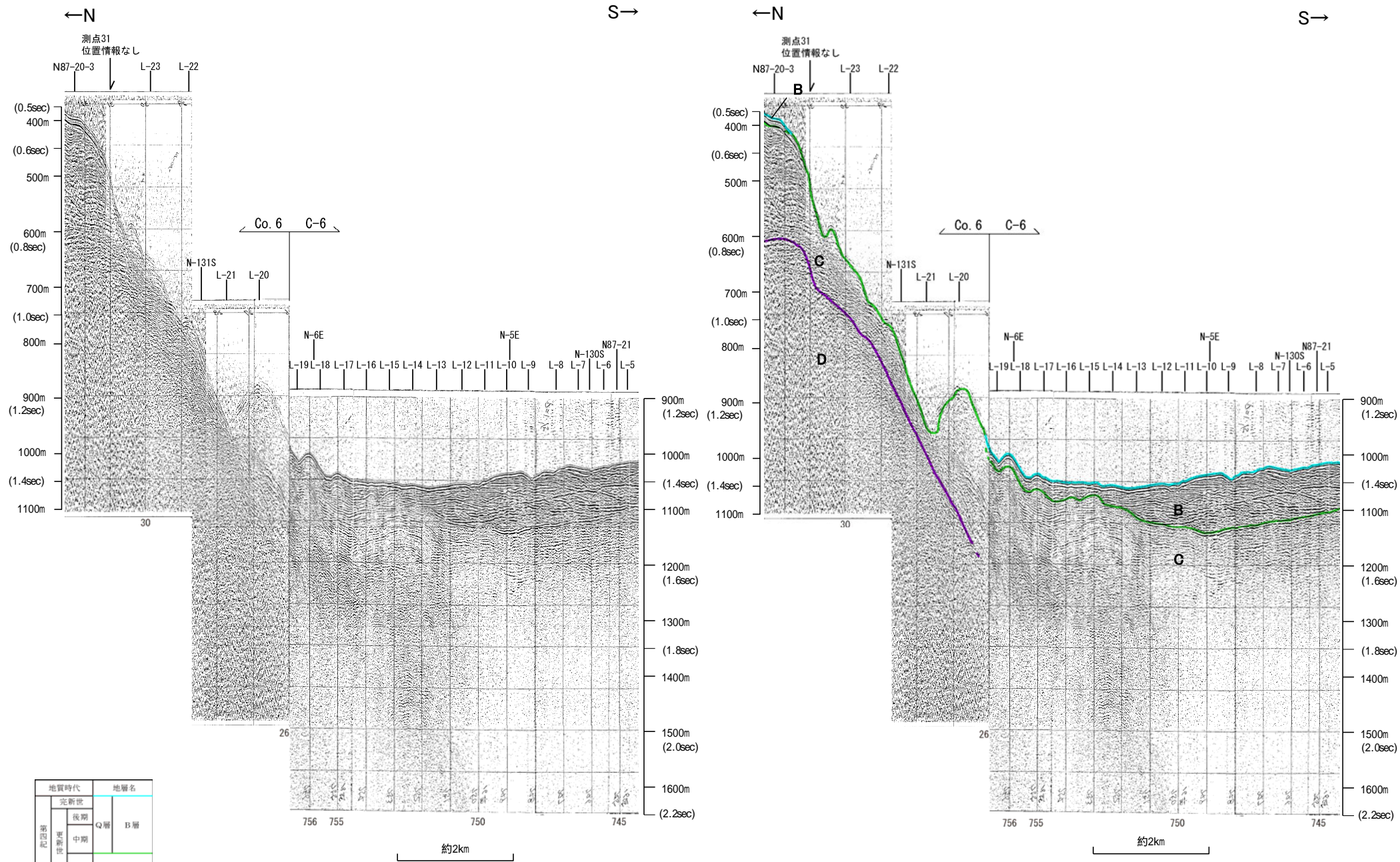
2-12-53

海上保安庁スパーカー L-18

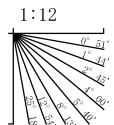


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー Co.6,C-6

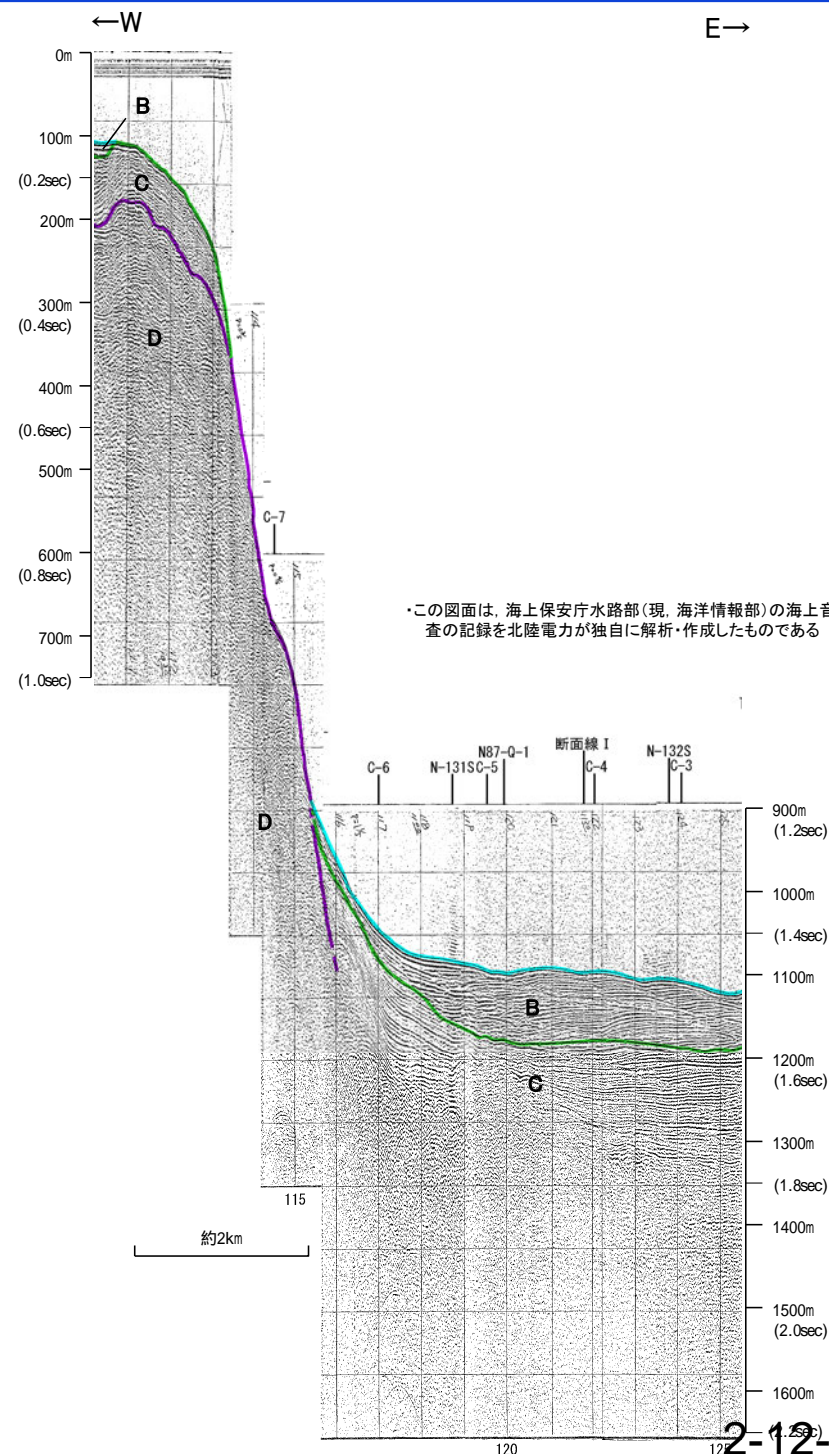
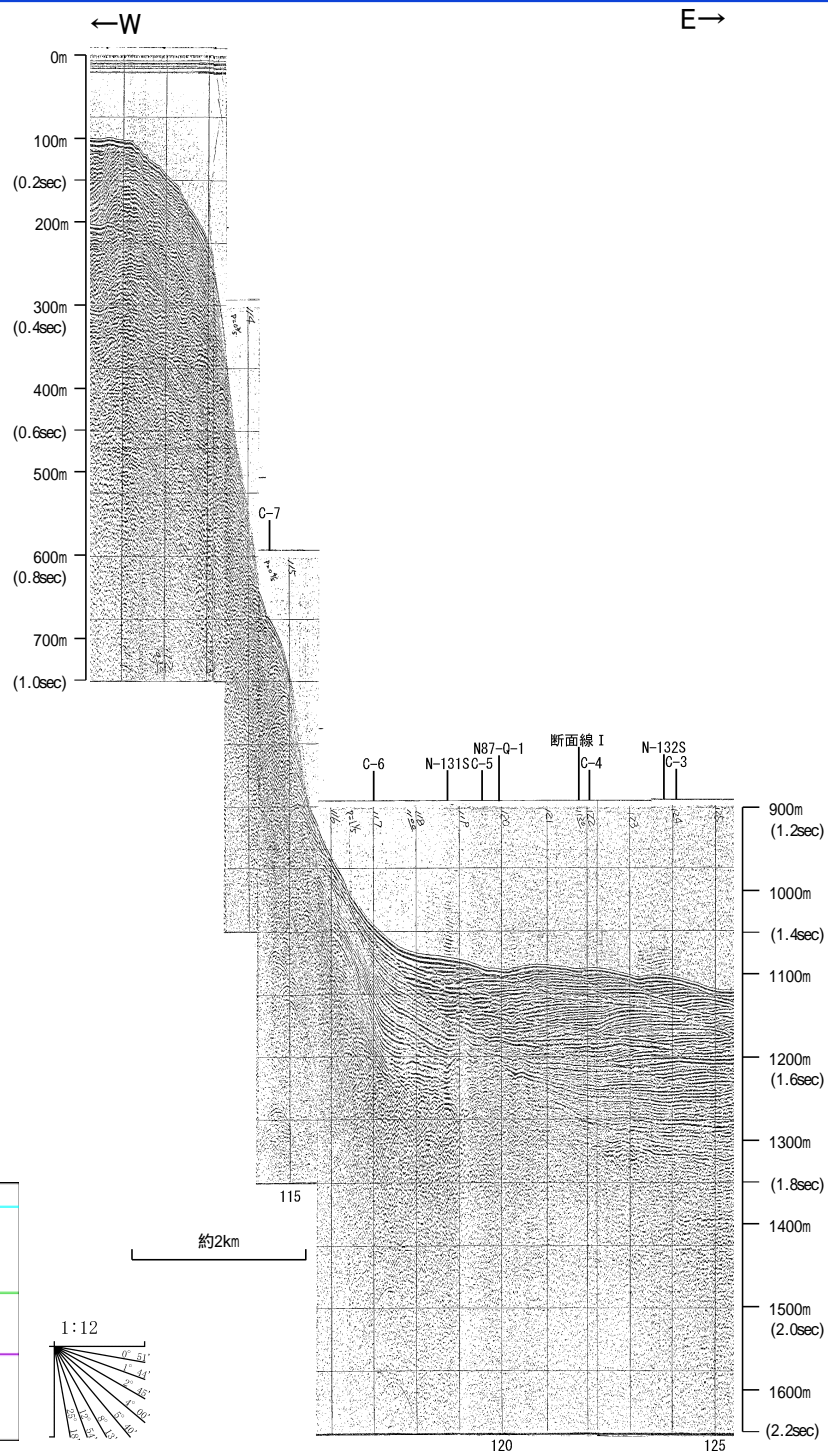


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	B層
	更新世	中期	Q層
	更新世	前期	C層
第三紀	新第三紀	中新世	D層
	古第三紀		
先第三紀			

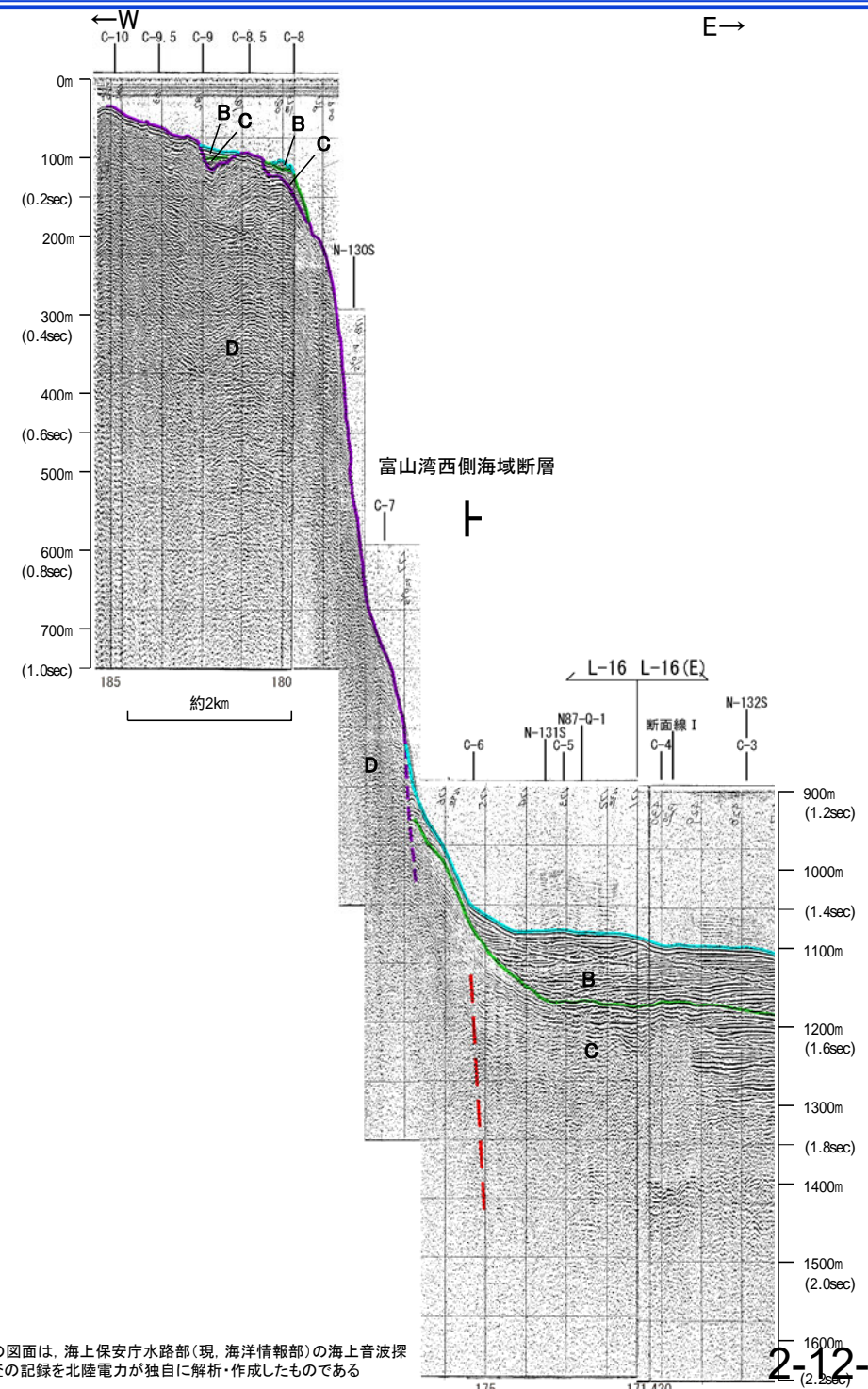
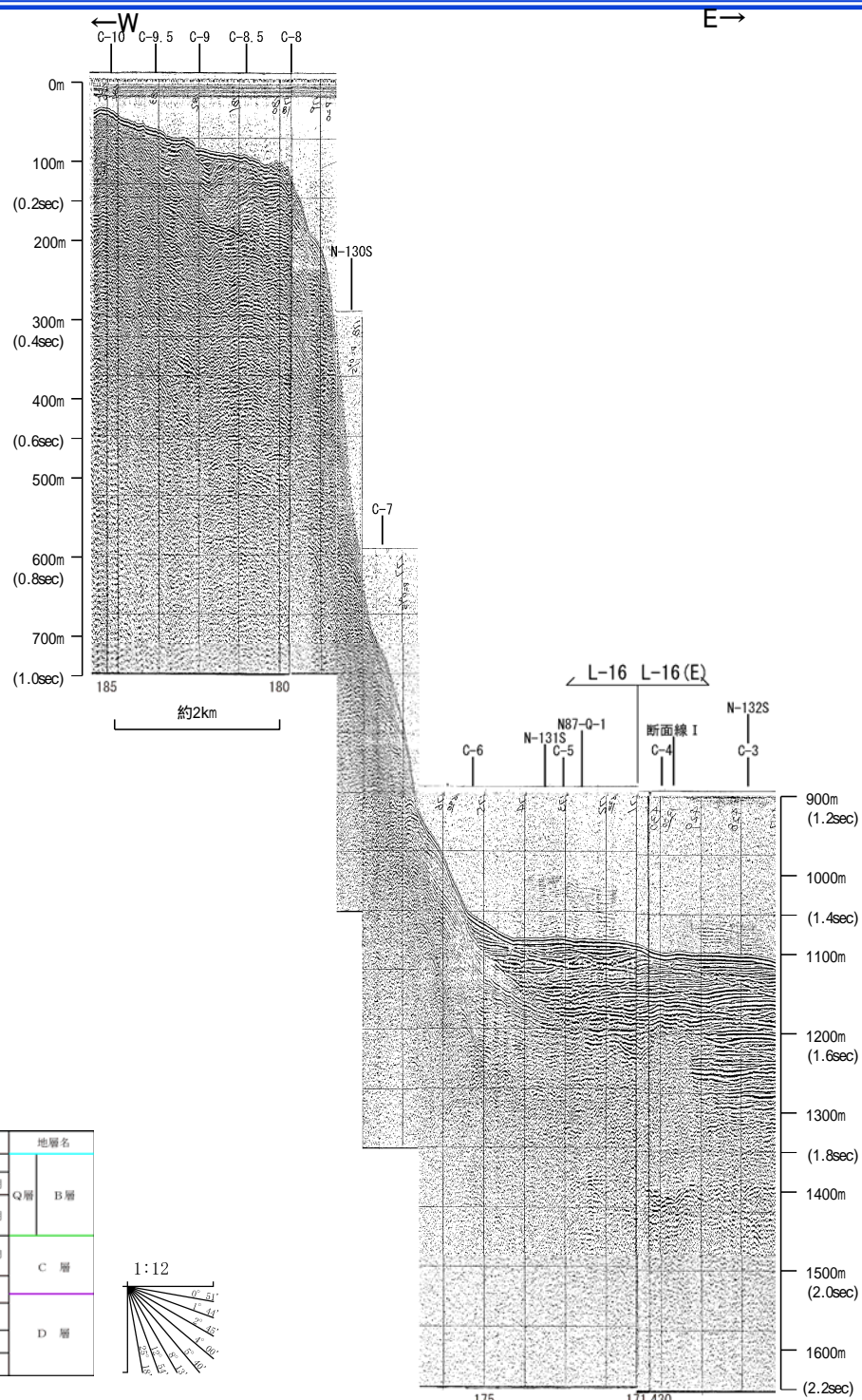


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-17

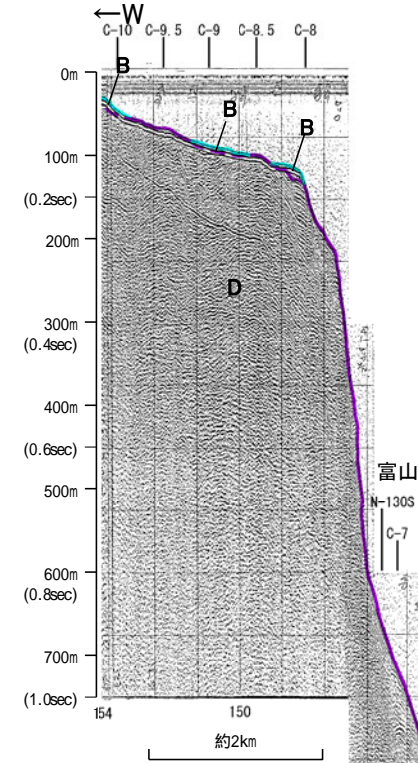
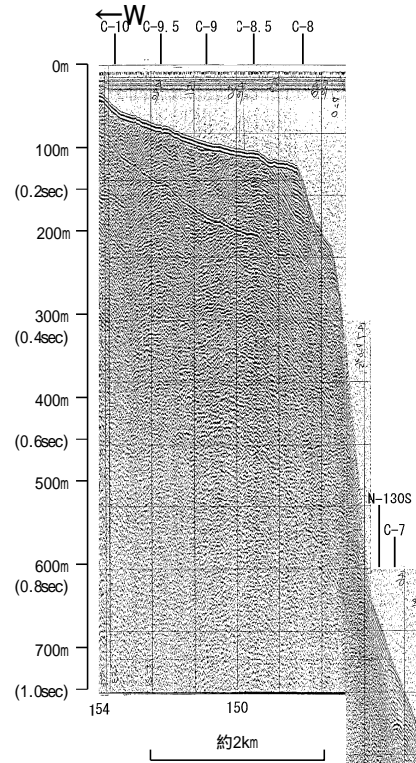


海上保安庁スパーカー L-16



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

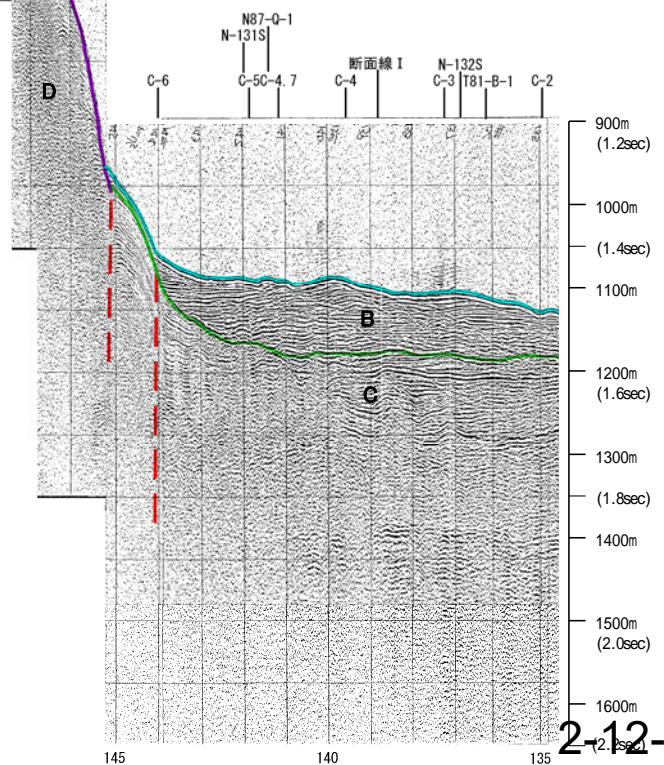
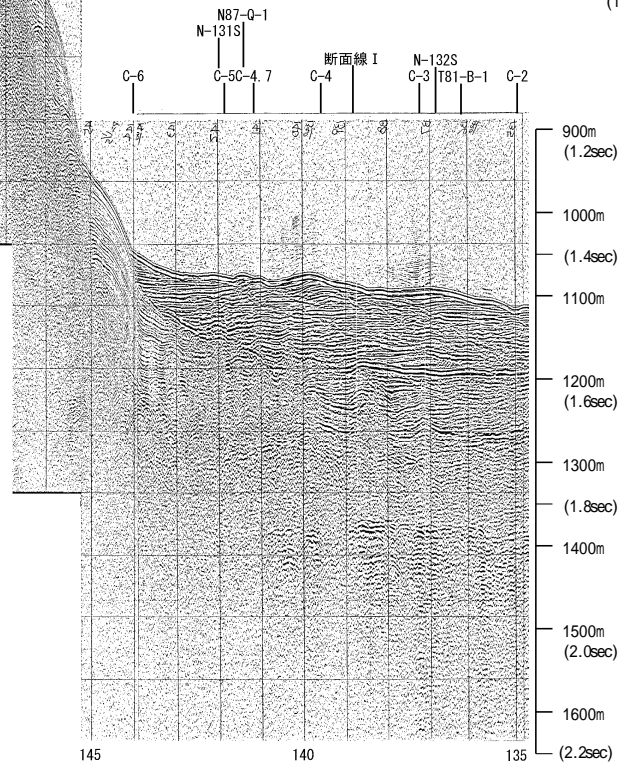
海上保安庁スパーカー L-15



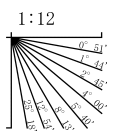
富山湾西側海域断層



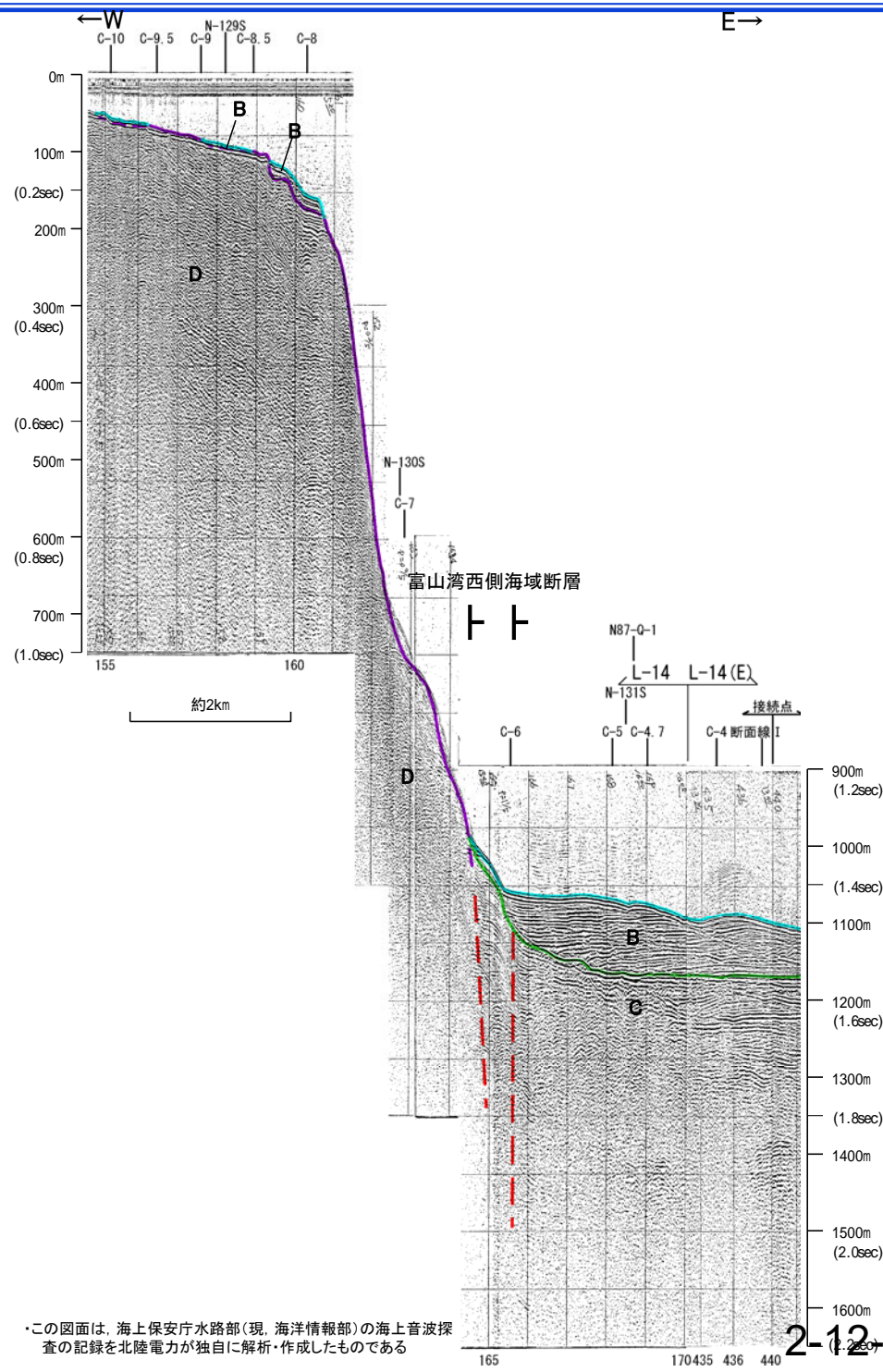
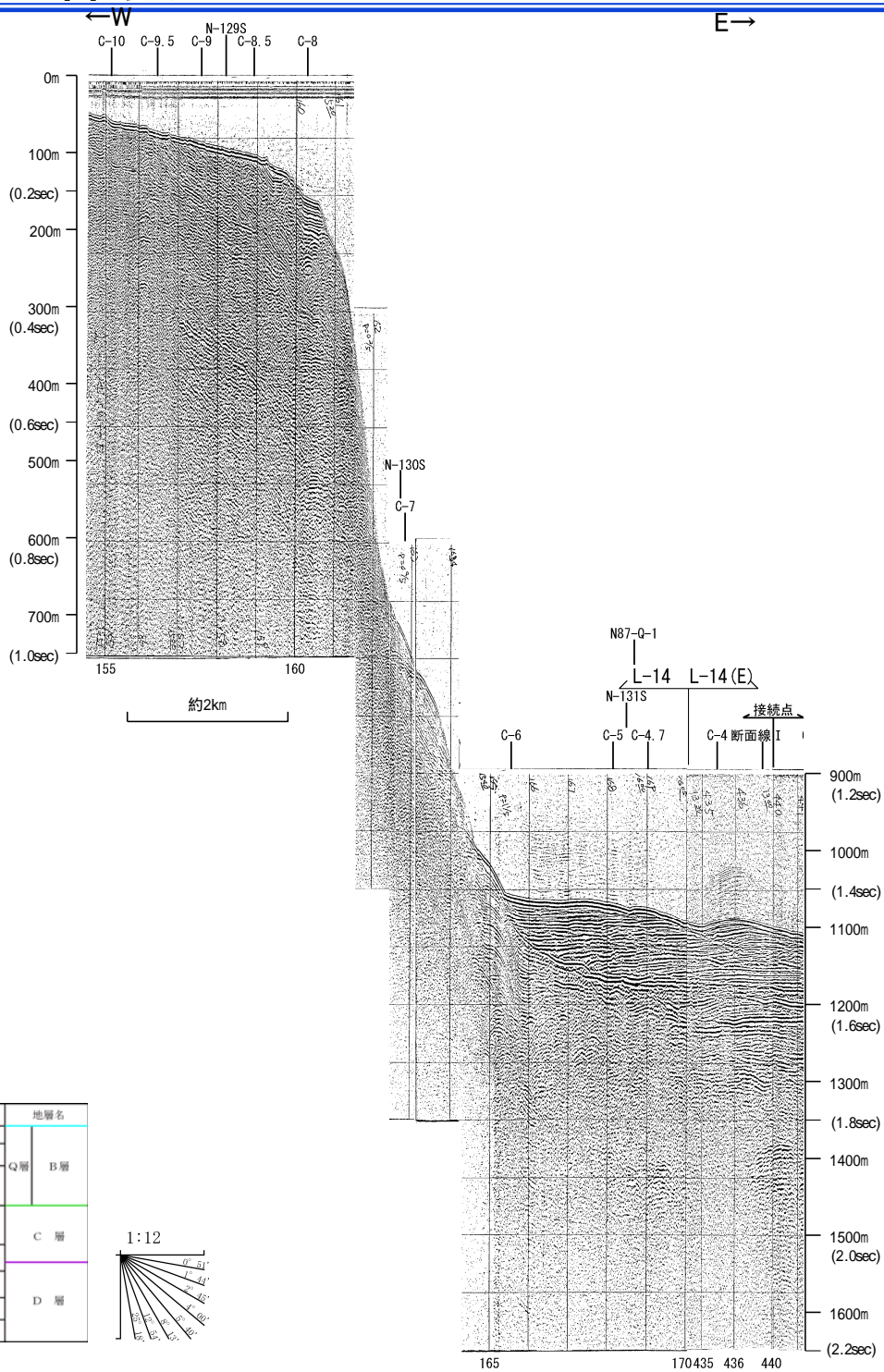
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



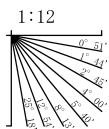
地質時代		地層名	
第四紀	更新世		
	後期	Q層	B層
	前期		
第三紀	白垩紀		C層
	白垩紀		D層
先第三紀			



海上保安庁スパーカー L-14

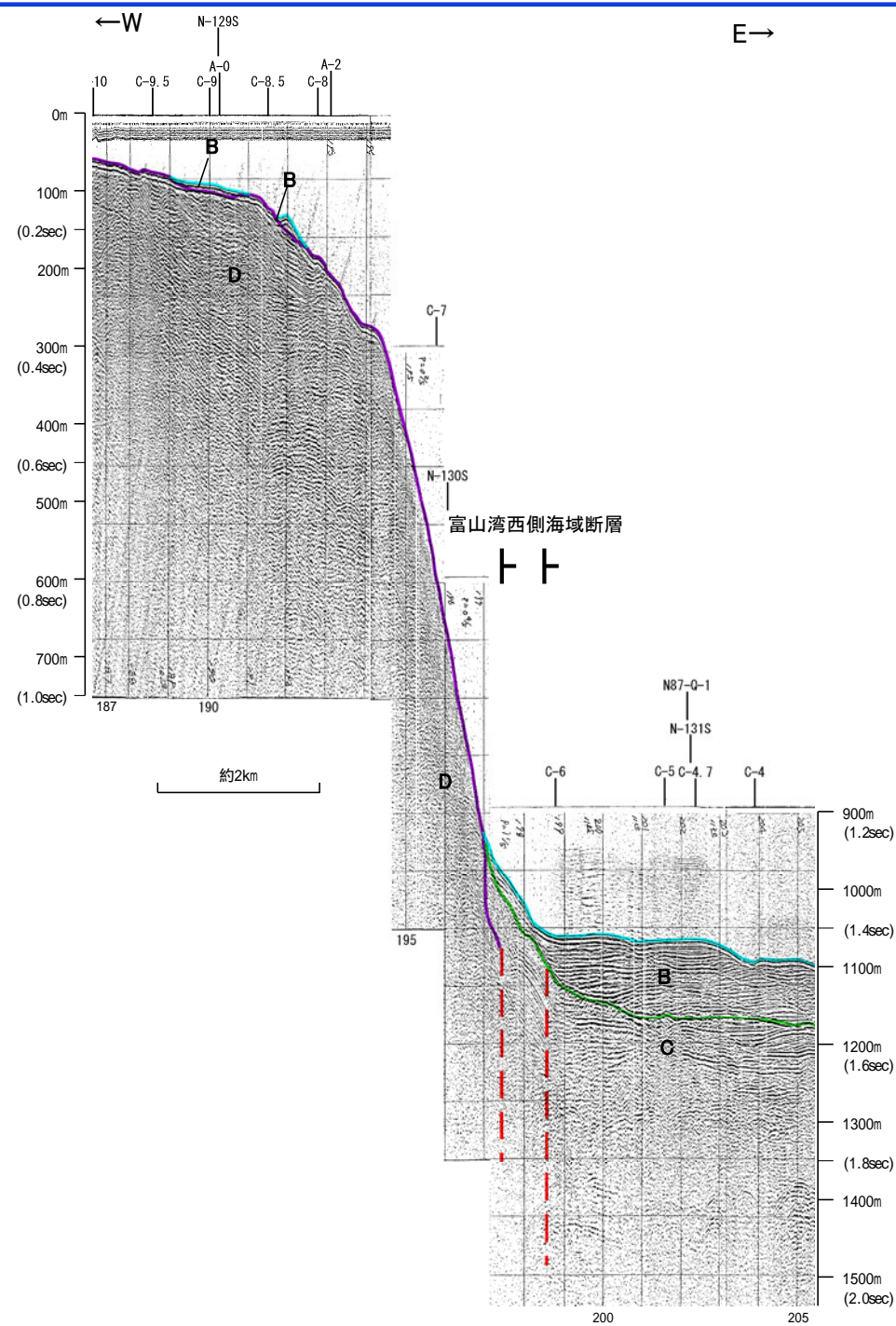
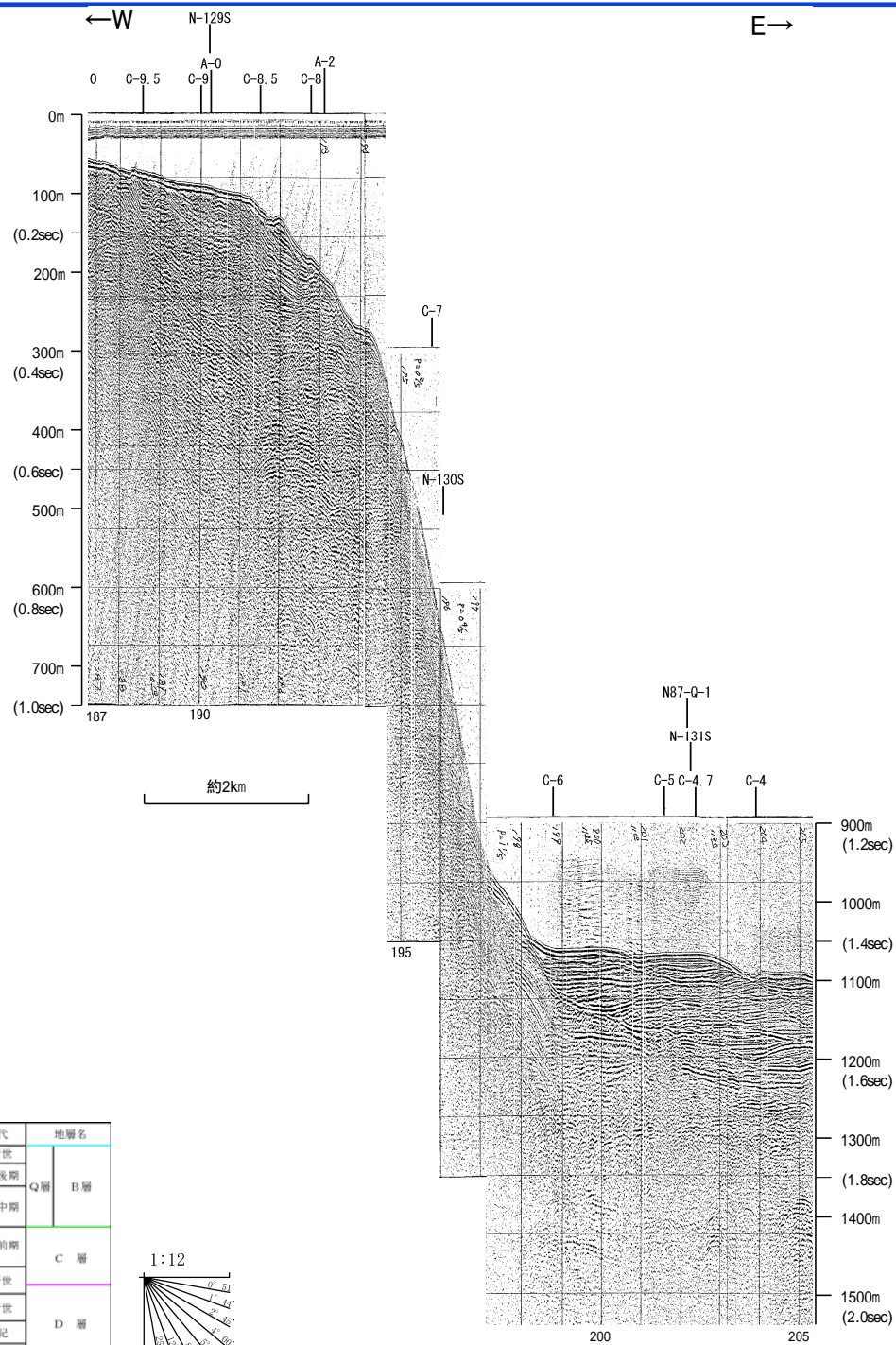


地質時代		地層名	
第四紀	更新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
第四紀	前期		C層
	鮮新世		
第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			



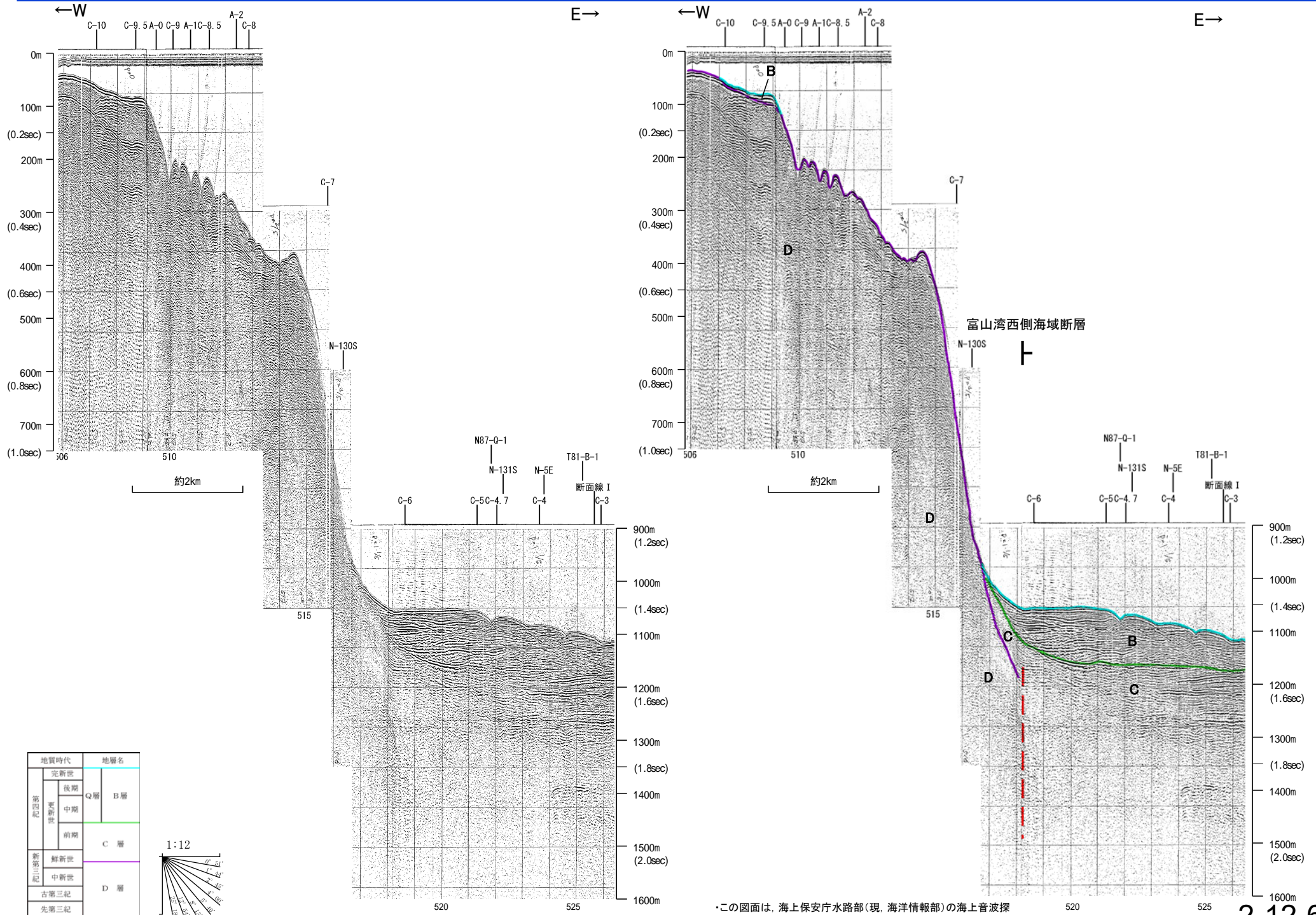
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-13



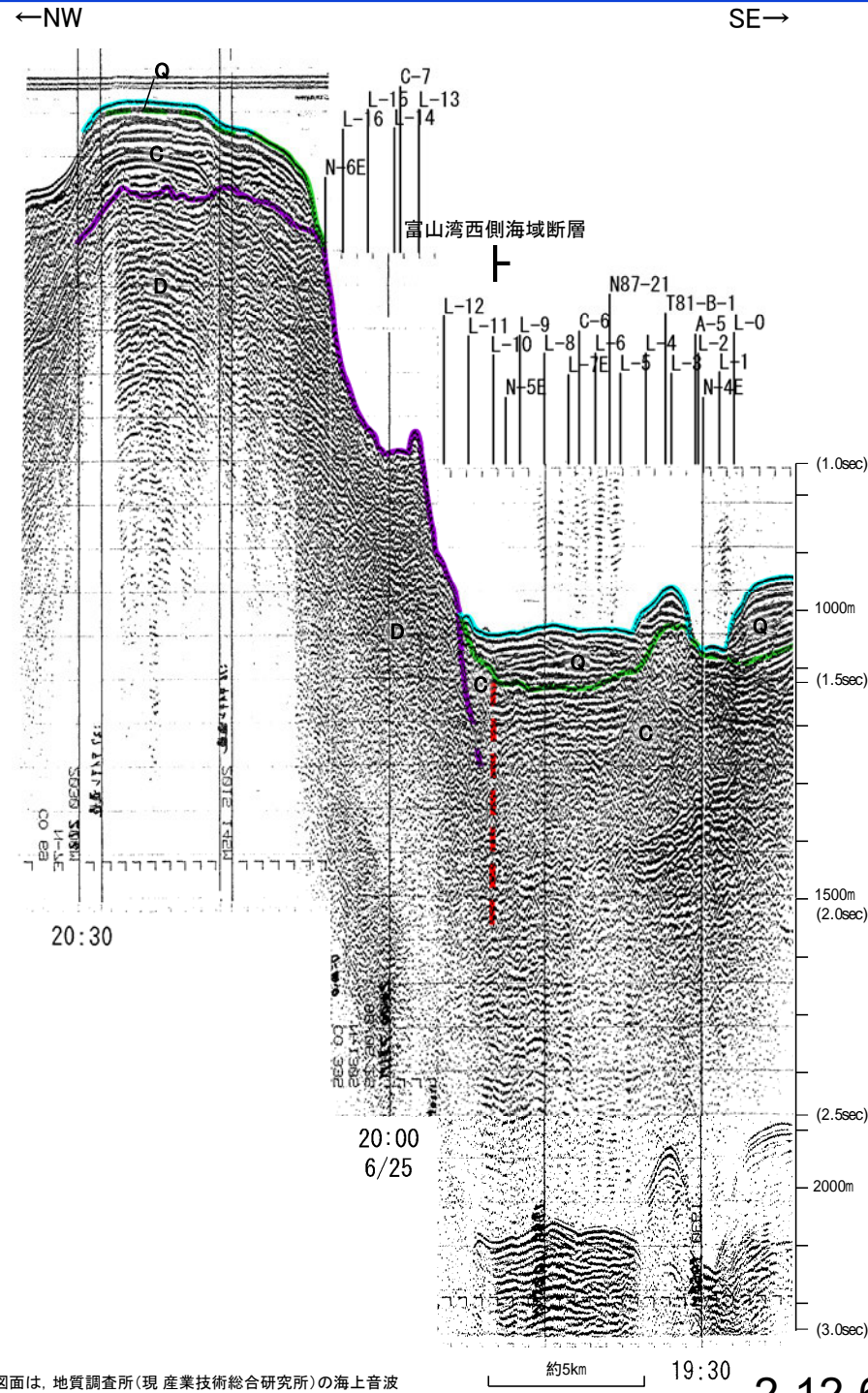
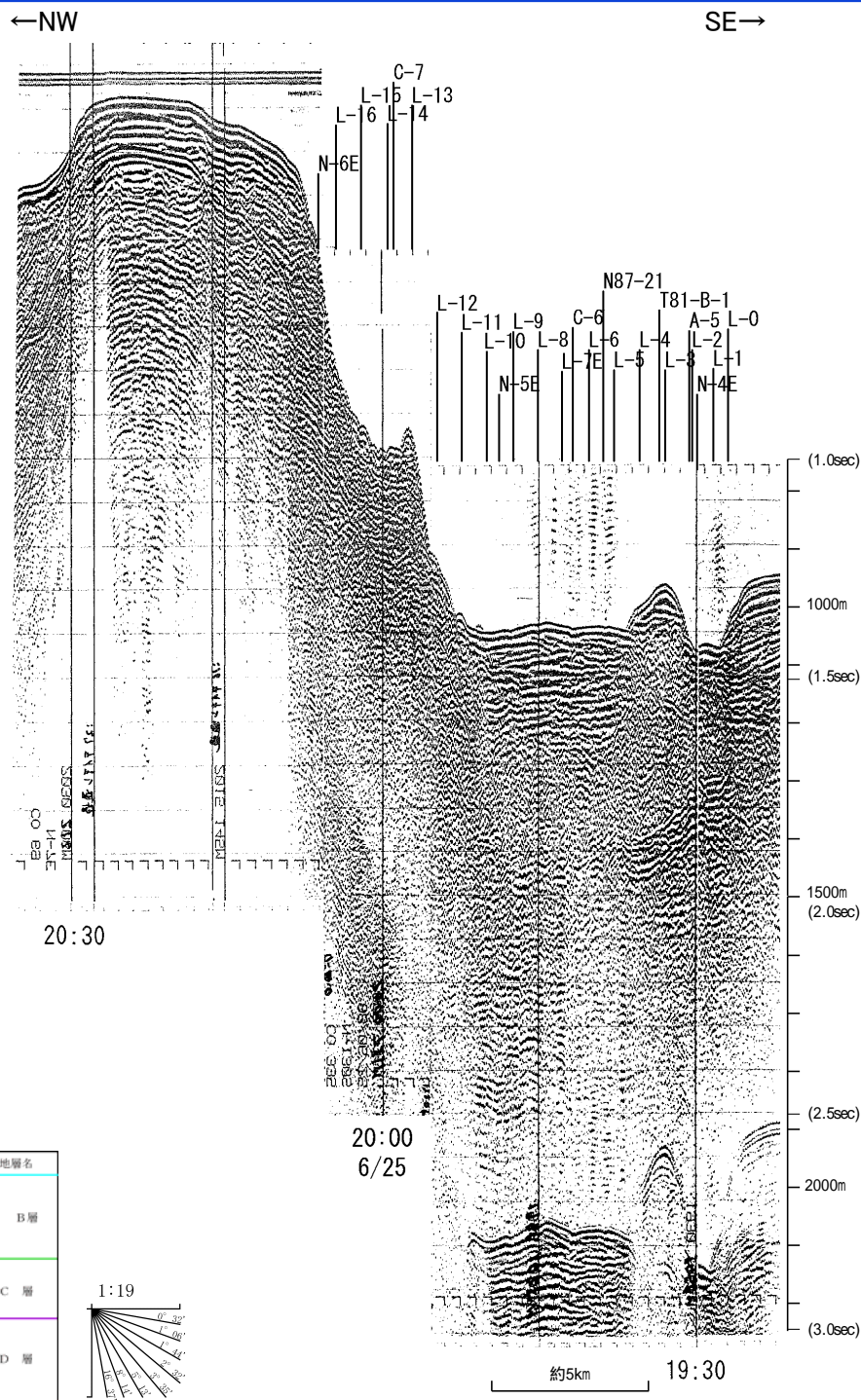
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-12

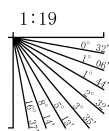


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-130S

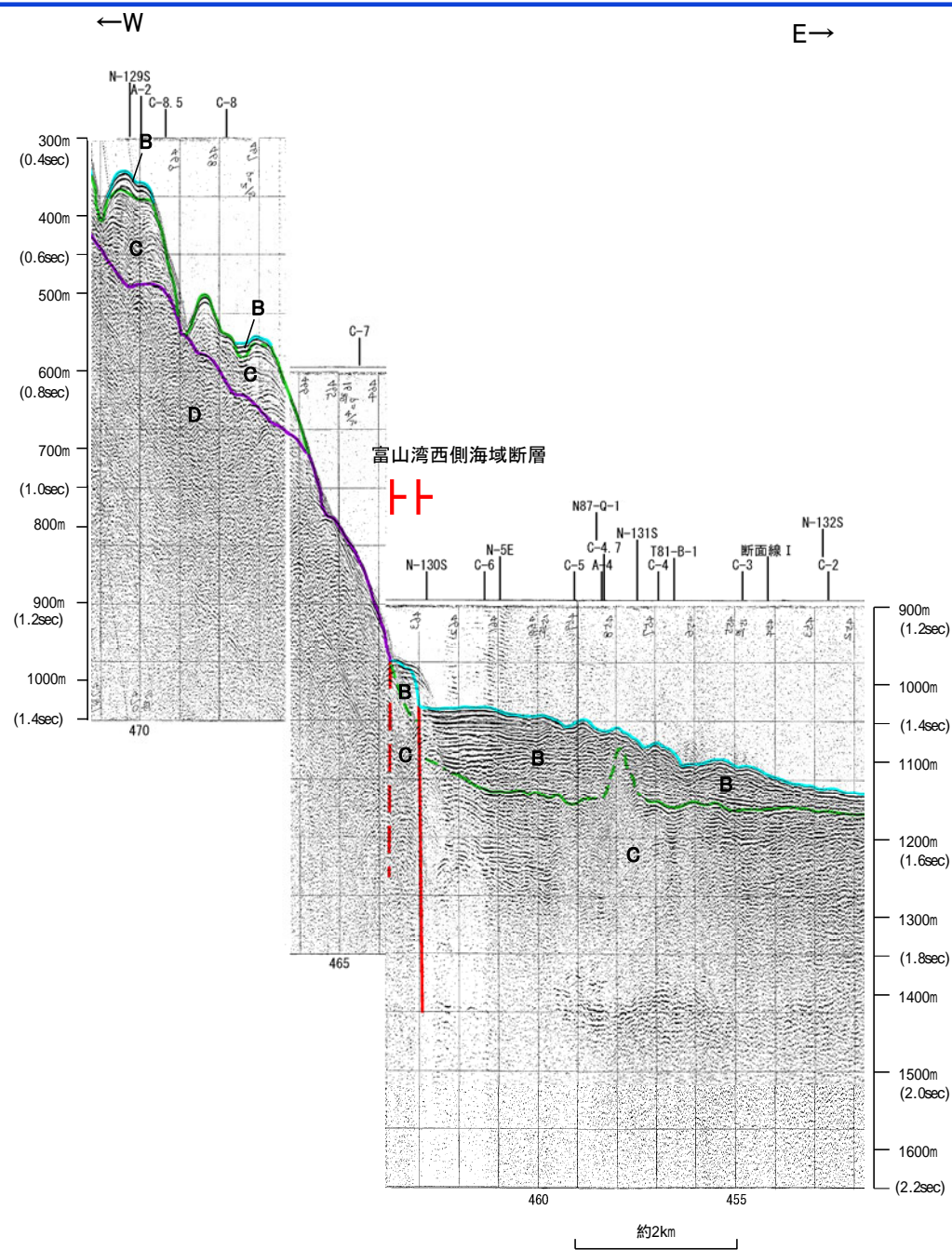
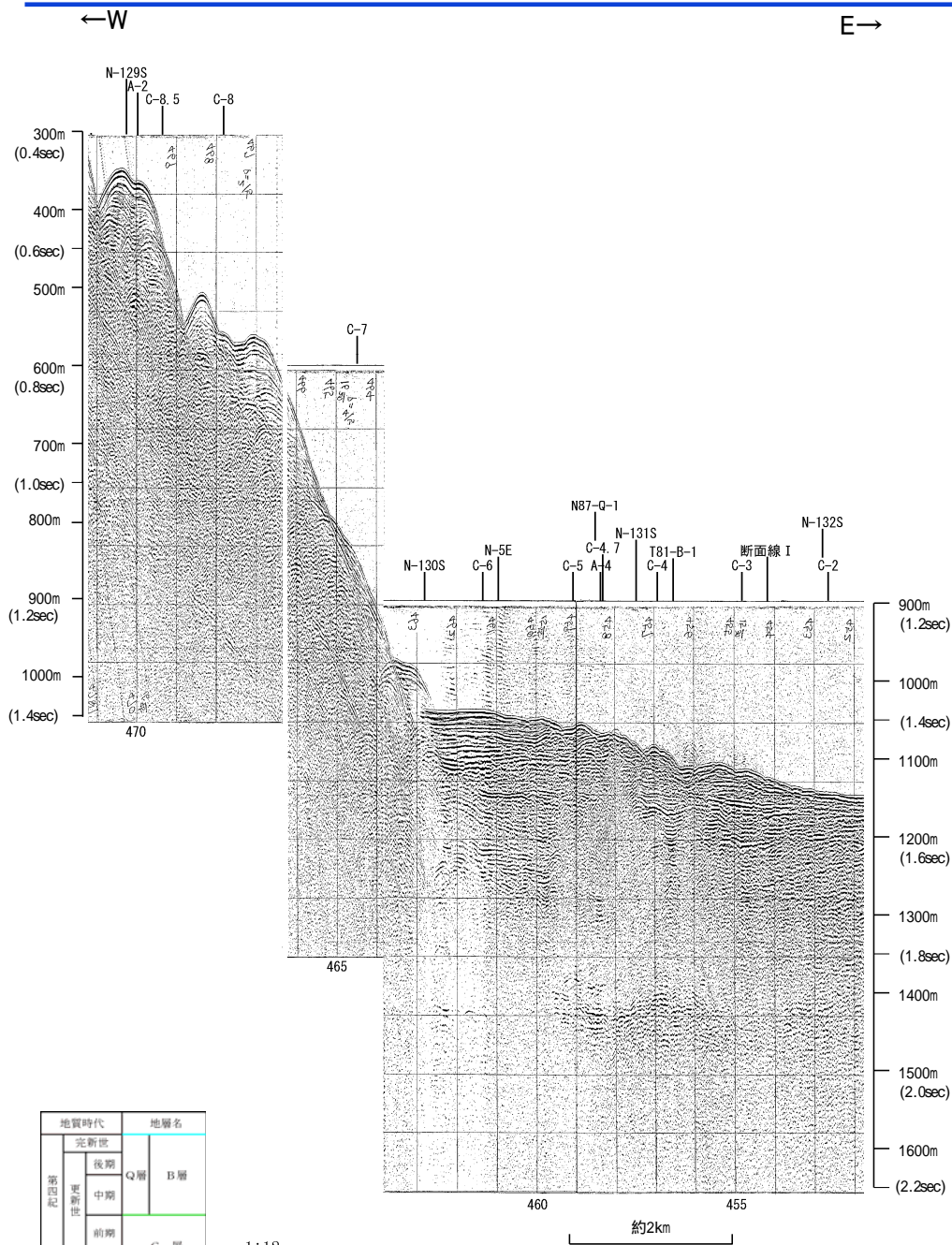


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	B層
	旧石器	中期	Q層
		前期	C層
第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
	先第三紀		

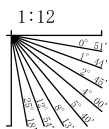


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-10

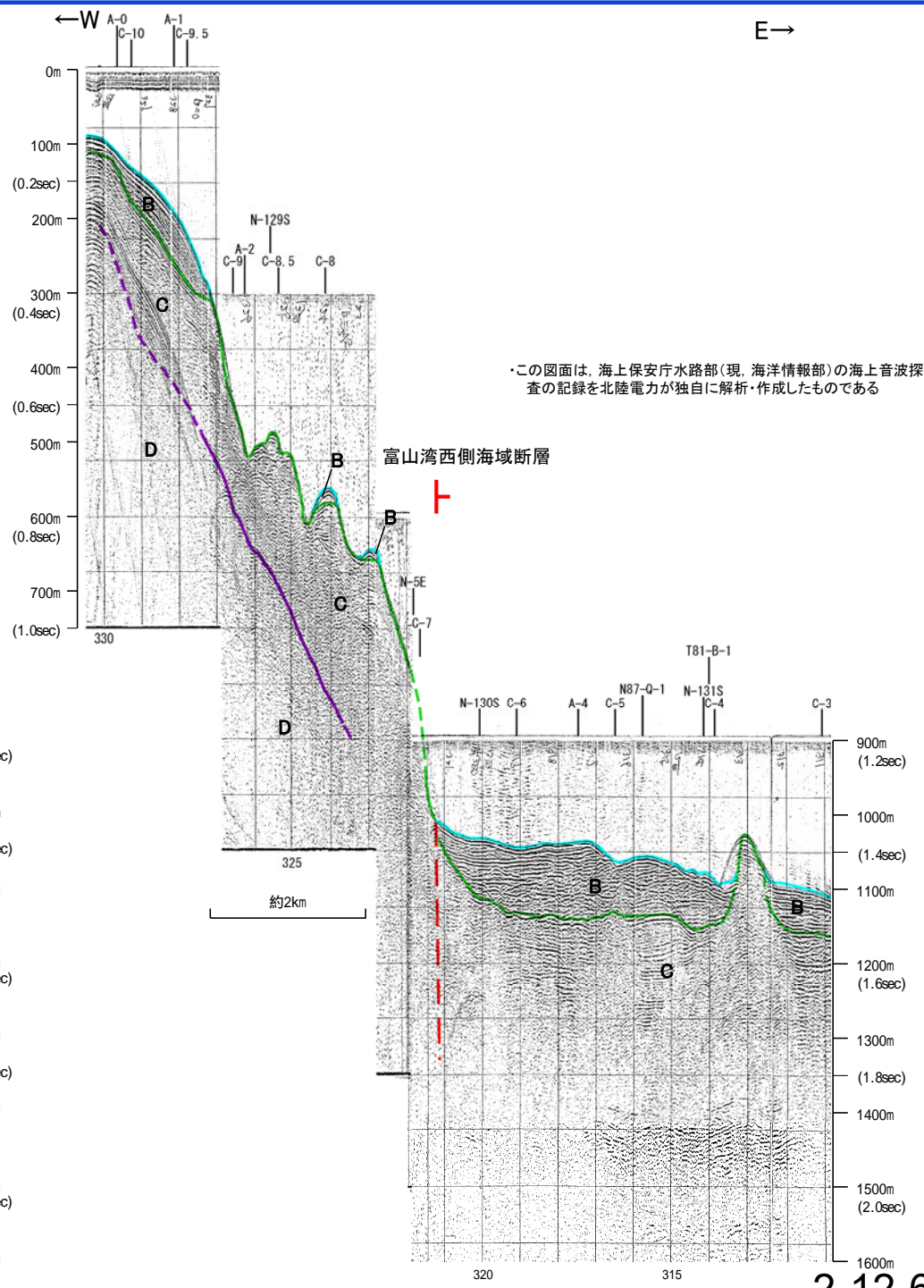
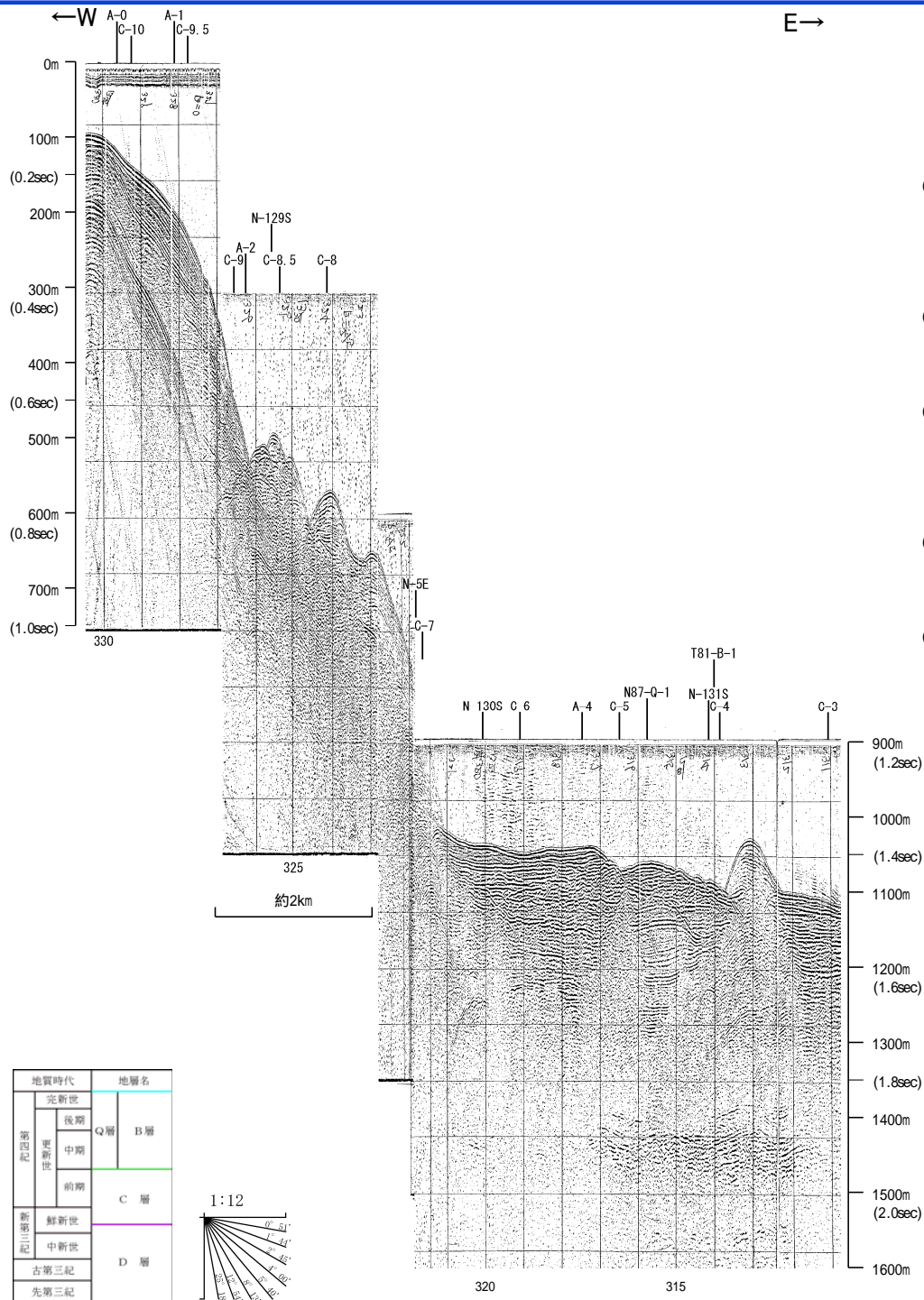


地質時代		地層名	
紀四畳層	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
紀三畳層	前期		C層
	鮮新世		
紀白垩層	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			



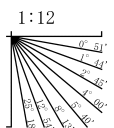
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-9

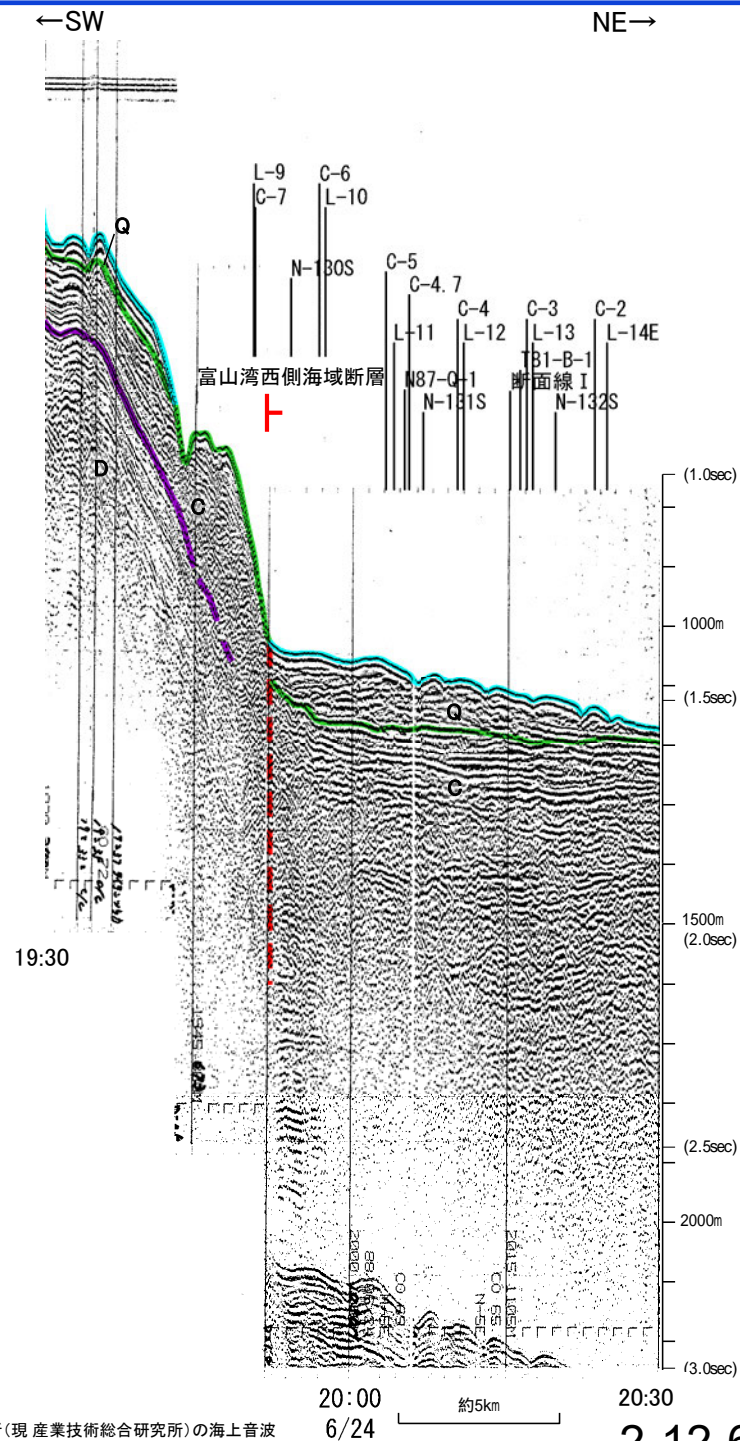
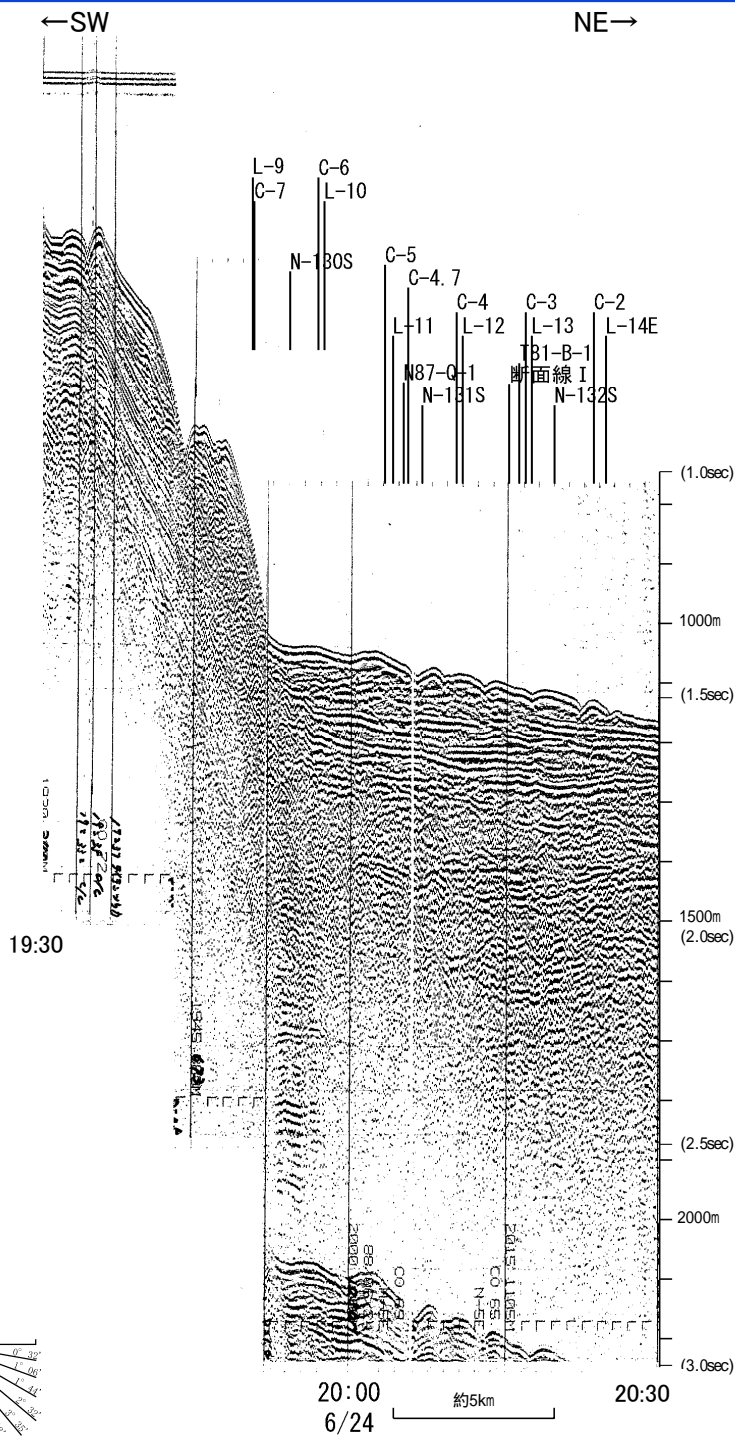


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	Q層 B層
	更新世	中期	C層
		前期	
第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
	古第三紀		
先第三紀			

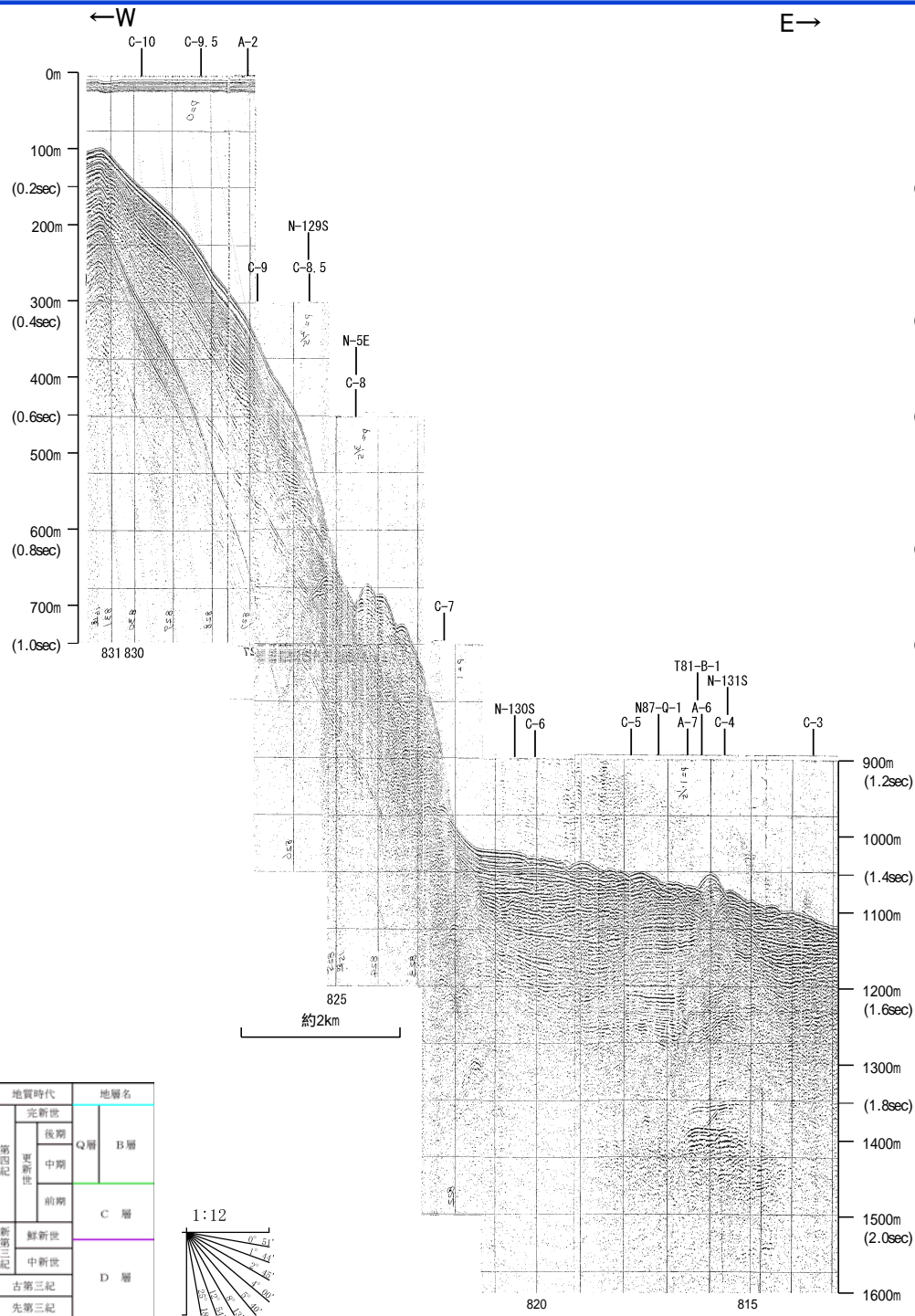


地質調査所エアガン N-5E



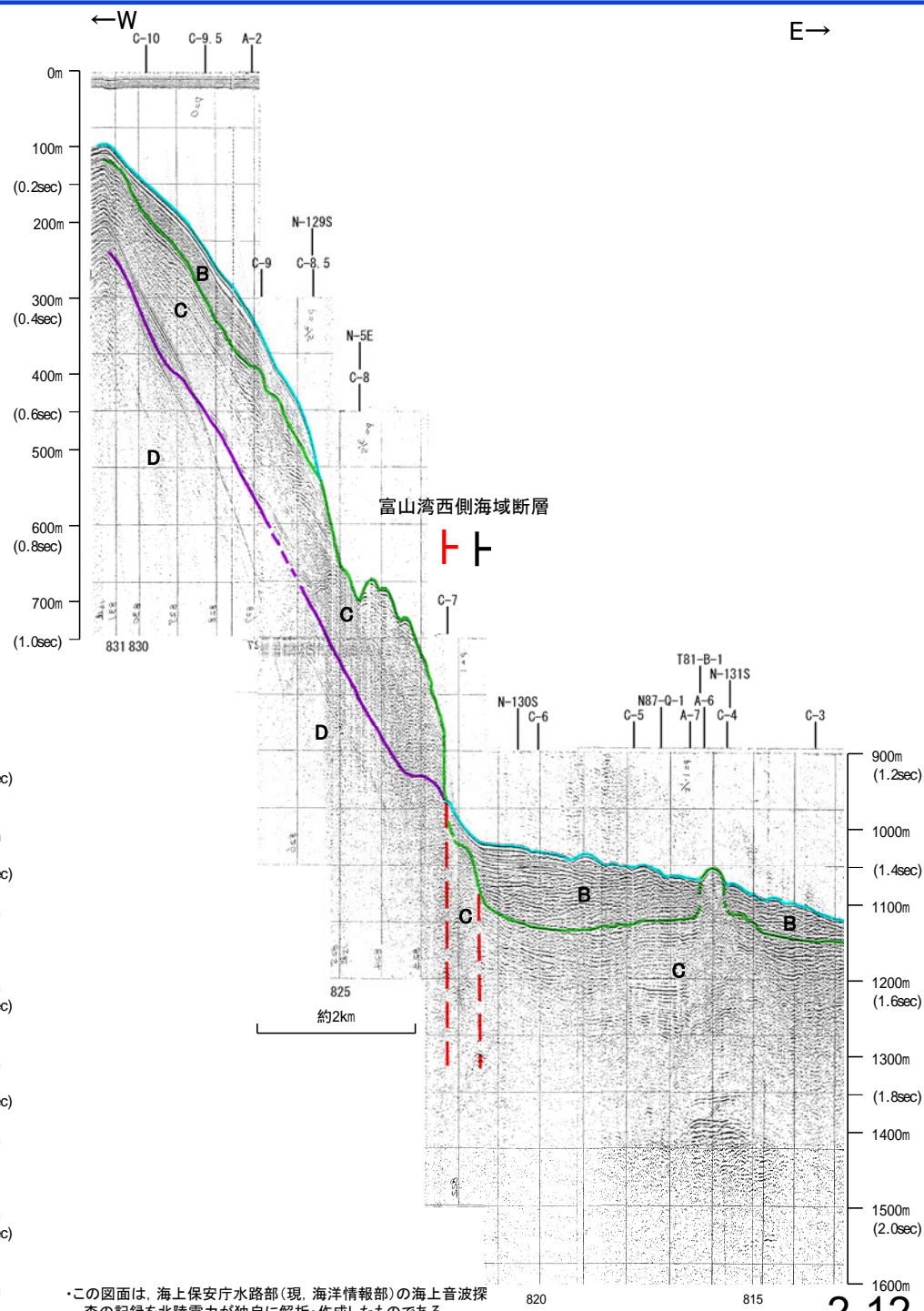
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-8



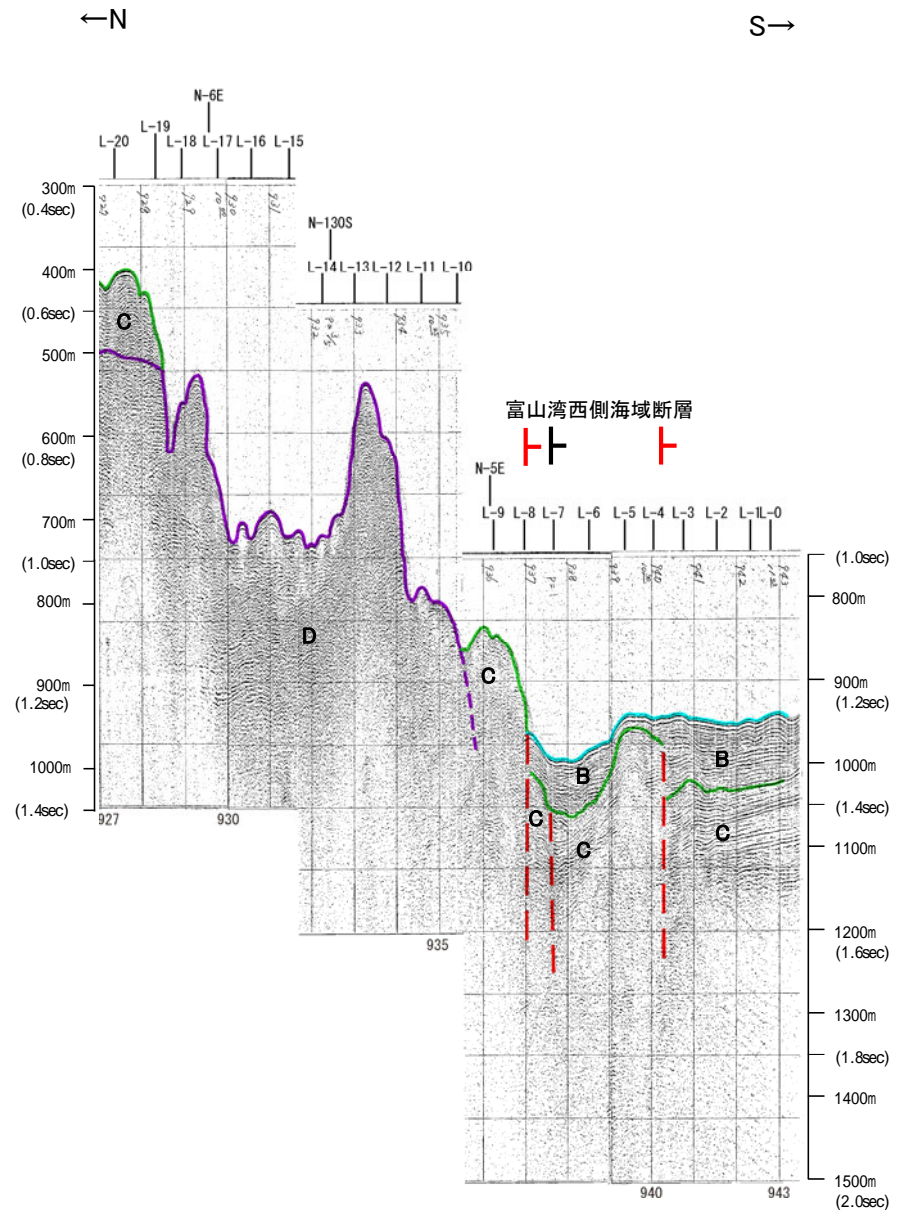
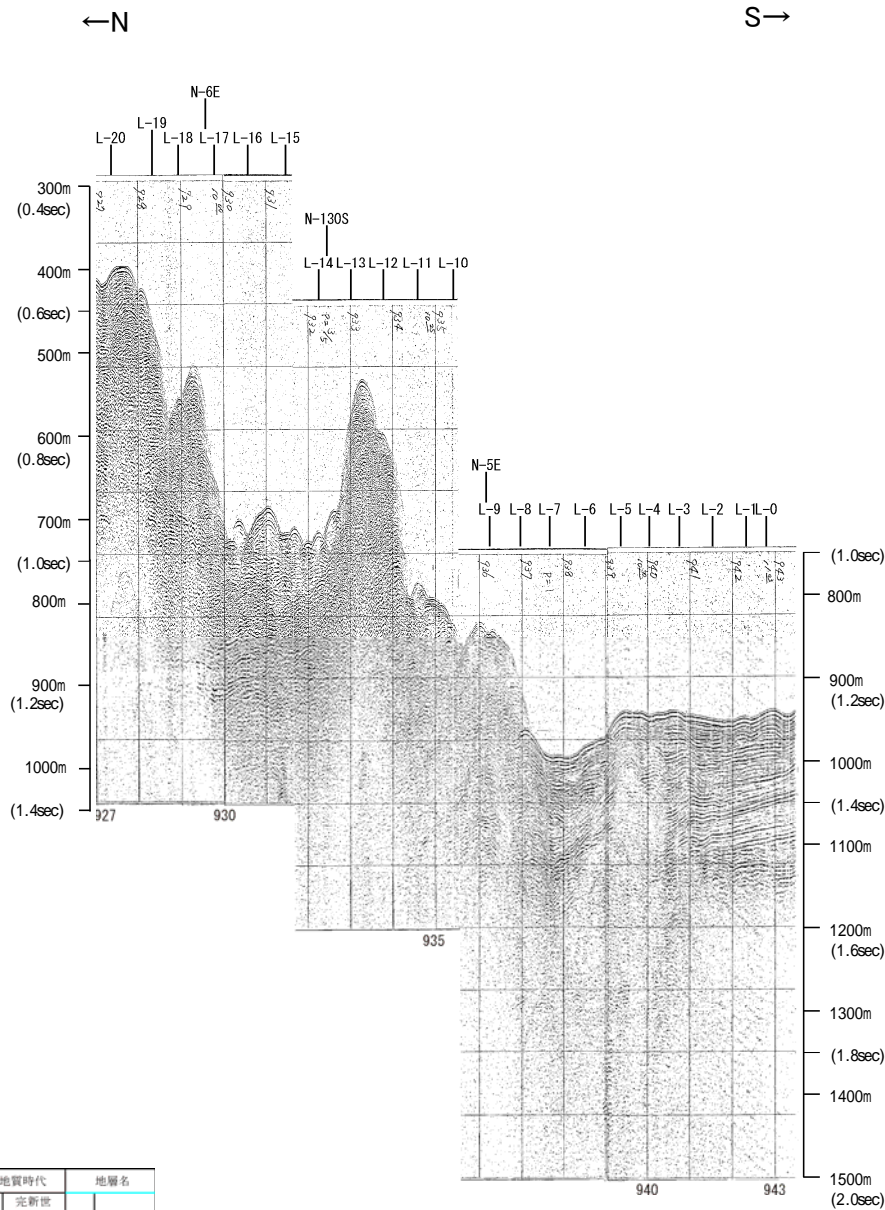
地質時代		地層名	
紀四世	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
紀三世	前期	C層	
	鮮新世		
紀二世	中新世	D層	
	古第三紀		
先第三紀			

1:12



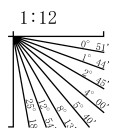
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー C-7



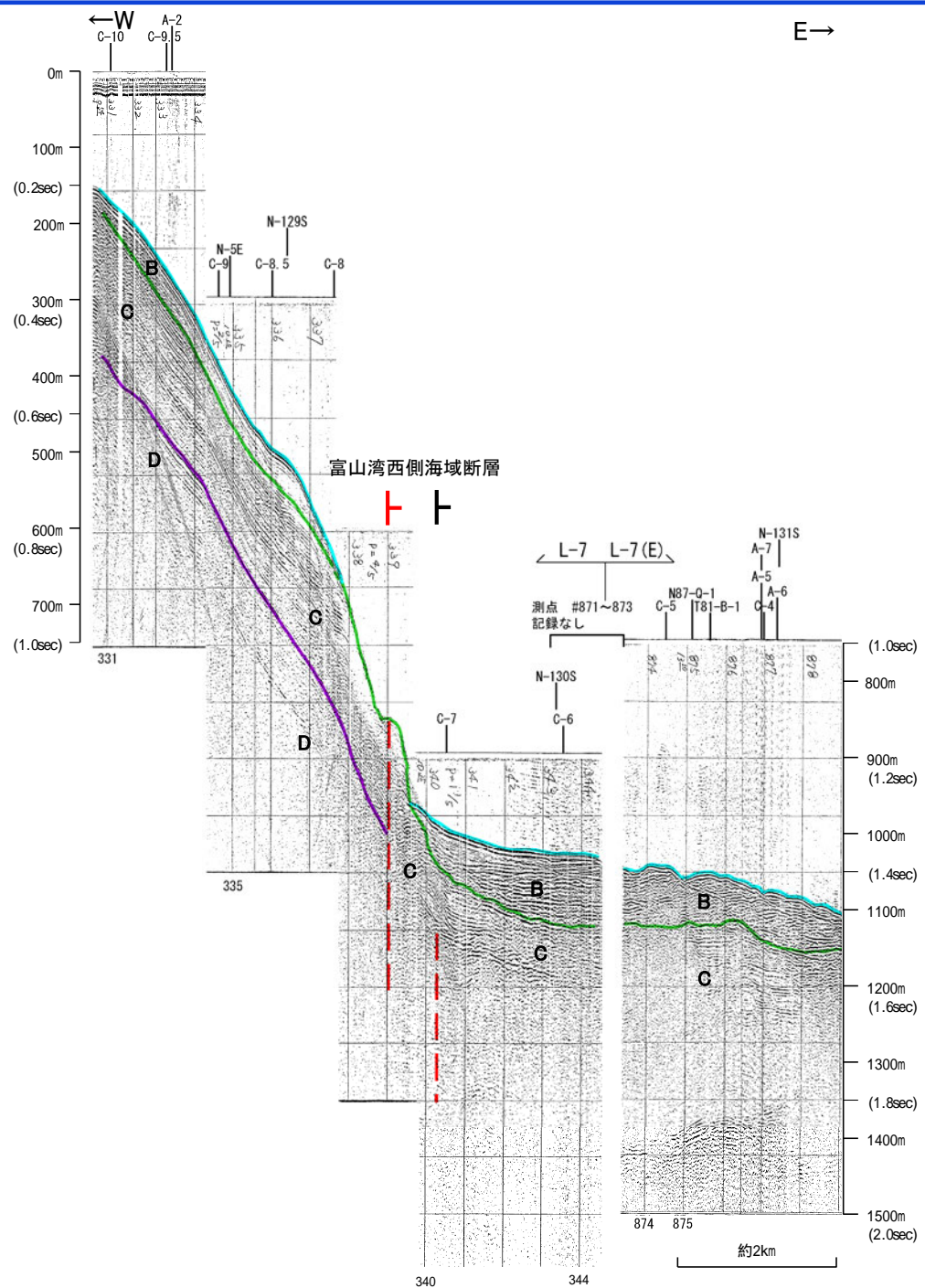
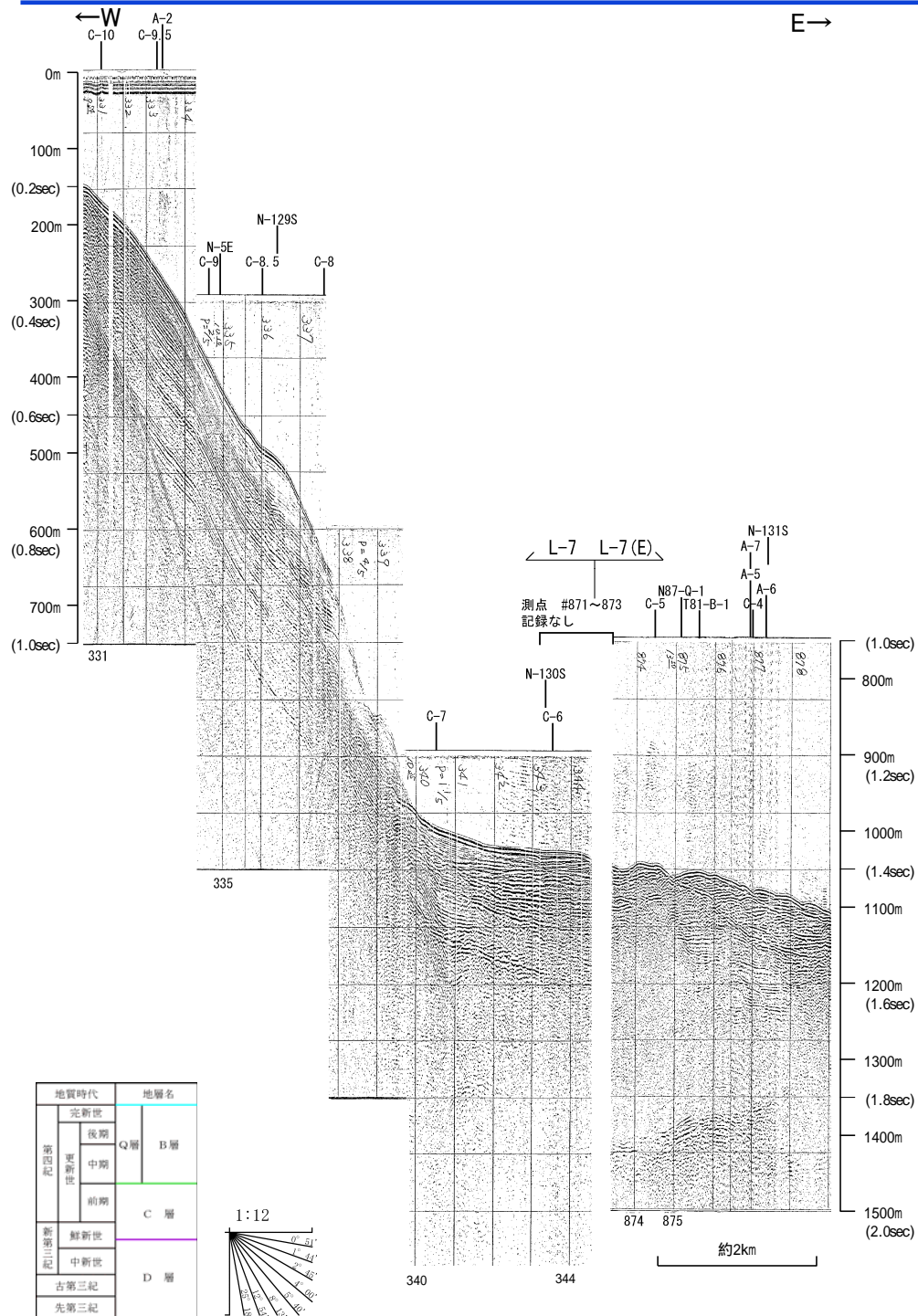
富山湾西側海域断層

地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
第三紀	前期		C層
	後期		
新第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			



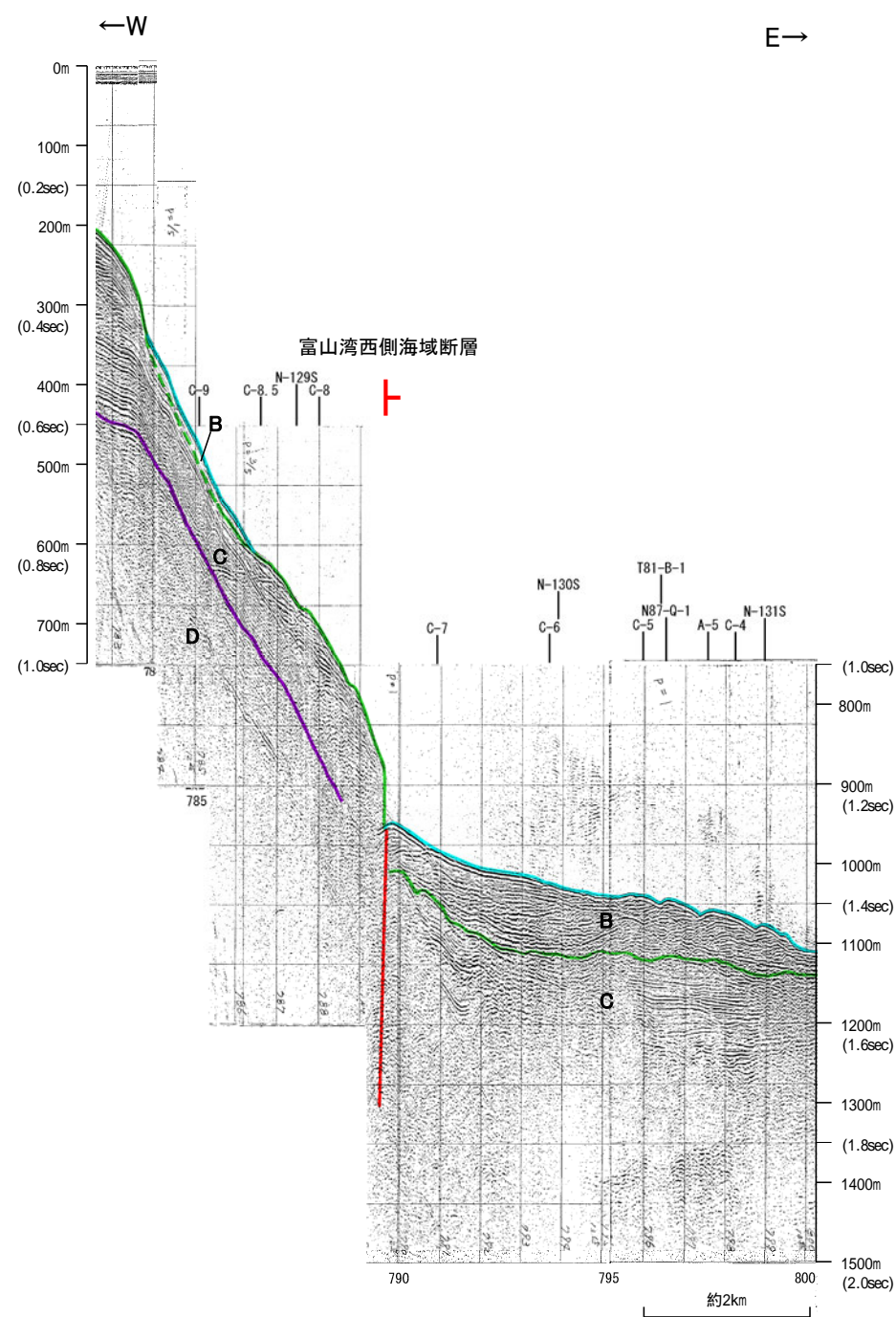
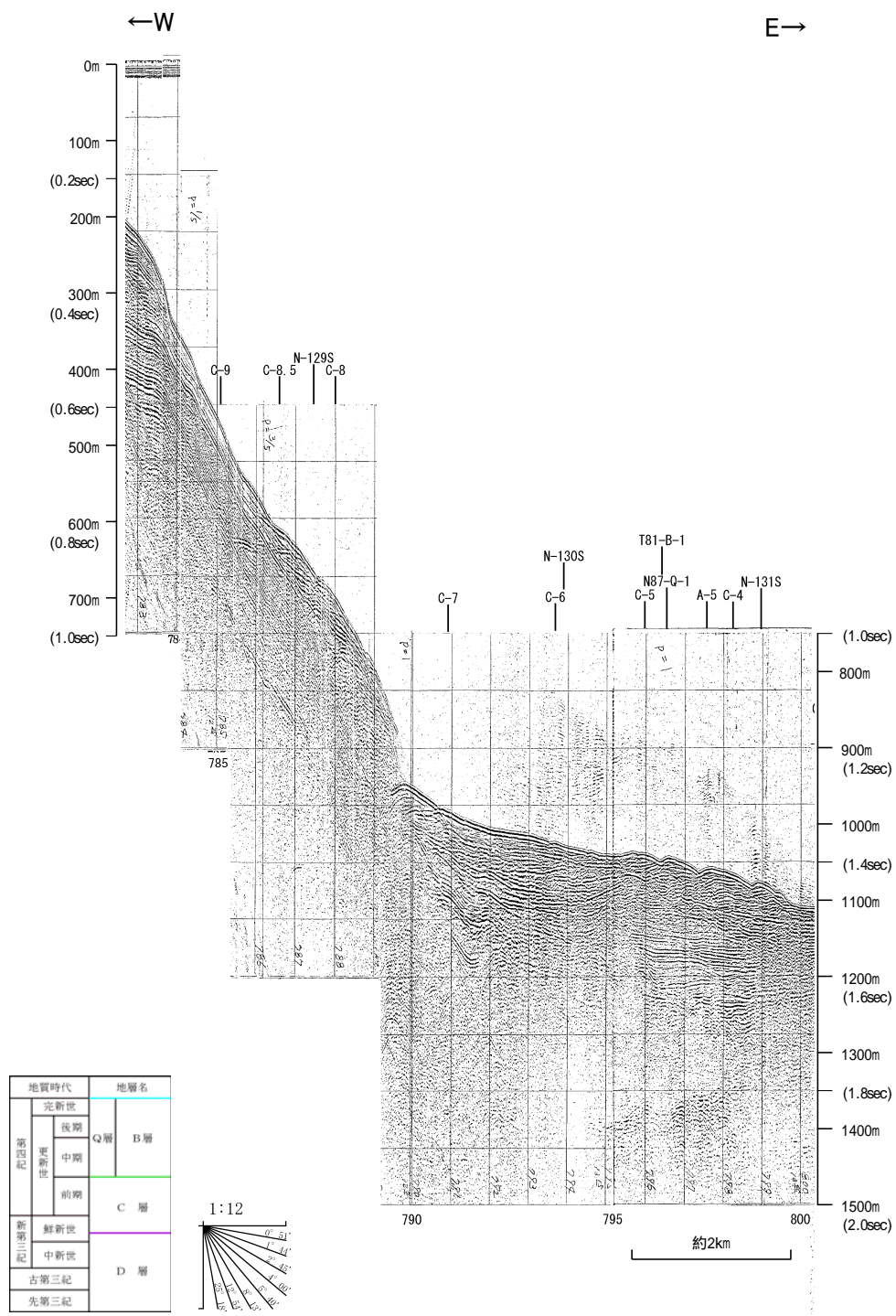
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-7



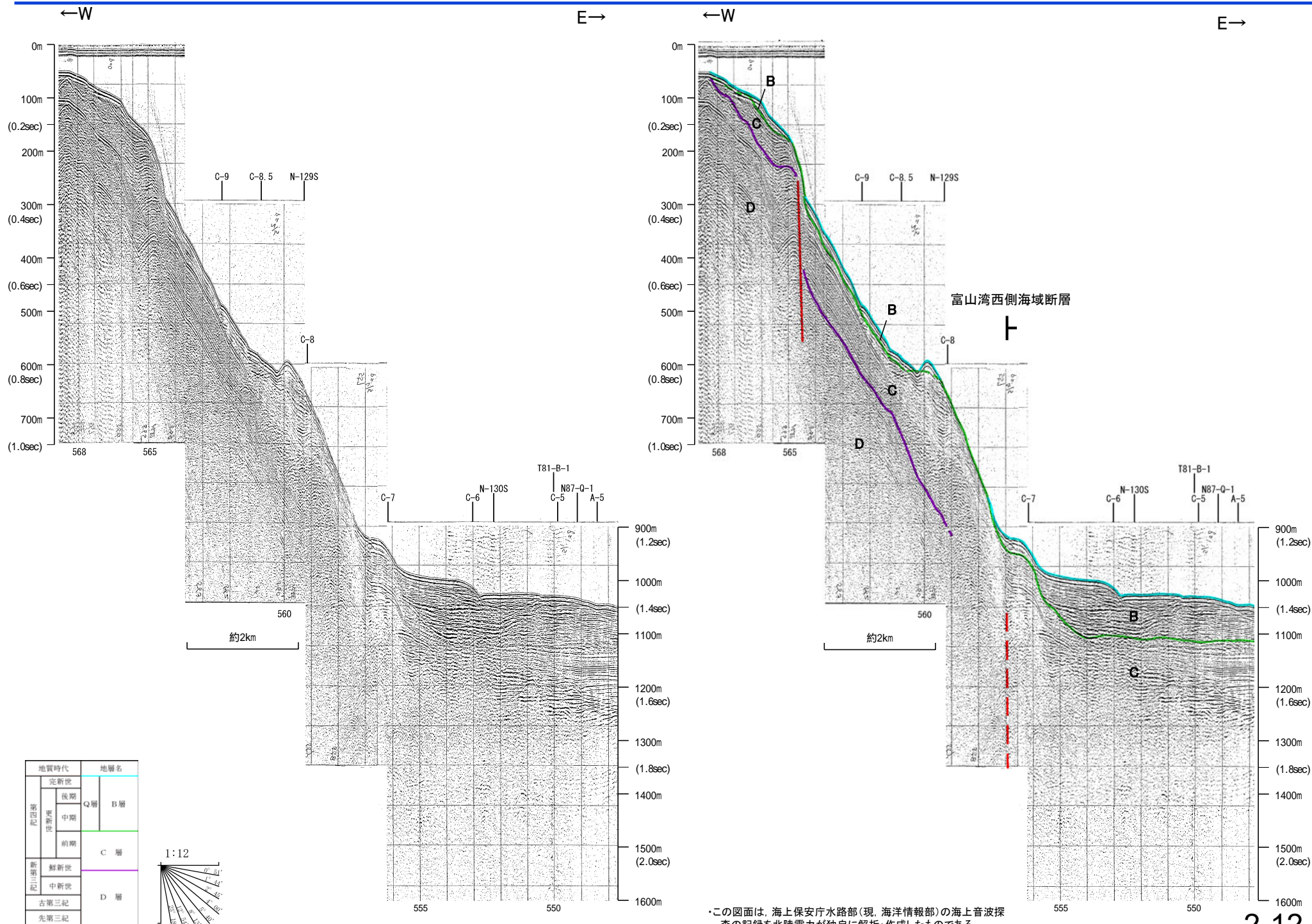
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-6

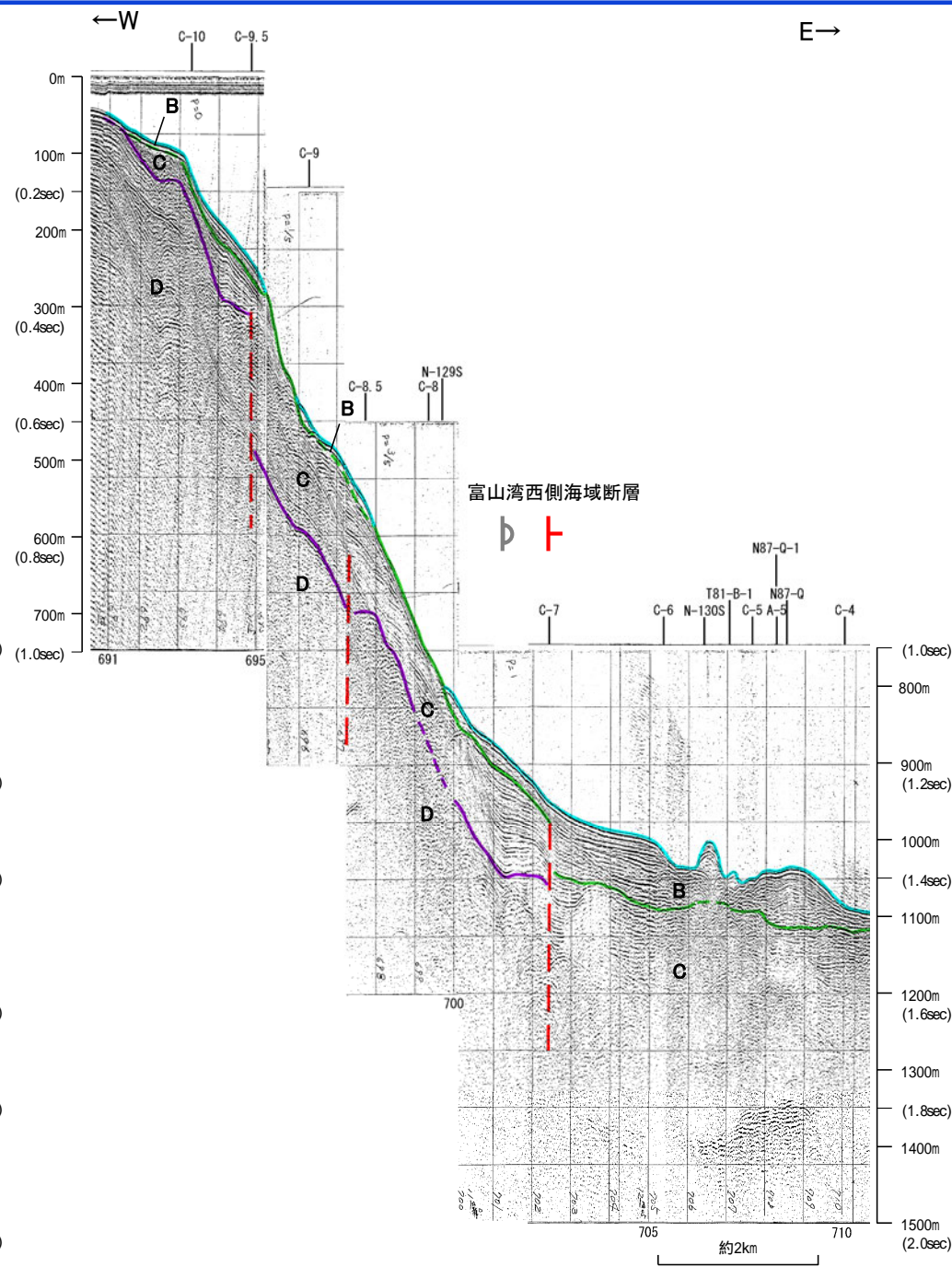
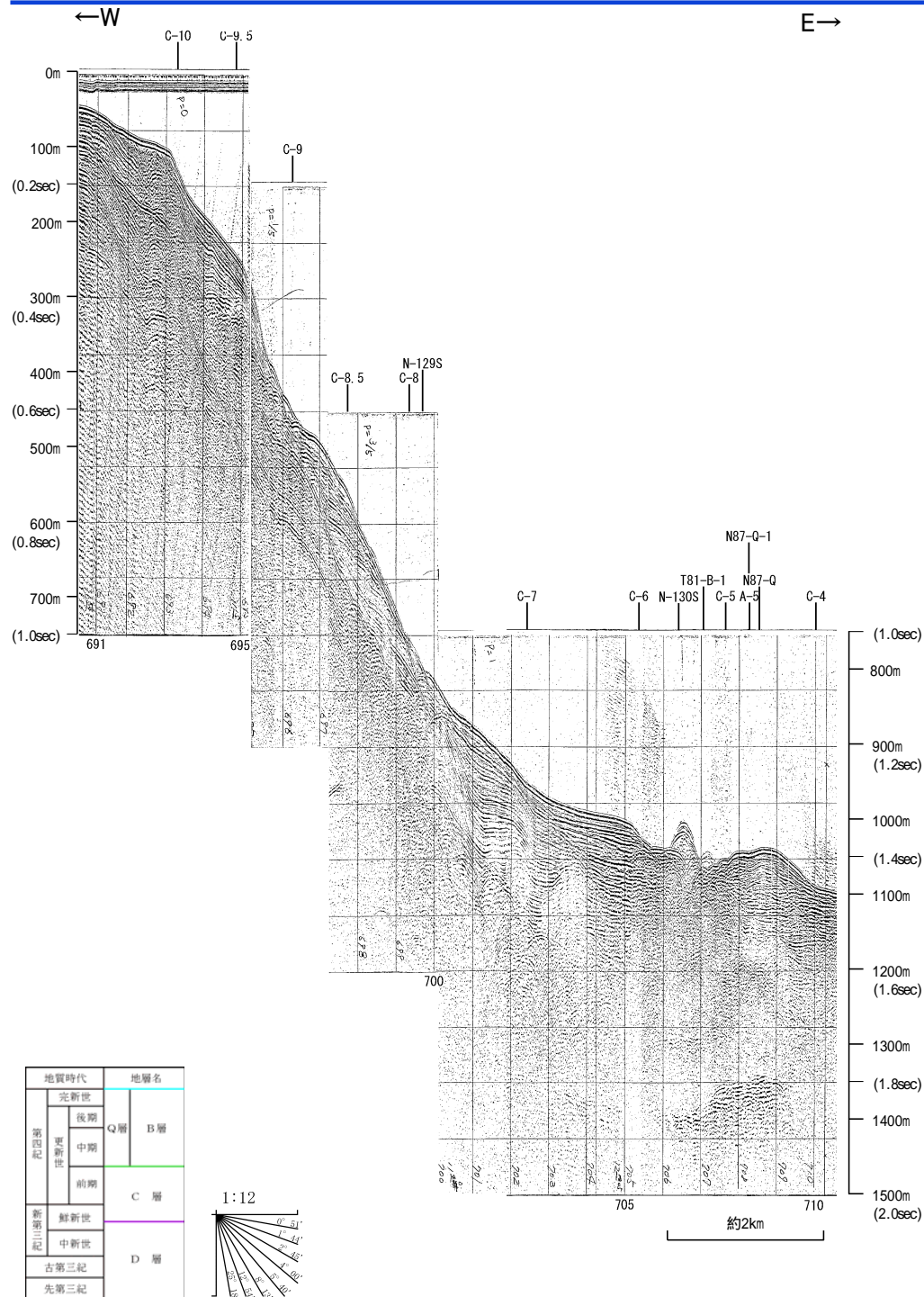


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-5

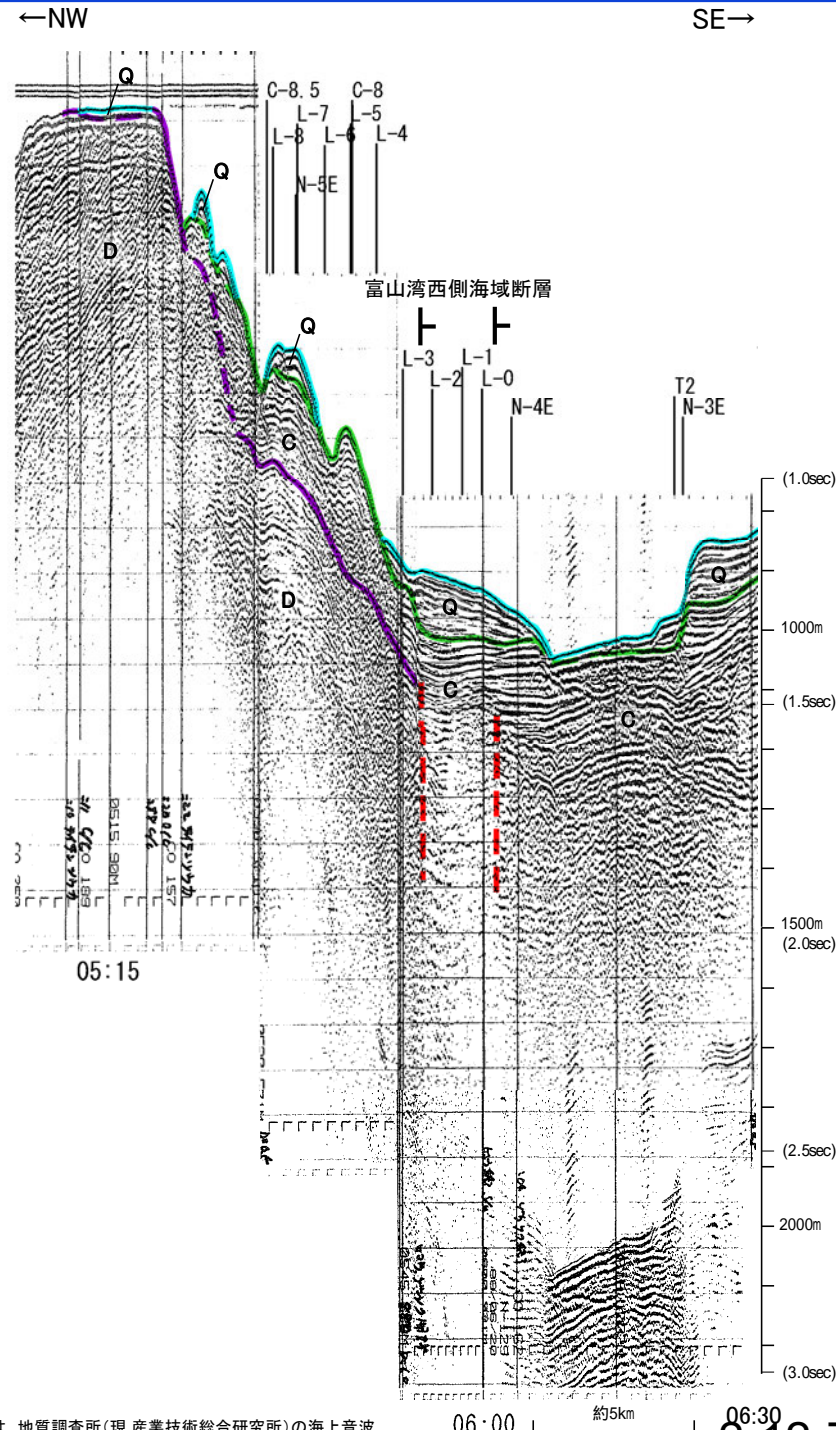
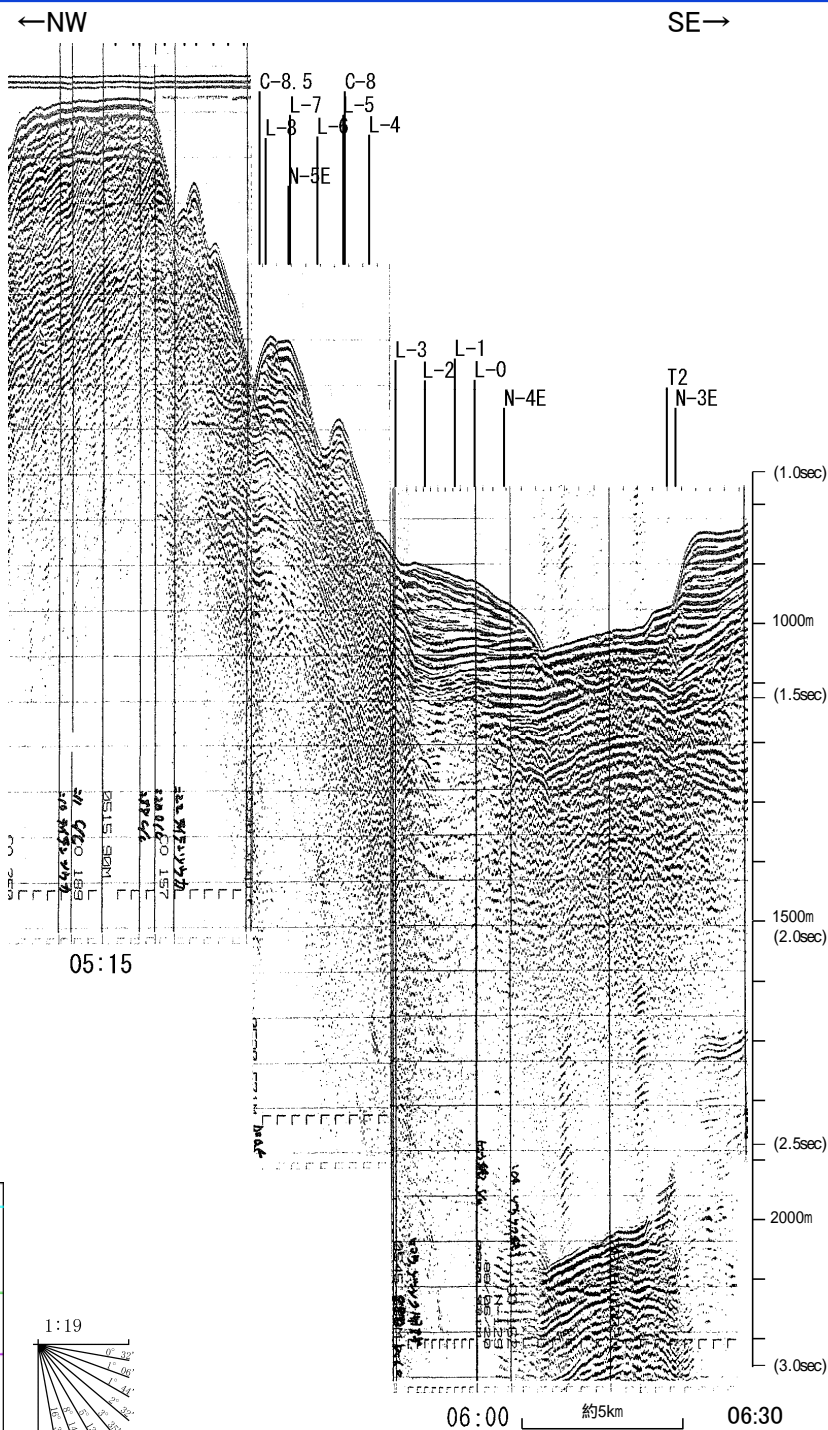


海上保安庁スパーカー L-4

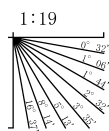


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-129S



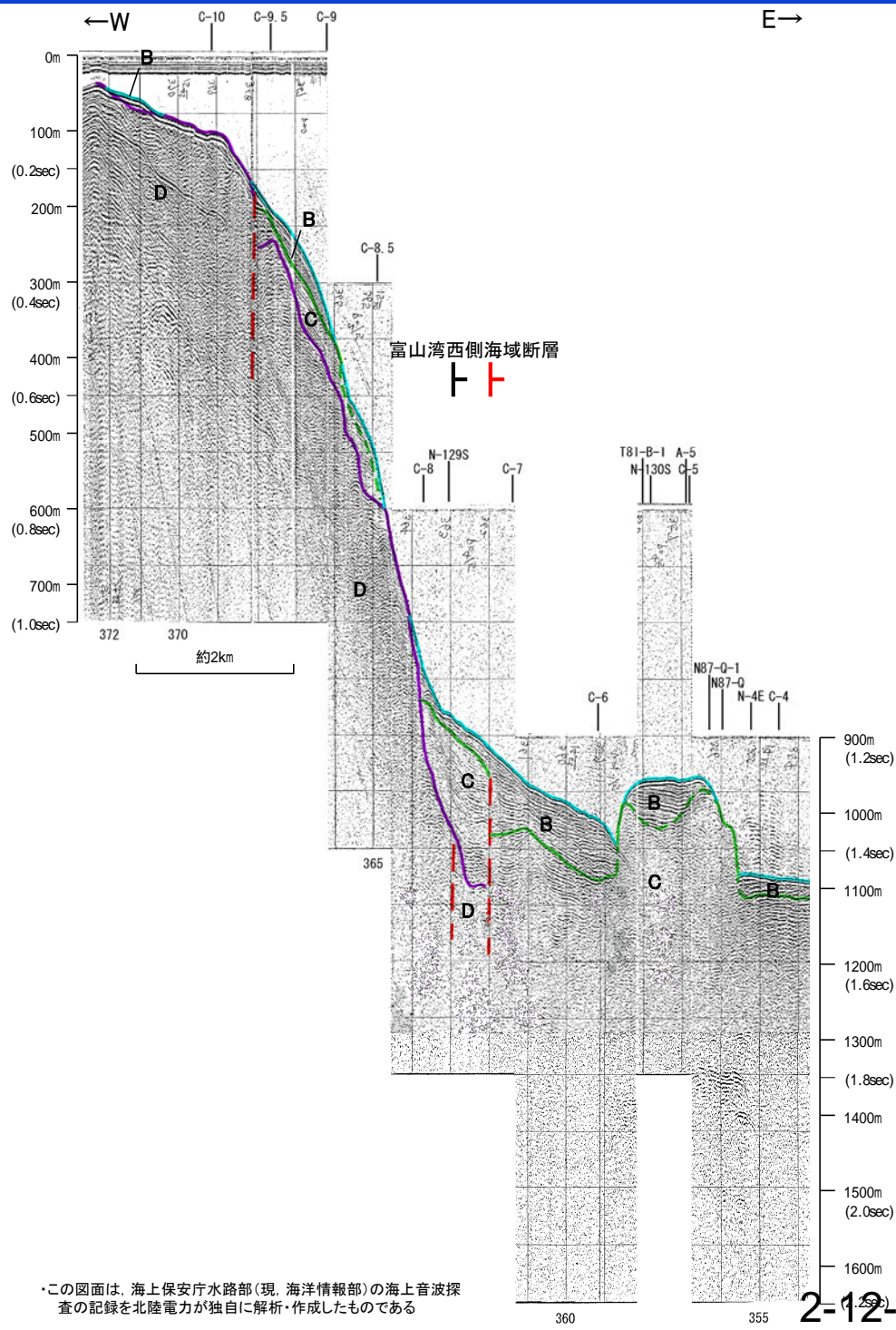
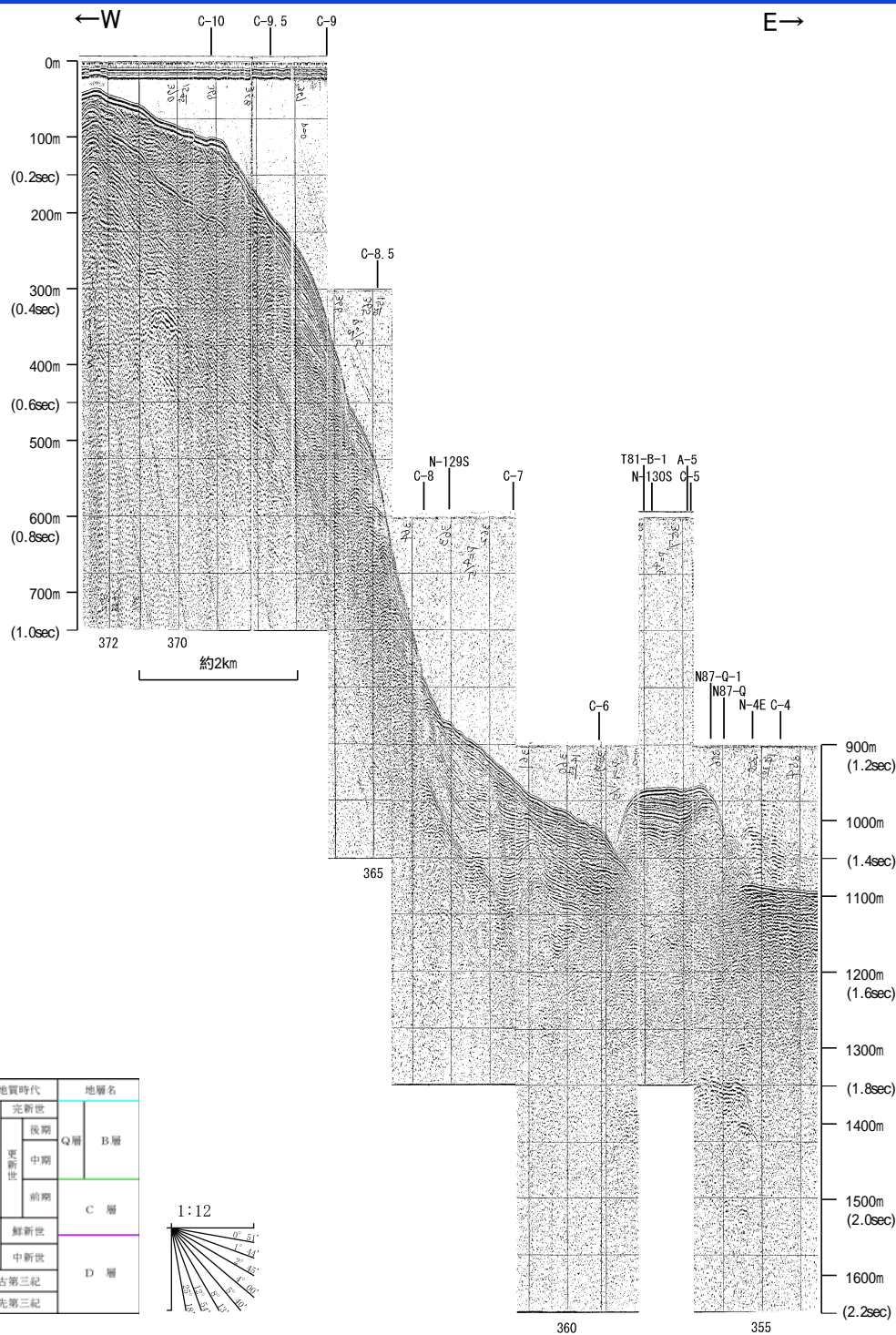
地質時代		地層名
第四紀	更新世	B層
	後期	
	前期	C層
中世		
紀山期	中新世	D層
	古第三紀	
先第三紀		



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

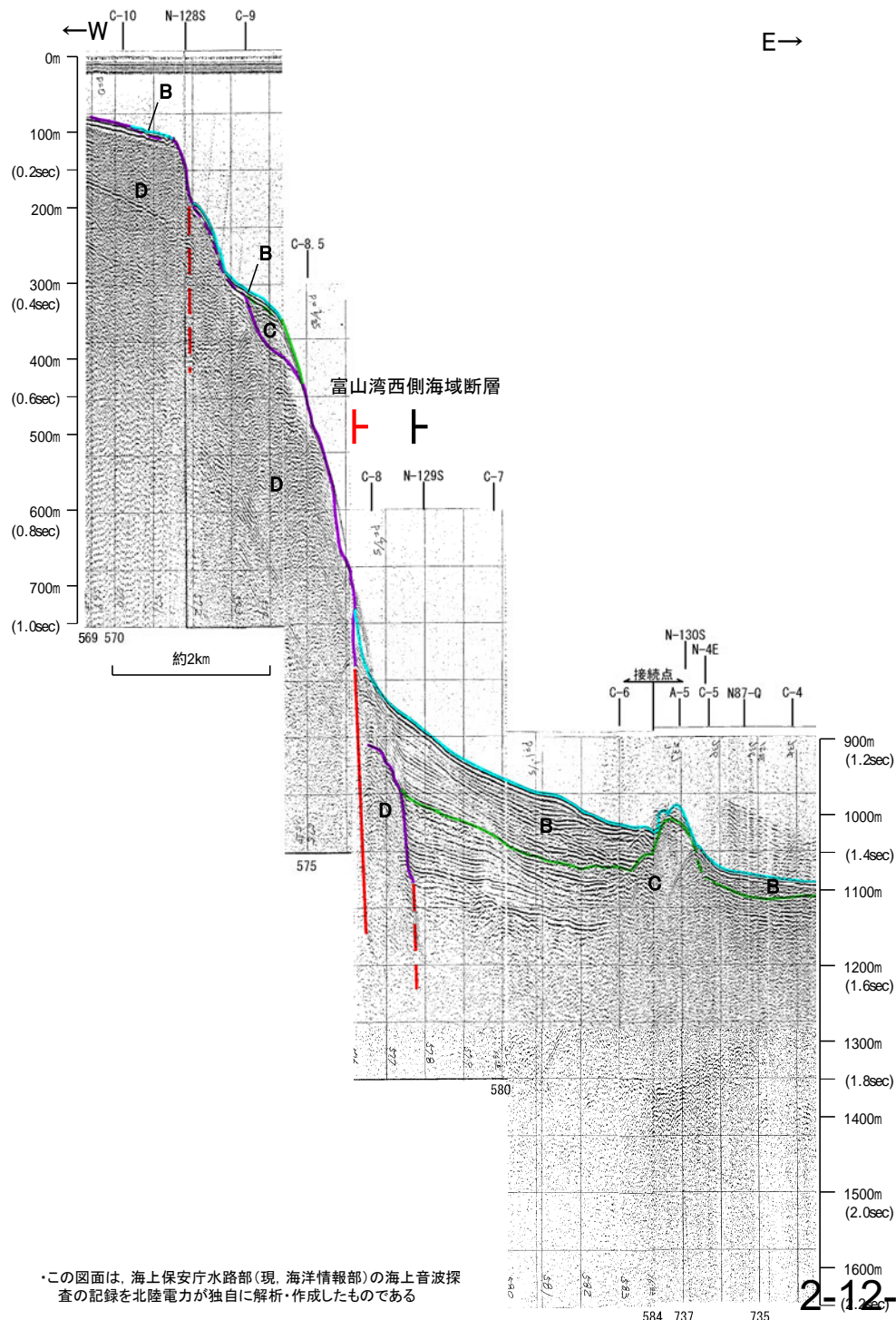
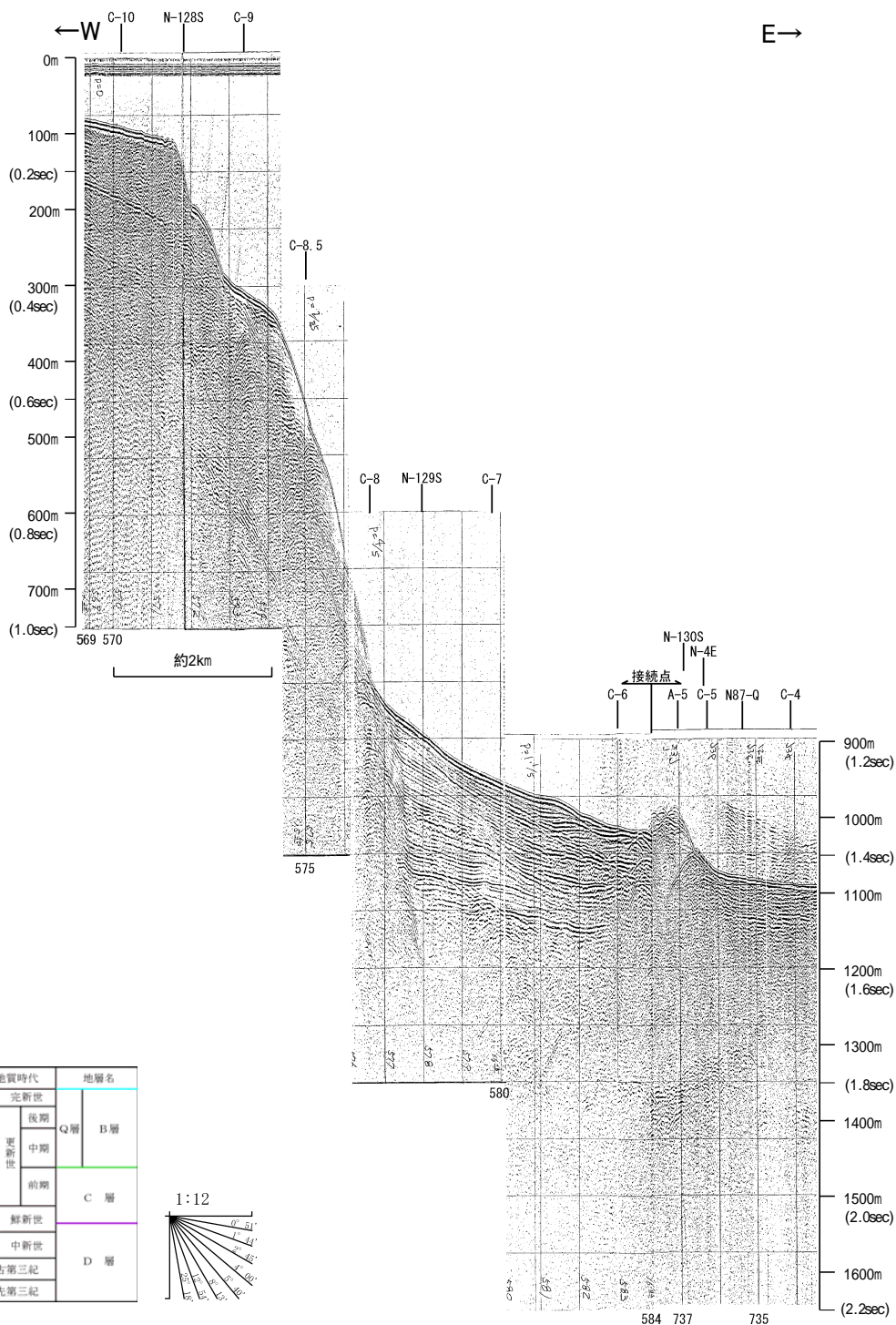
2-12-73

海上保安庁スパーカー L-3



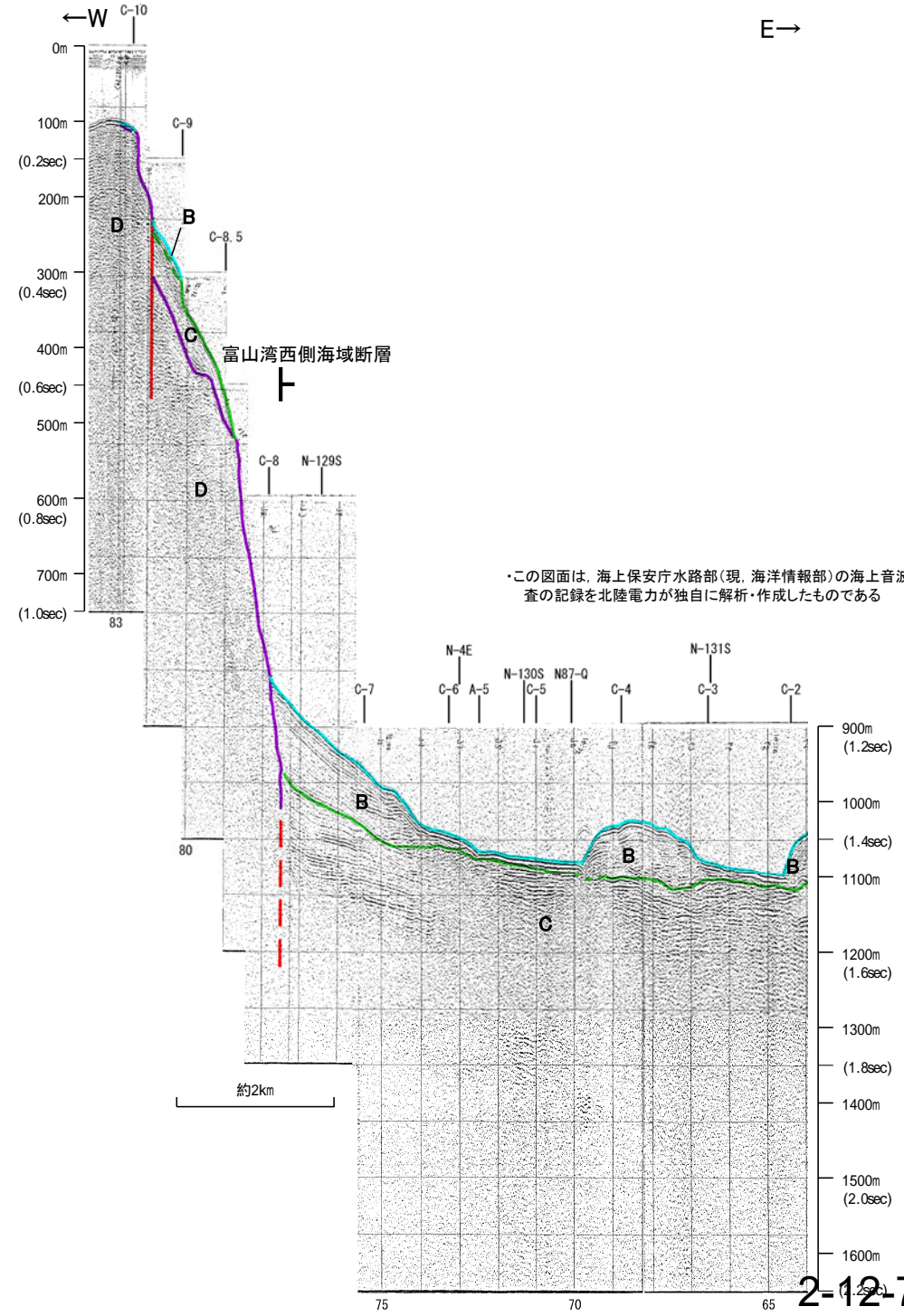
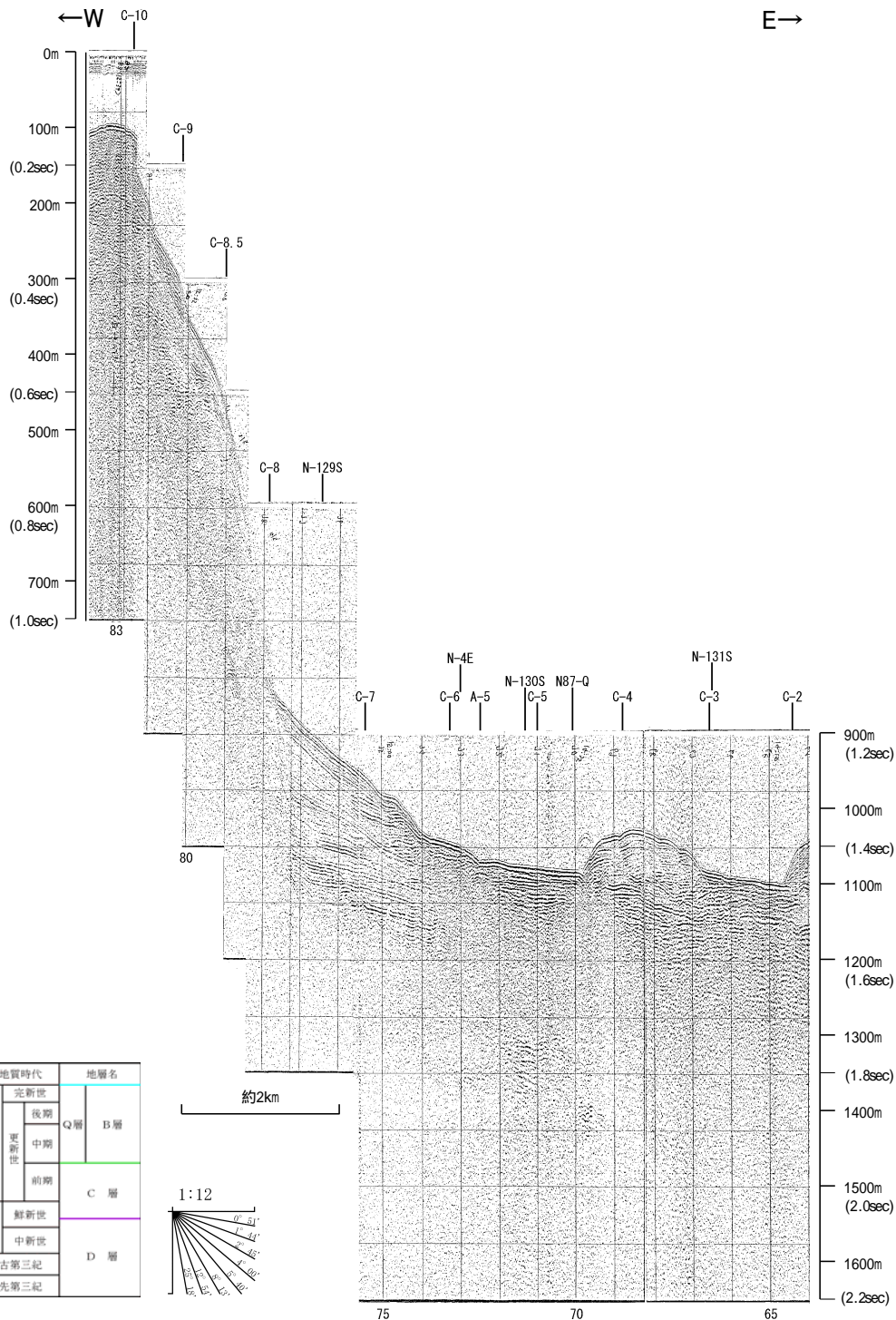
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-2



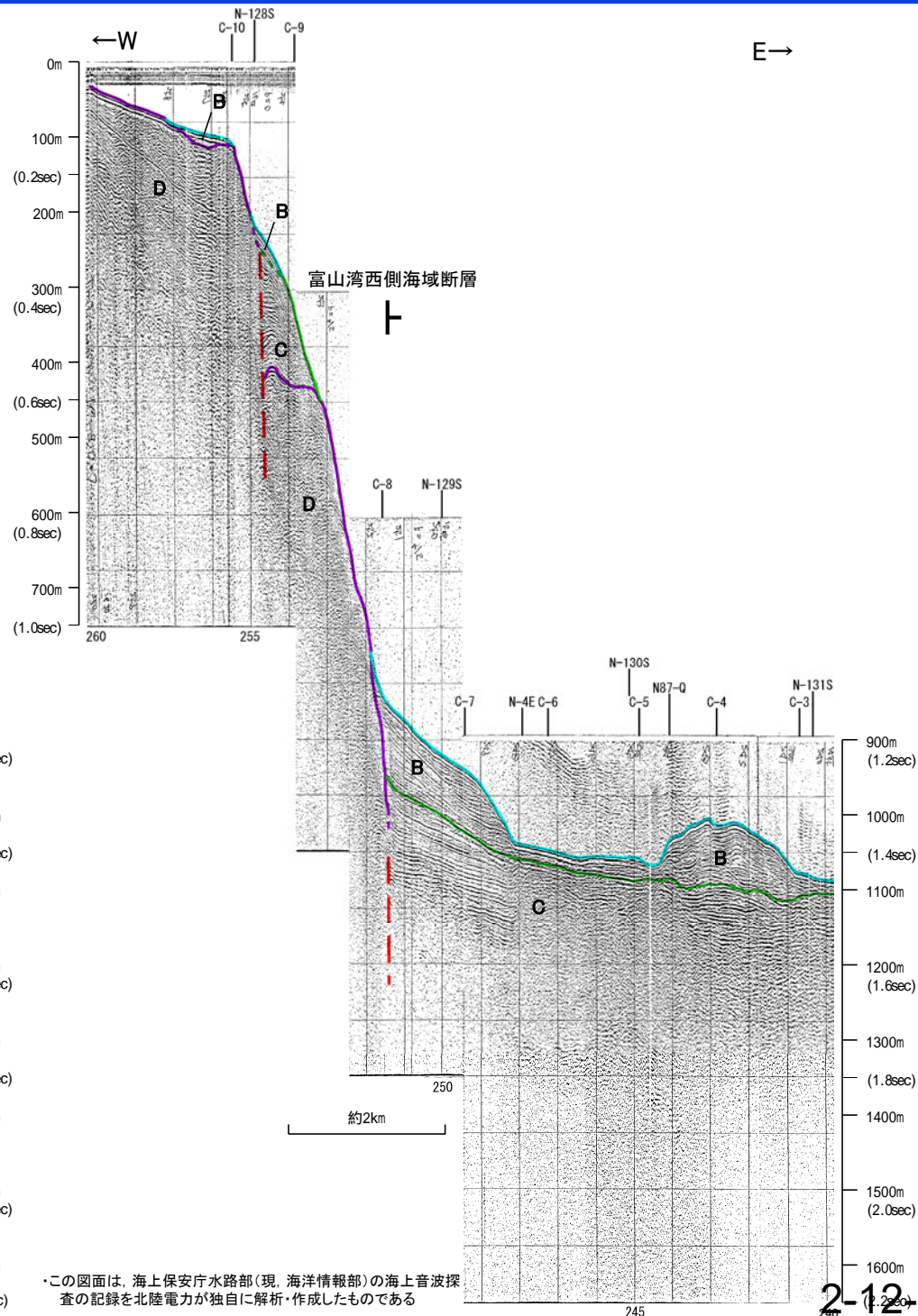
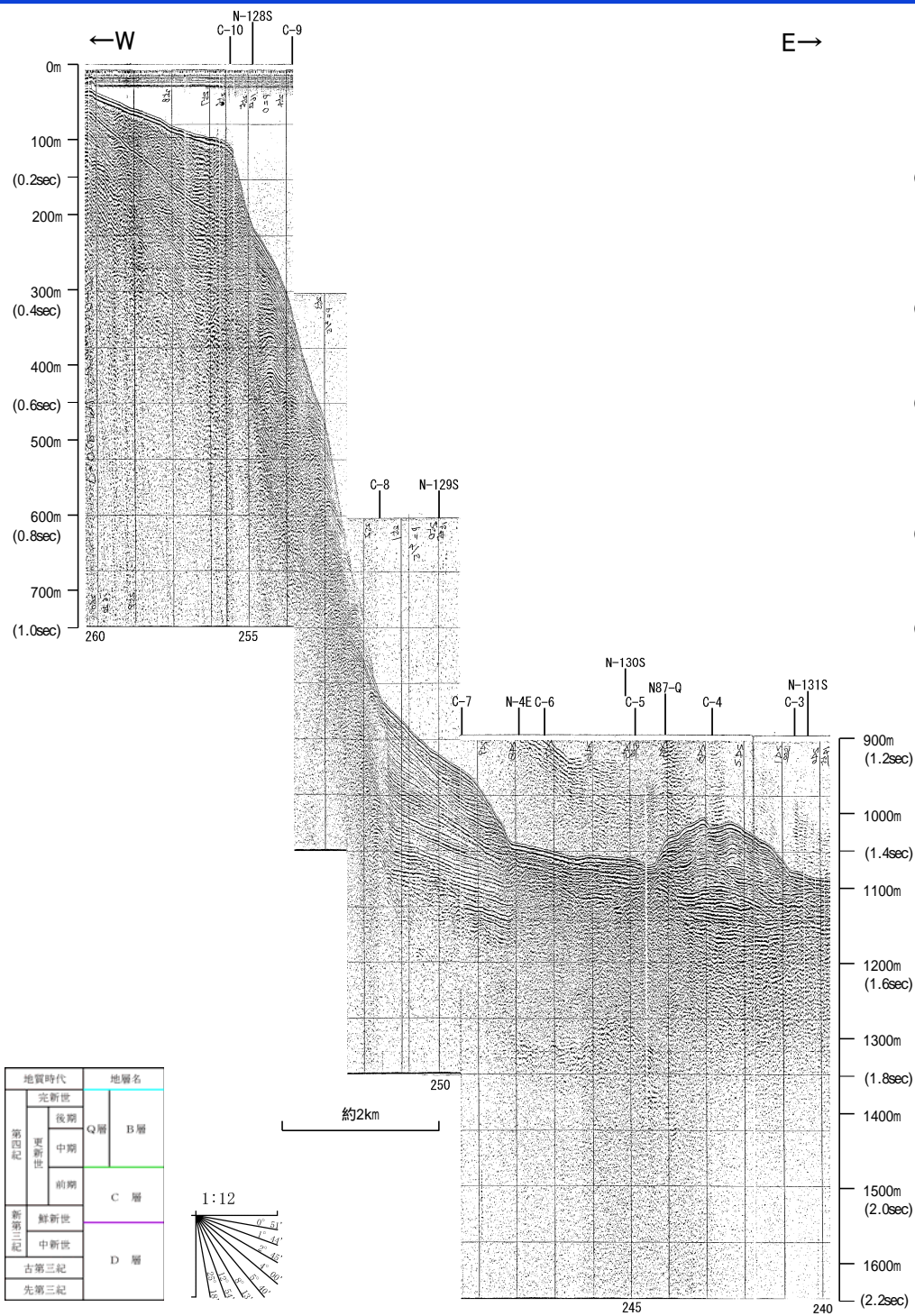
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-1



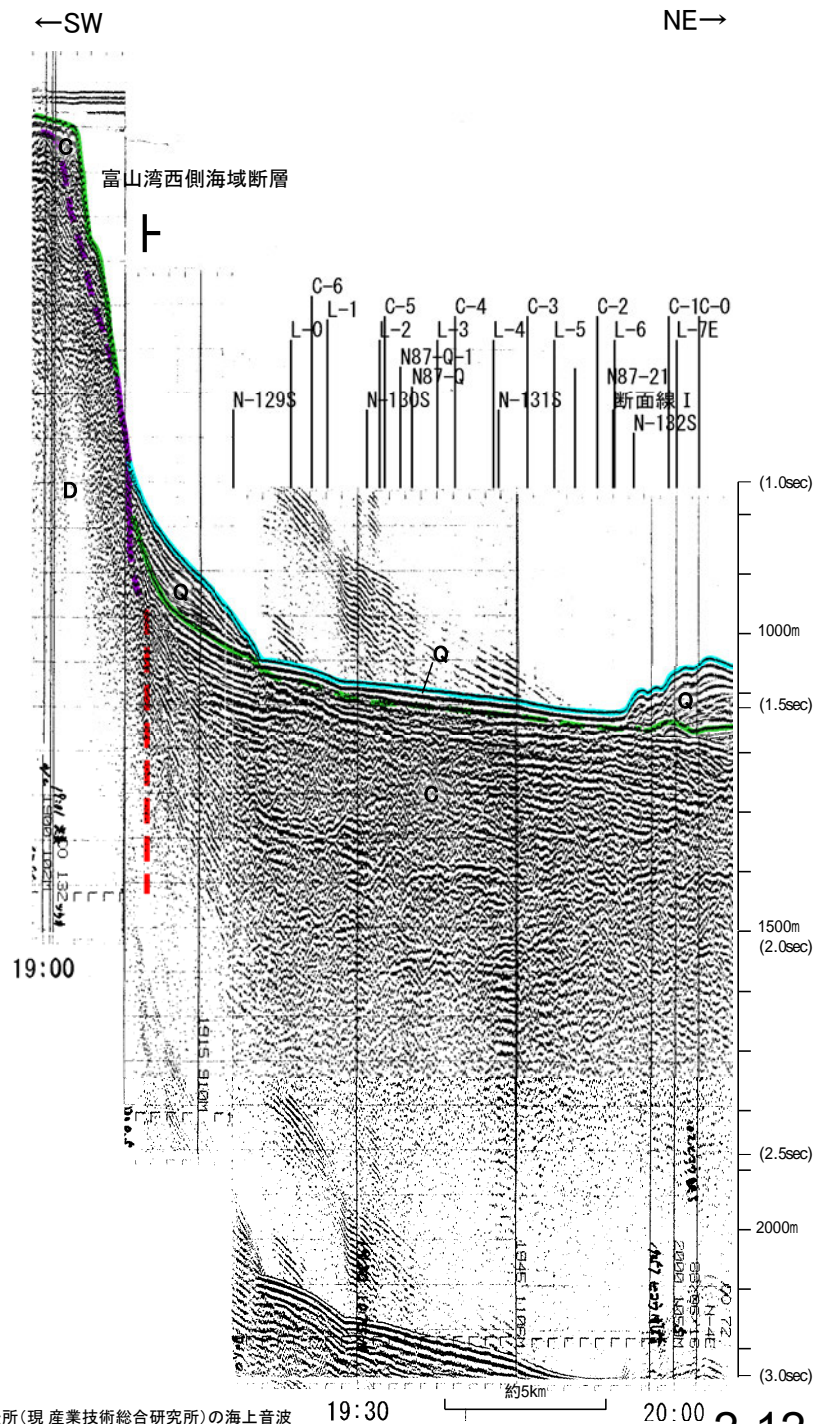
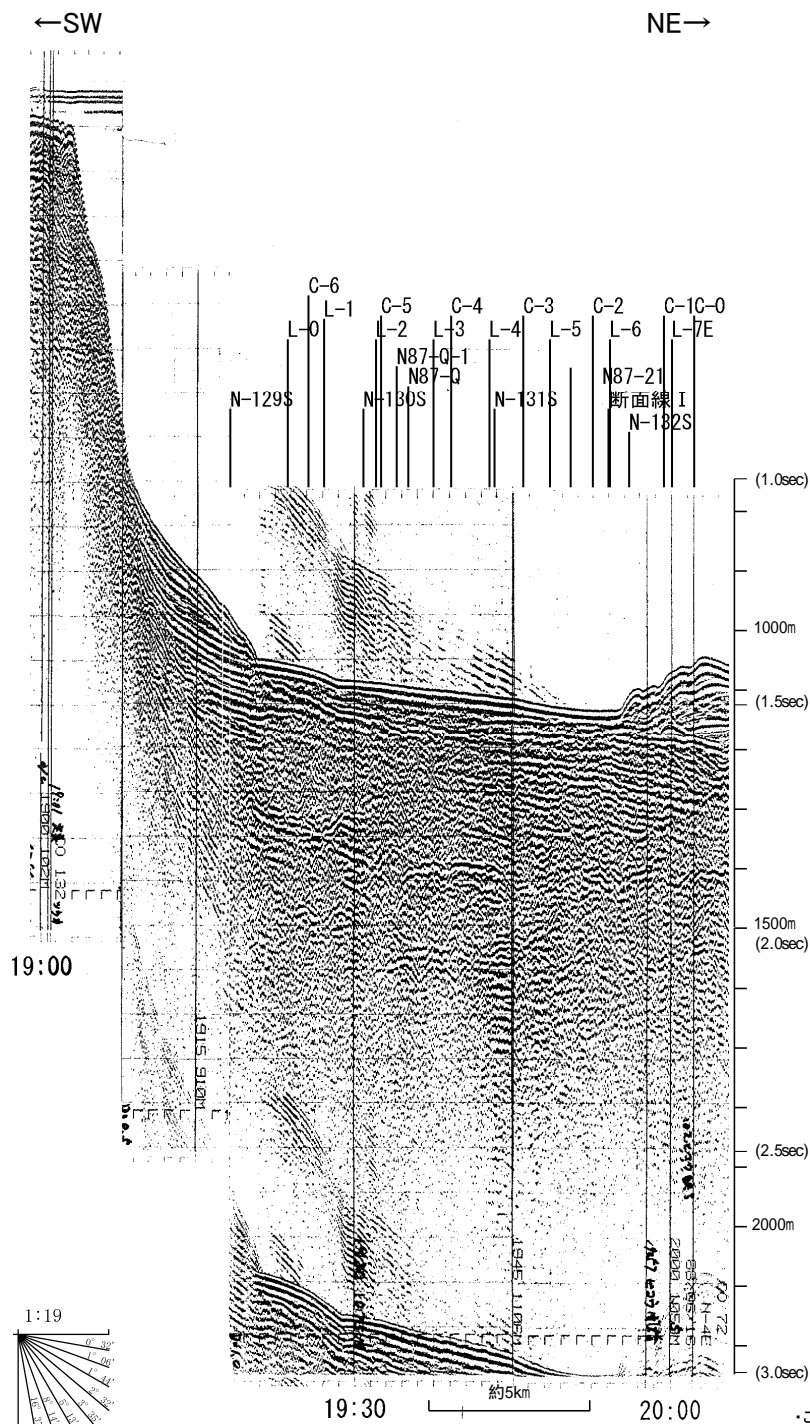
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-0

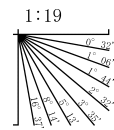


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-4E



地質時代	地層名		
新第三紀	完新世	B層	
	後期		Q層
	中期		
中新世	前期	C層	
	中新世	D層	
古第三紀			
先第三紀			



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

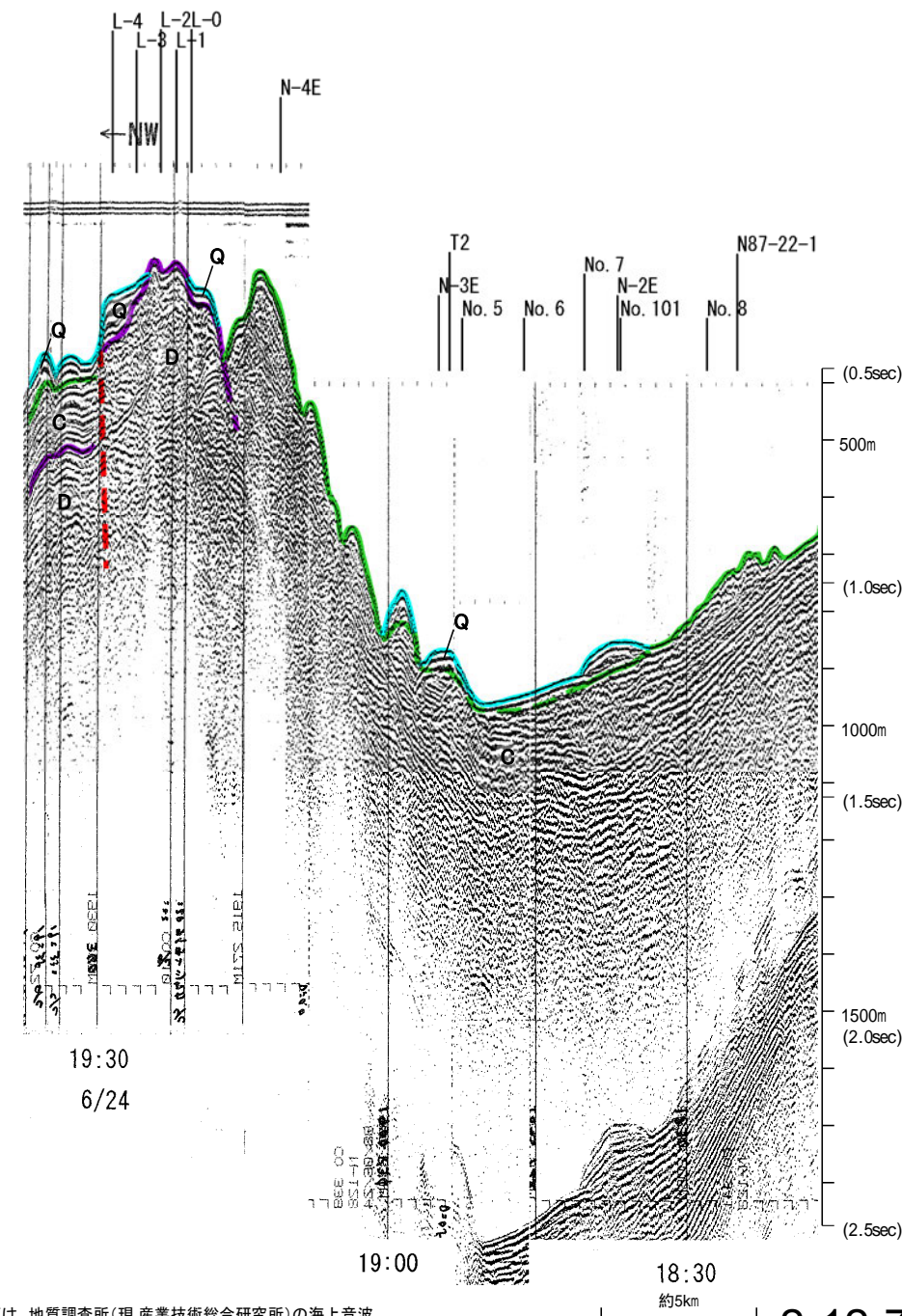
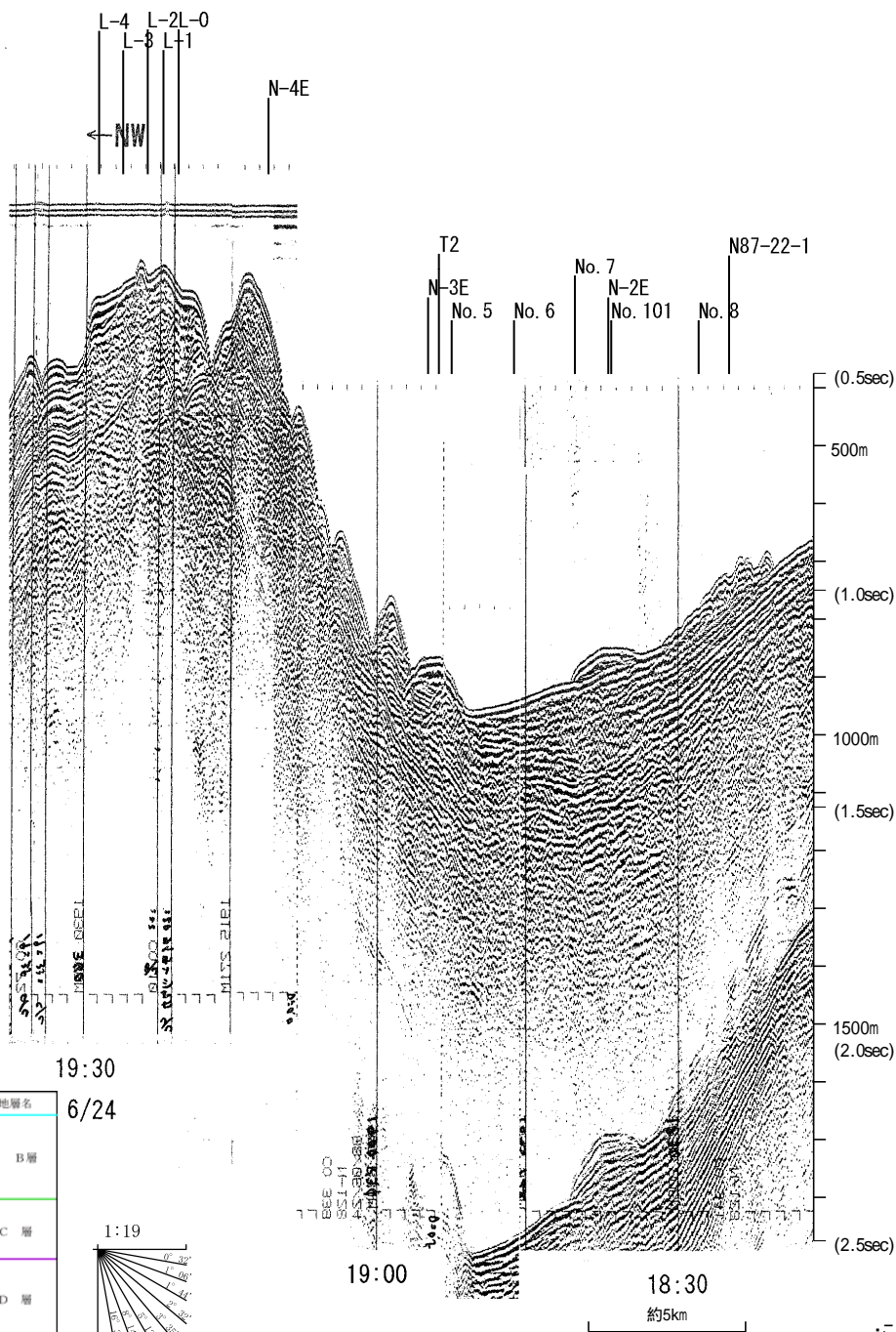
地質調査所エアガン N-128S

←NW

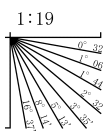
SE→

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	Q層	B層
	中期	C層	D層
	前期		
第三紀	新第三紀	D層	D層
	中新世		
	古第三紀		



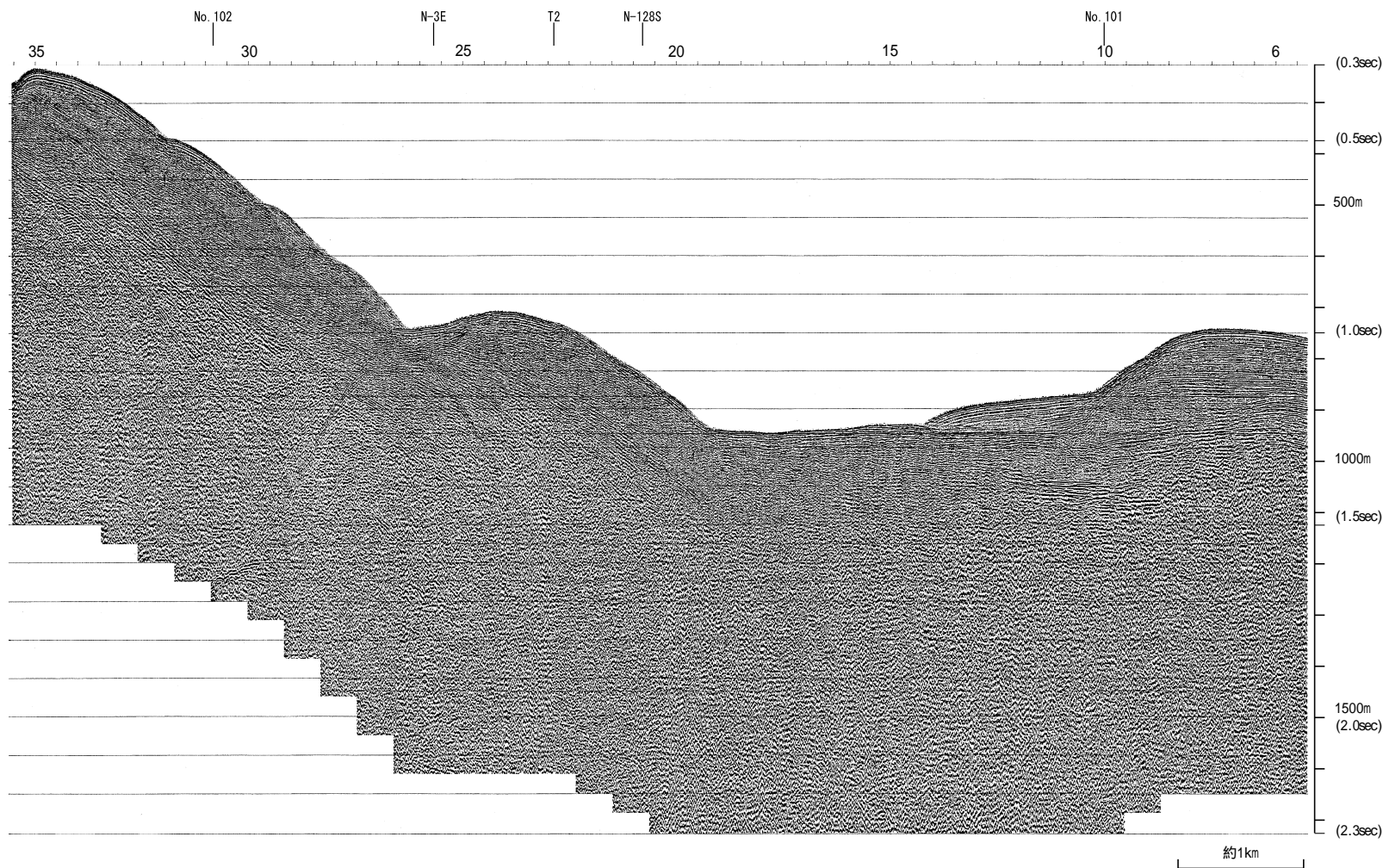
この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

2-12-79

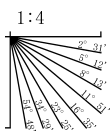
北陸電カスパーカー No.5

←NW

SE→



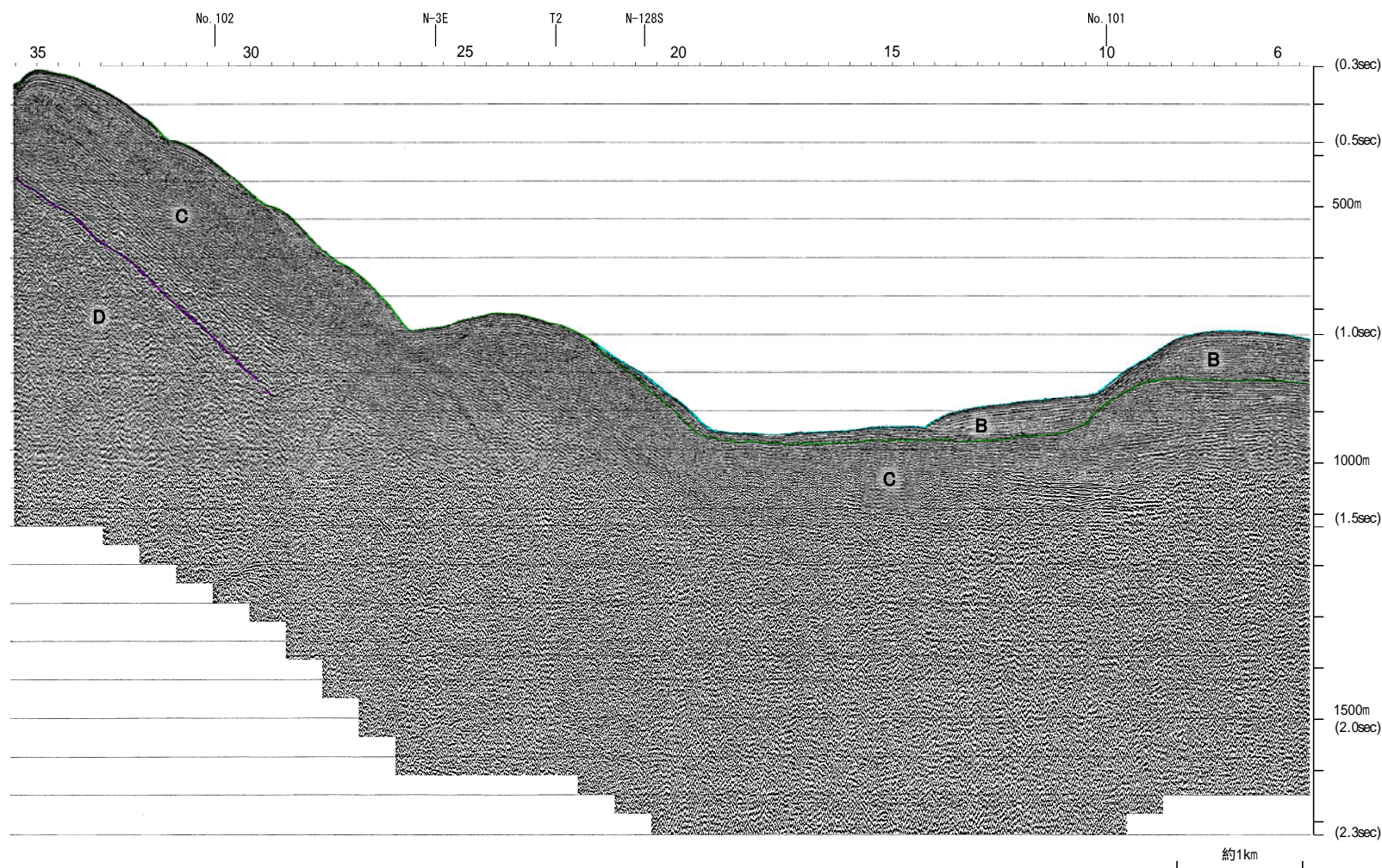
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	Q層
第三紀	前期	C層
	蘇新世	D層
中新世		
古第三紀		
先第三紀		



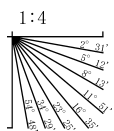
北陸電カスパーカー No.5

←NW

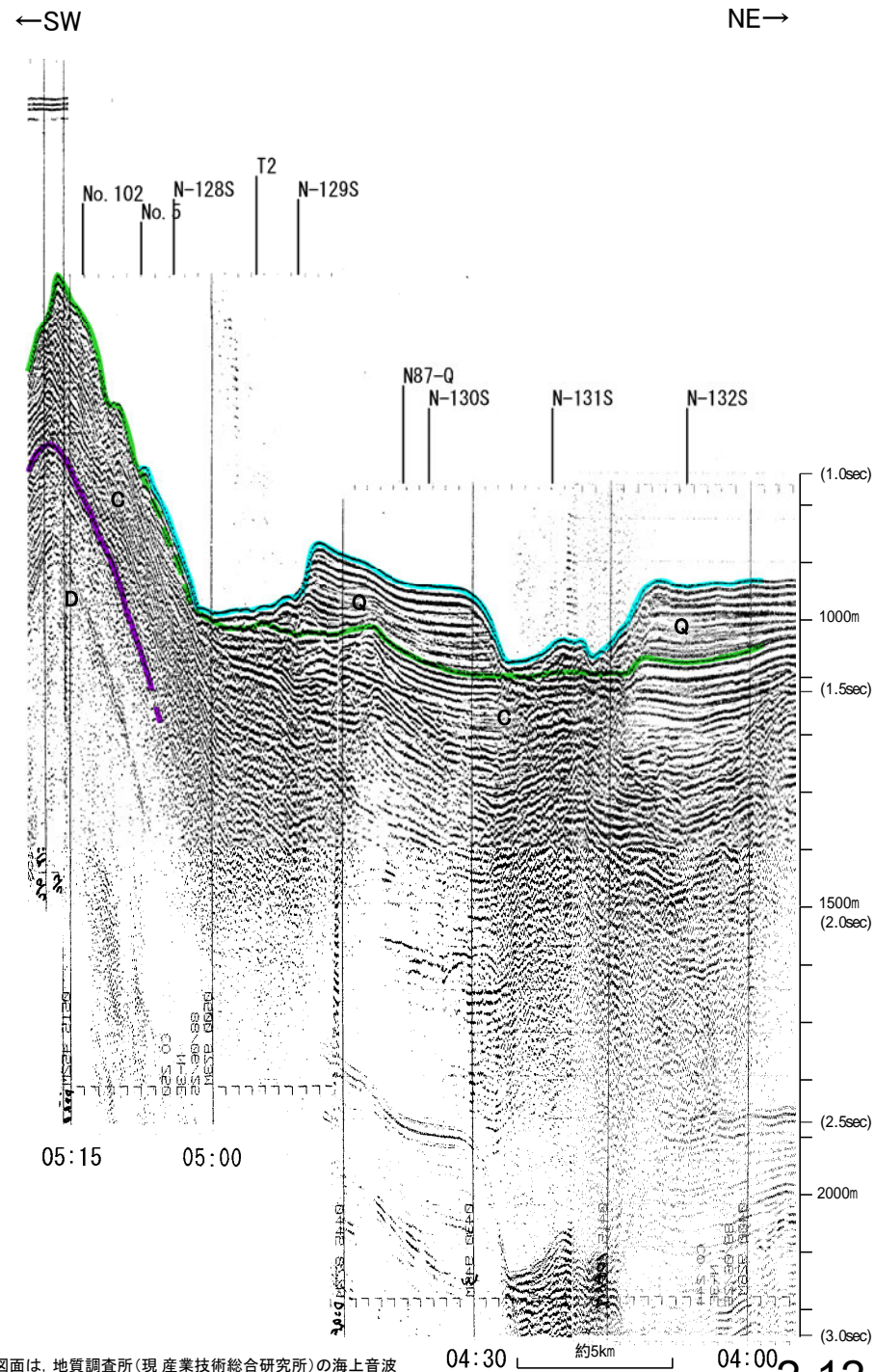
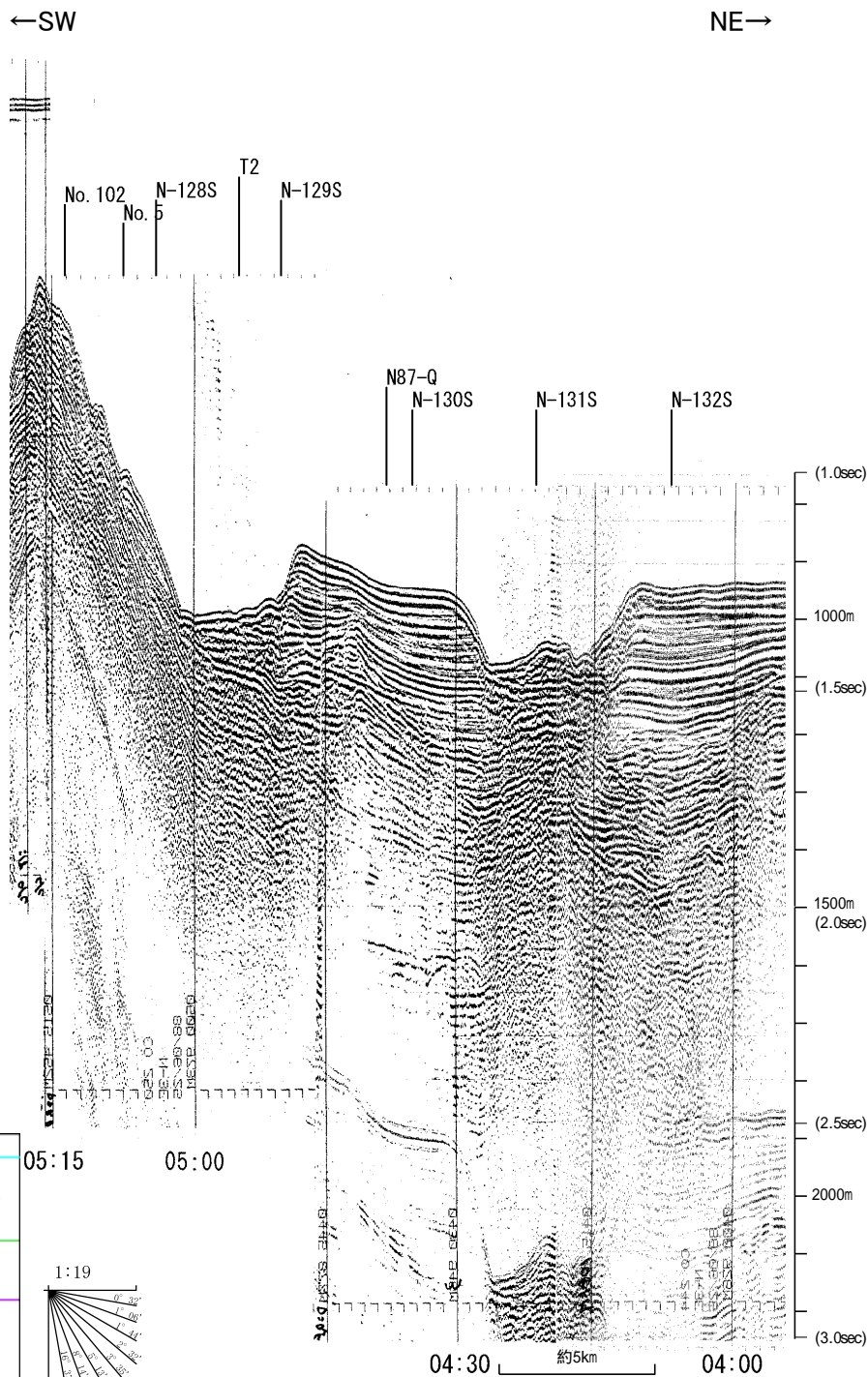
SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
第三紀	前期		C層
	蘇新世		
新第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			



地質調査所エアガン N-3E



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

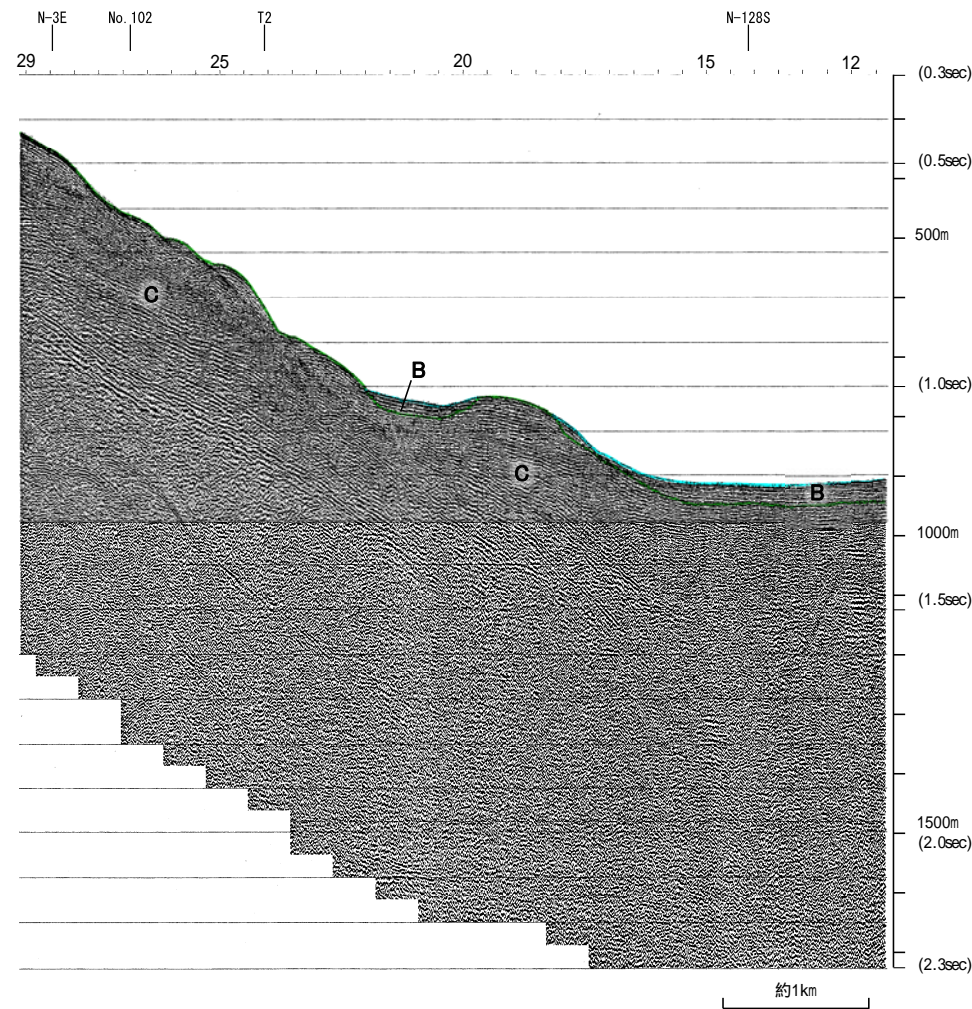
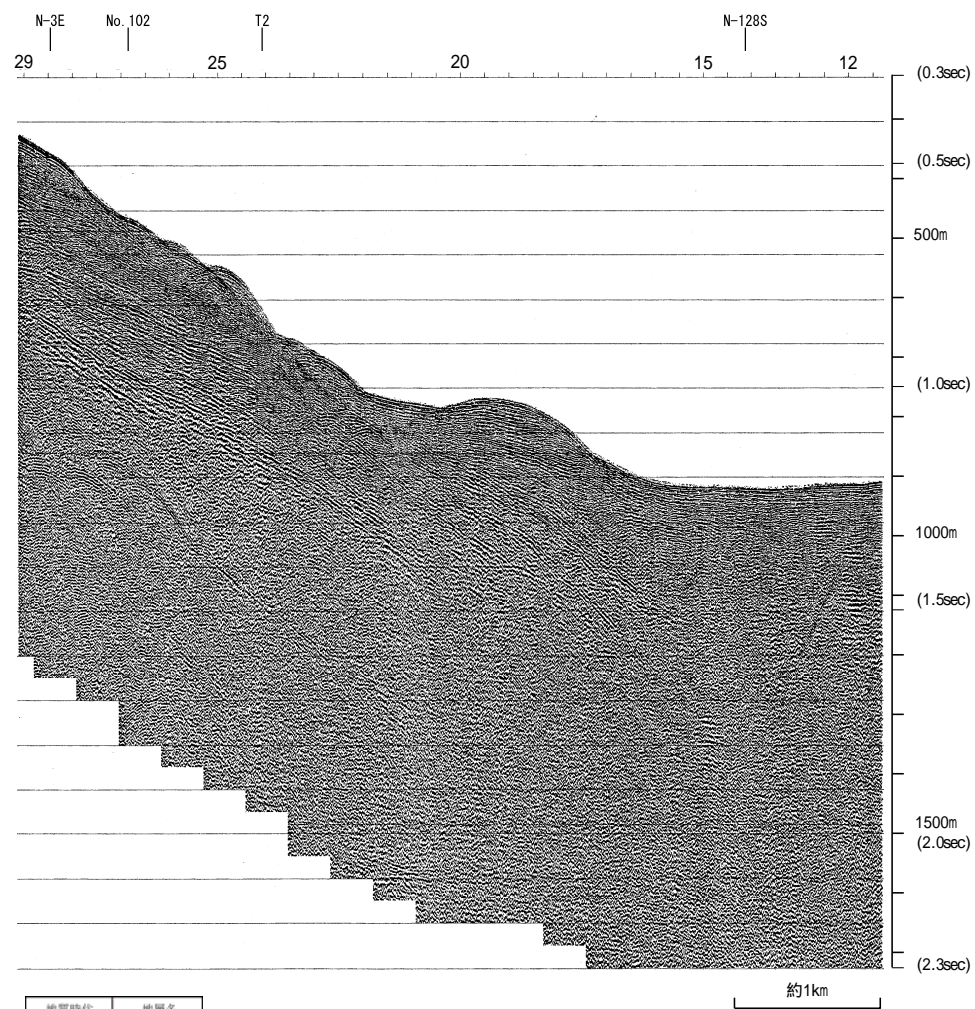
北陸電カスパーカー No.6

←NW

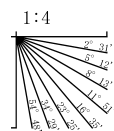
SE→

←NW

SE→



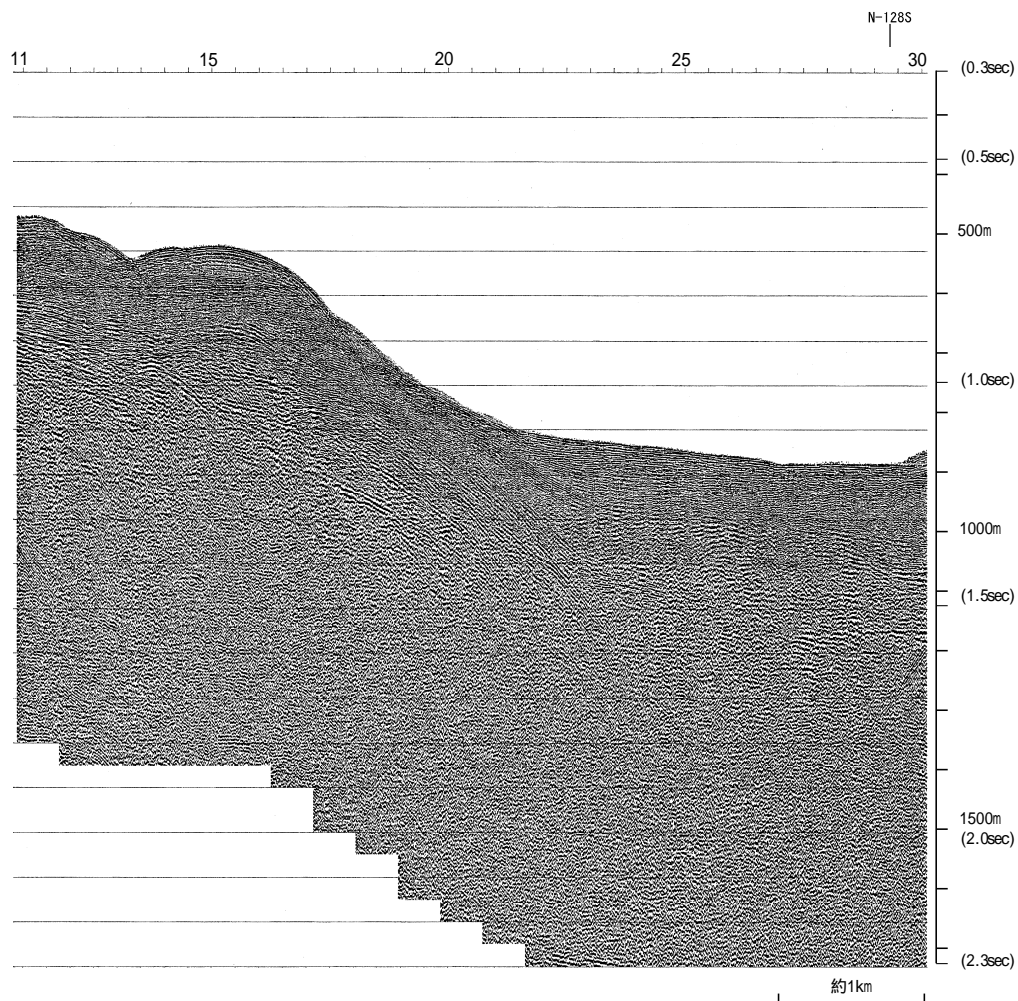
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	Q層	B層
	中期		
	前期	C層	
第三紀	新第三紀	D層	
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			



北陸電カスパーカー No.7

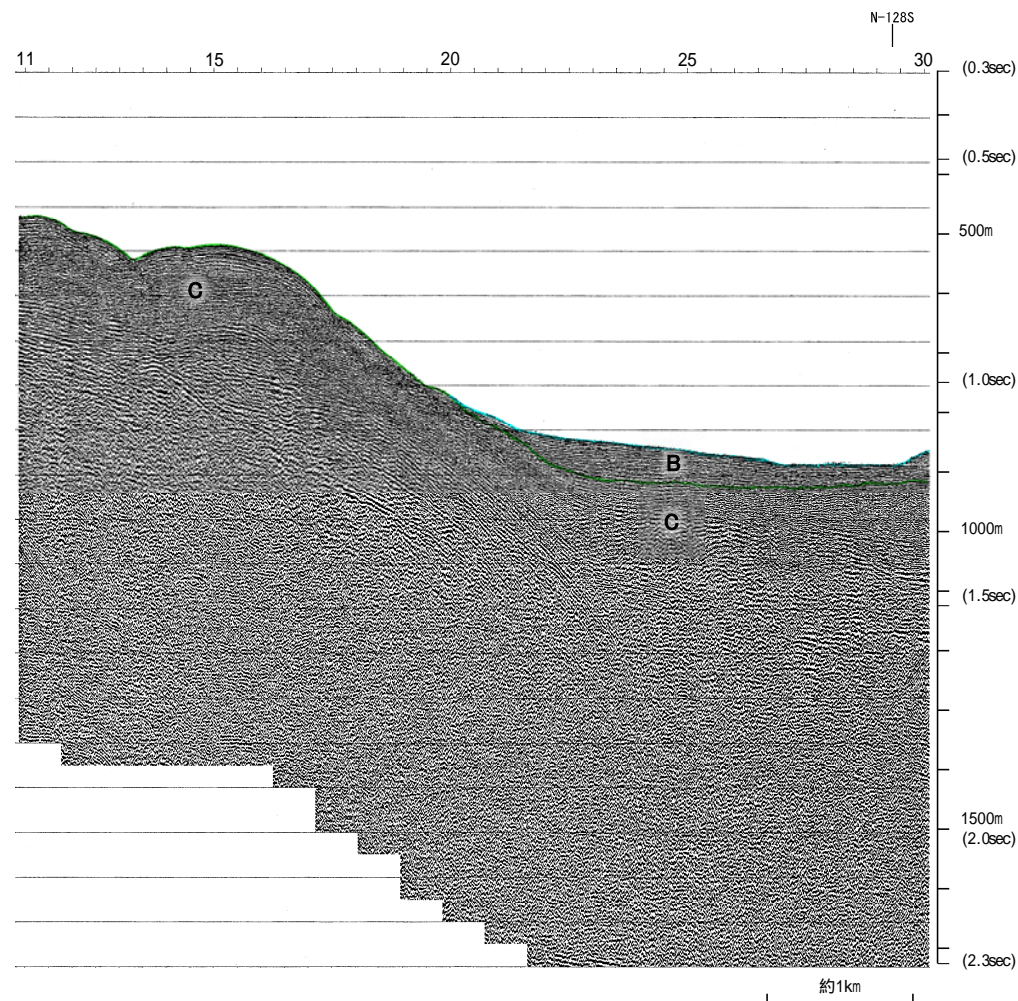
←NW

SE→

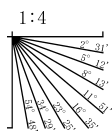


←NW

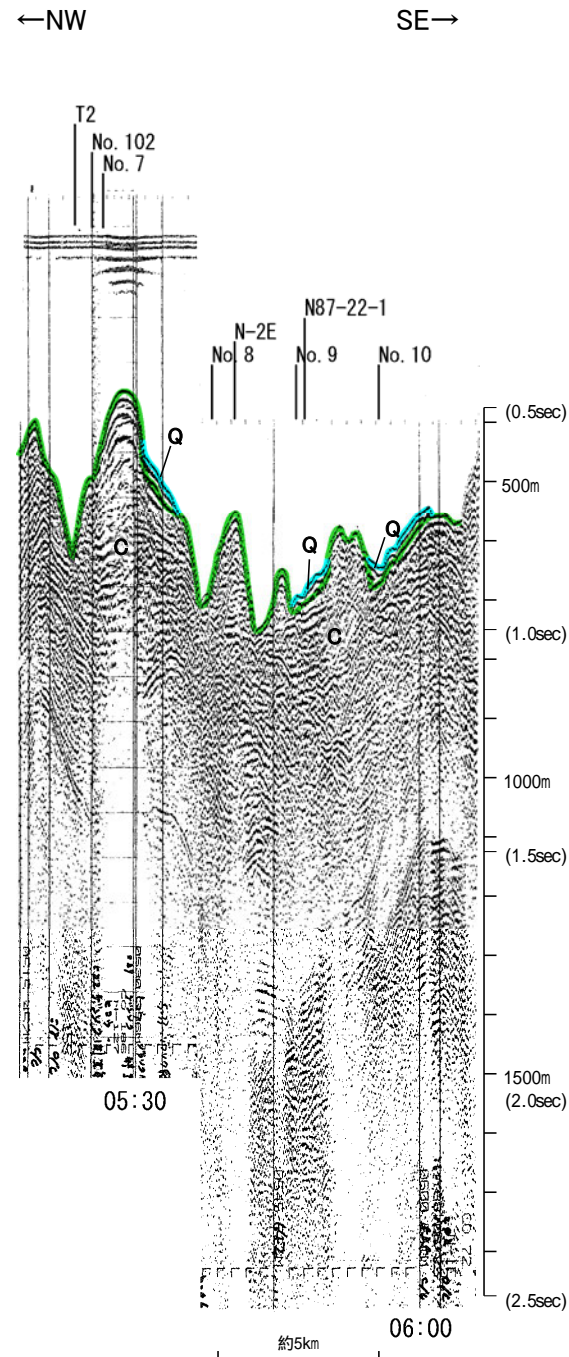
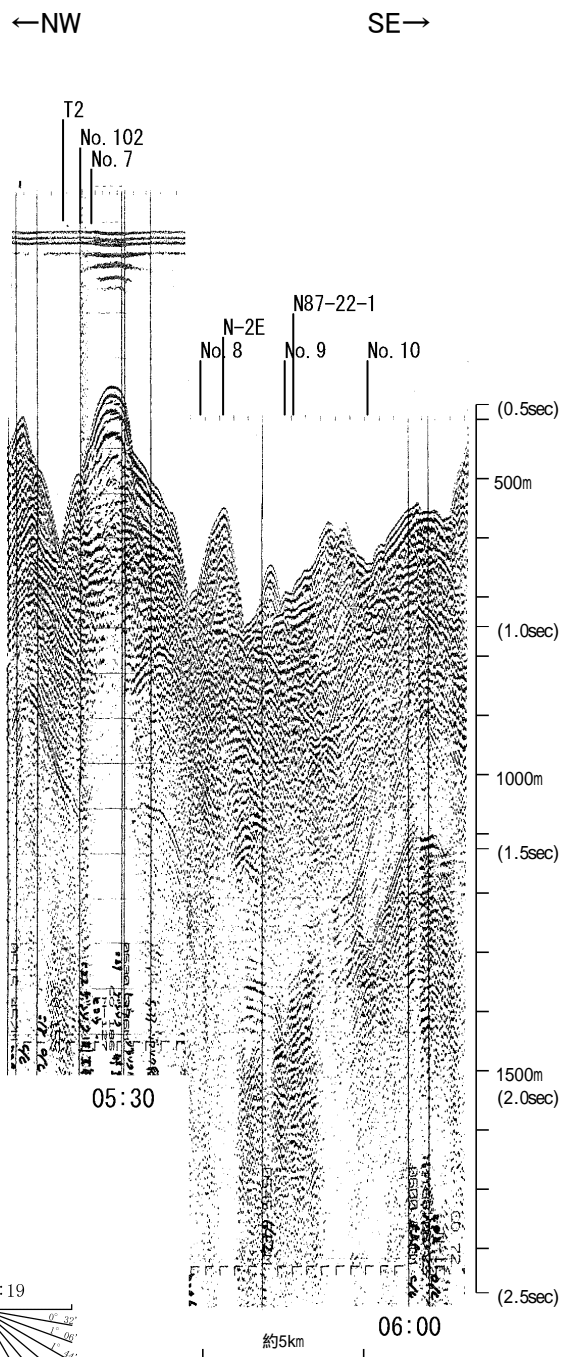
SE→



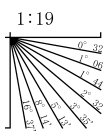
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	Q層
第三紀	前期	C層
	中新世	D層
古第三紀		
先第三紀		



地質調査所エアガン N-127S



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
第三紀	前期	C層	D層
	鮮新世		
古第三紀	中新世	D層	D層
	先第三紀		



・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

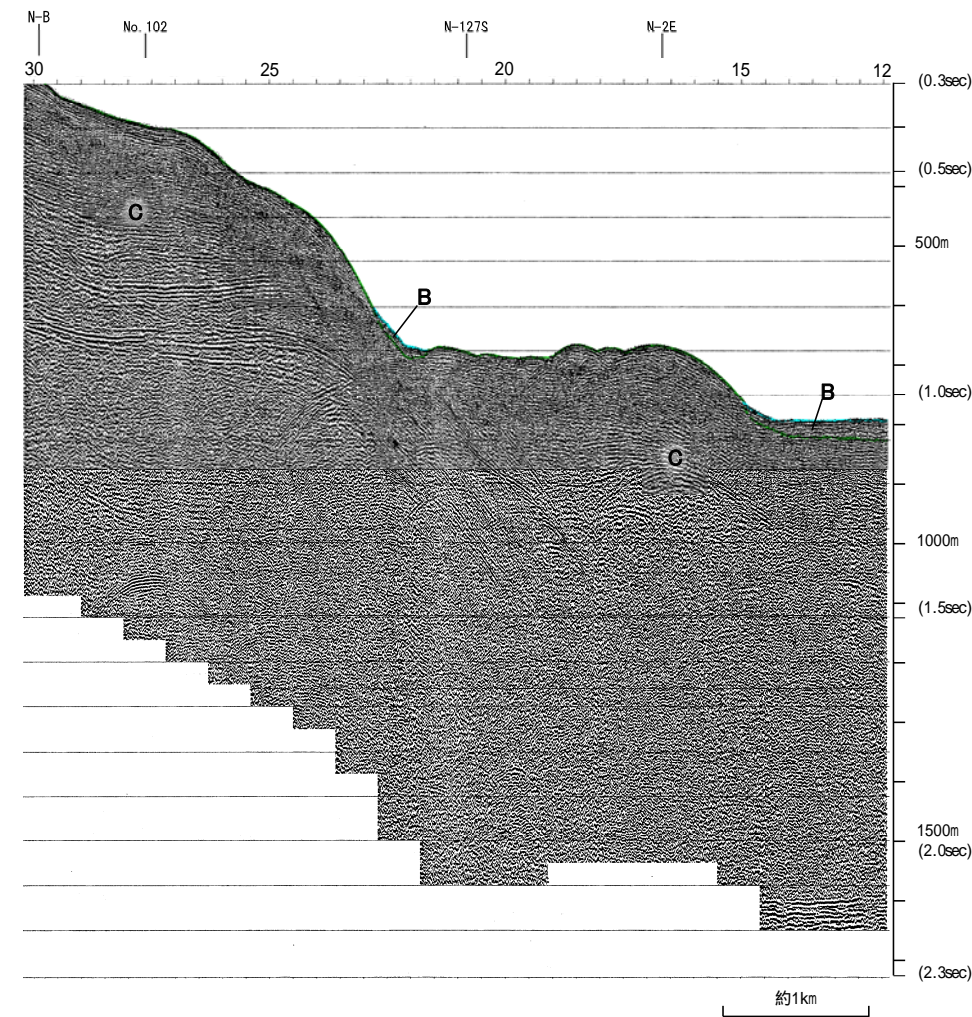
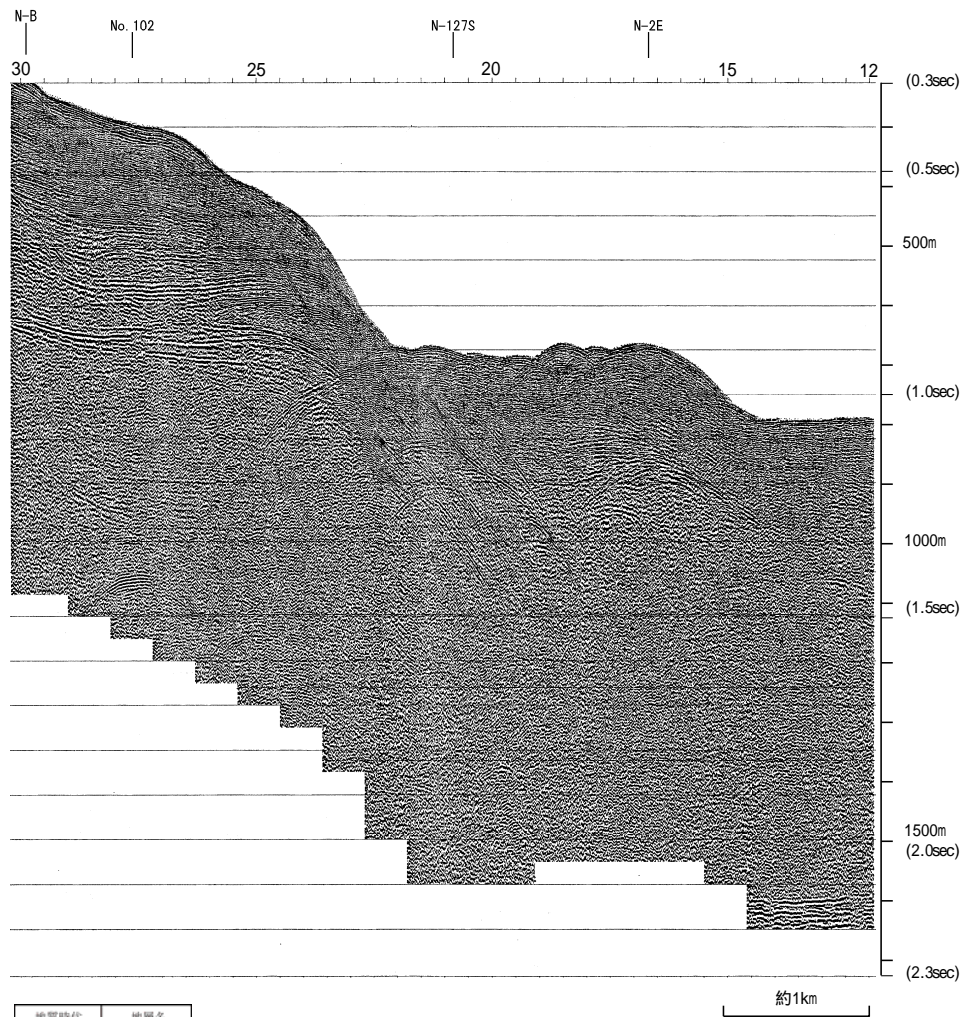
北陸電カスパーカー No.8

←NW

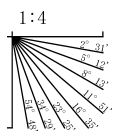
SE→

←NW

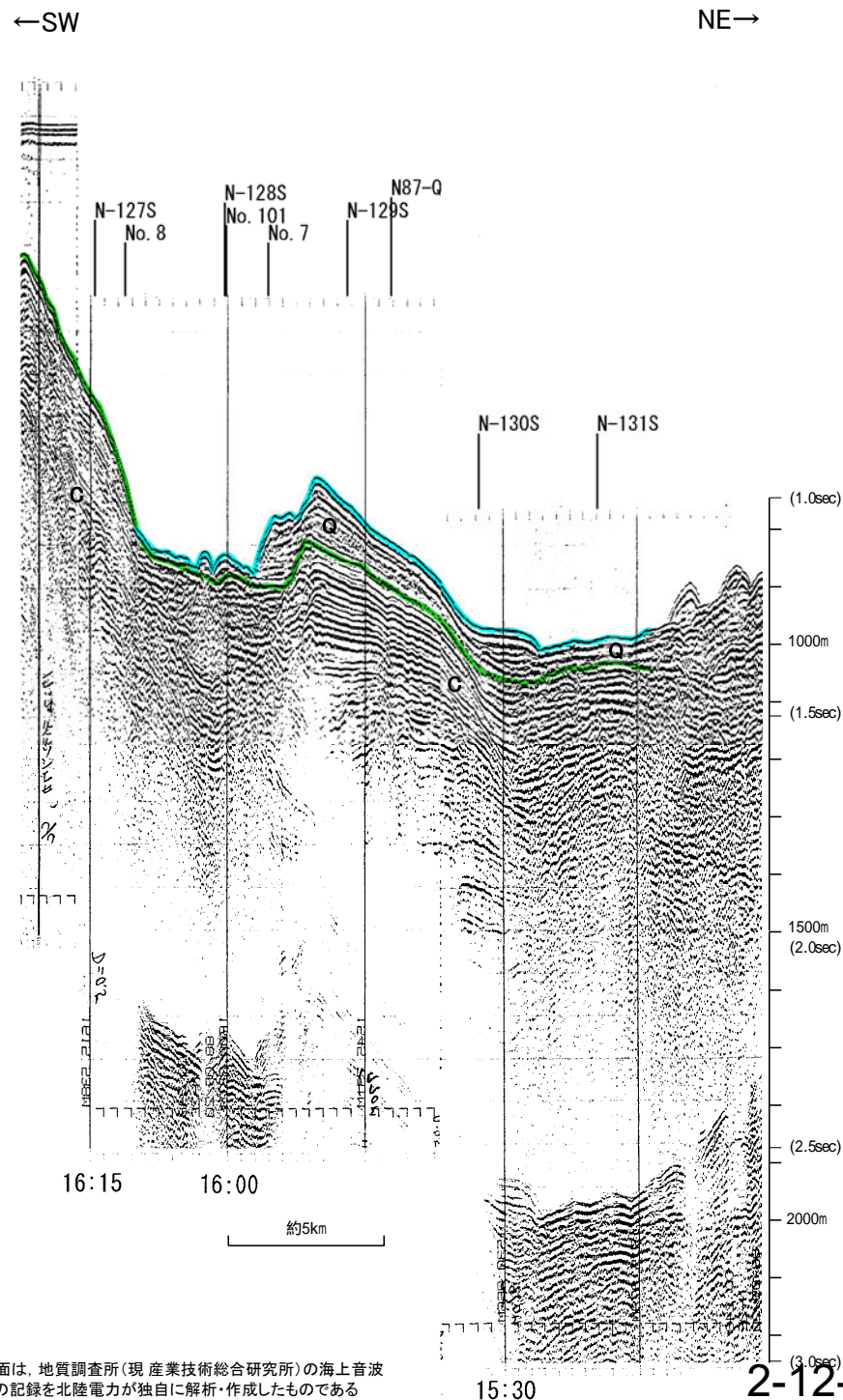
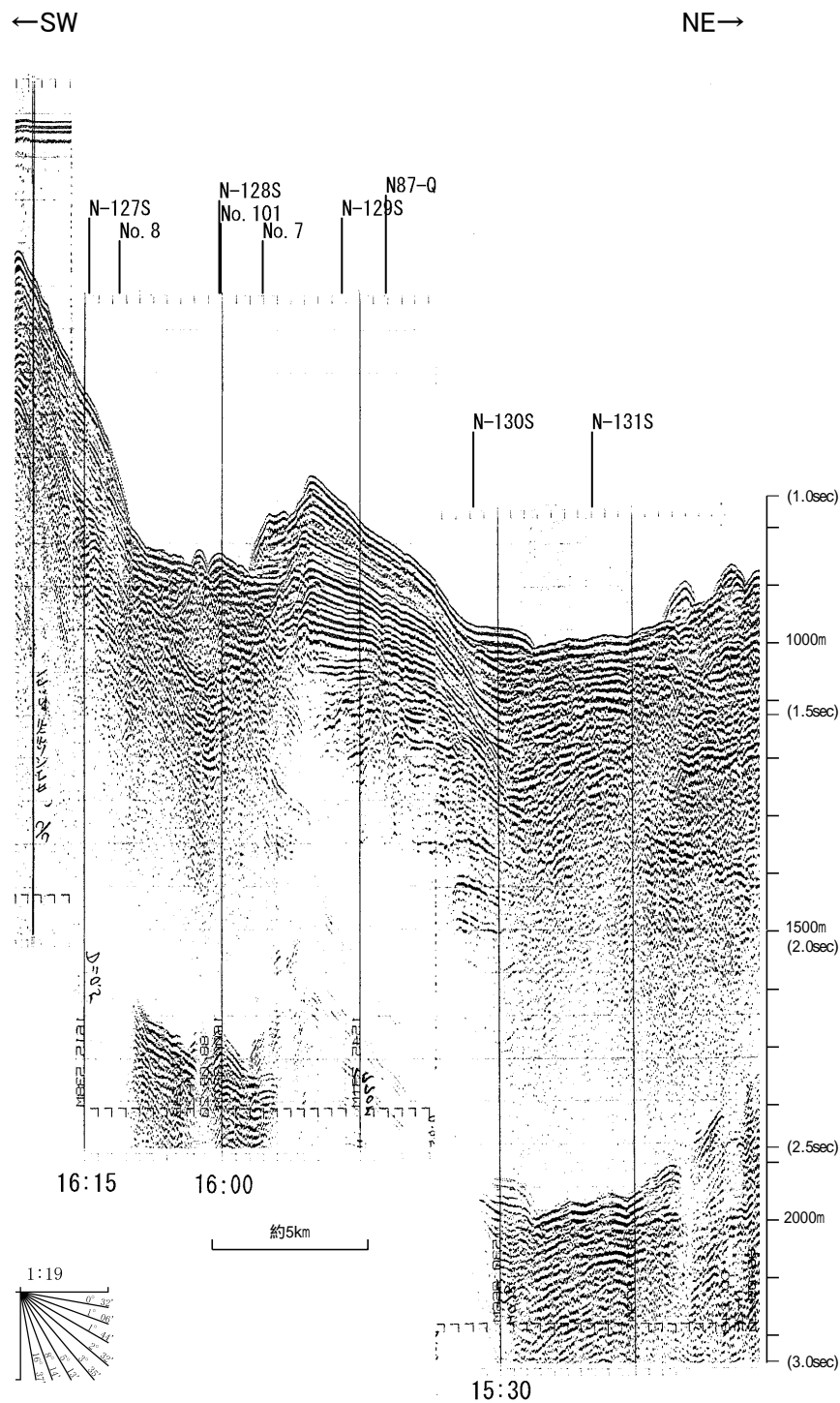
SE→



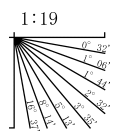
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
第三紀	前期		C層
	蘇新世		
新第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			



地質調査所エアガン N-2E

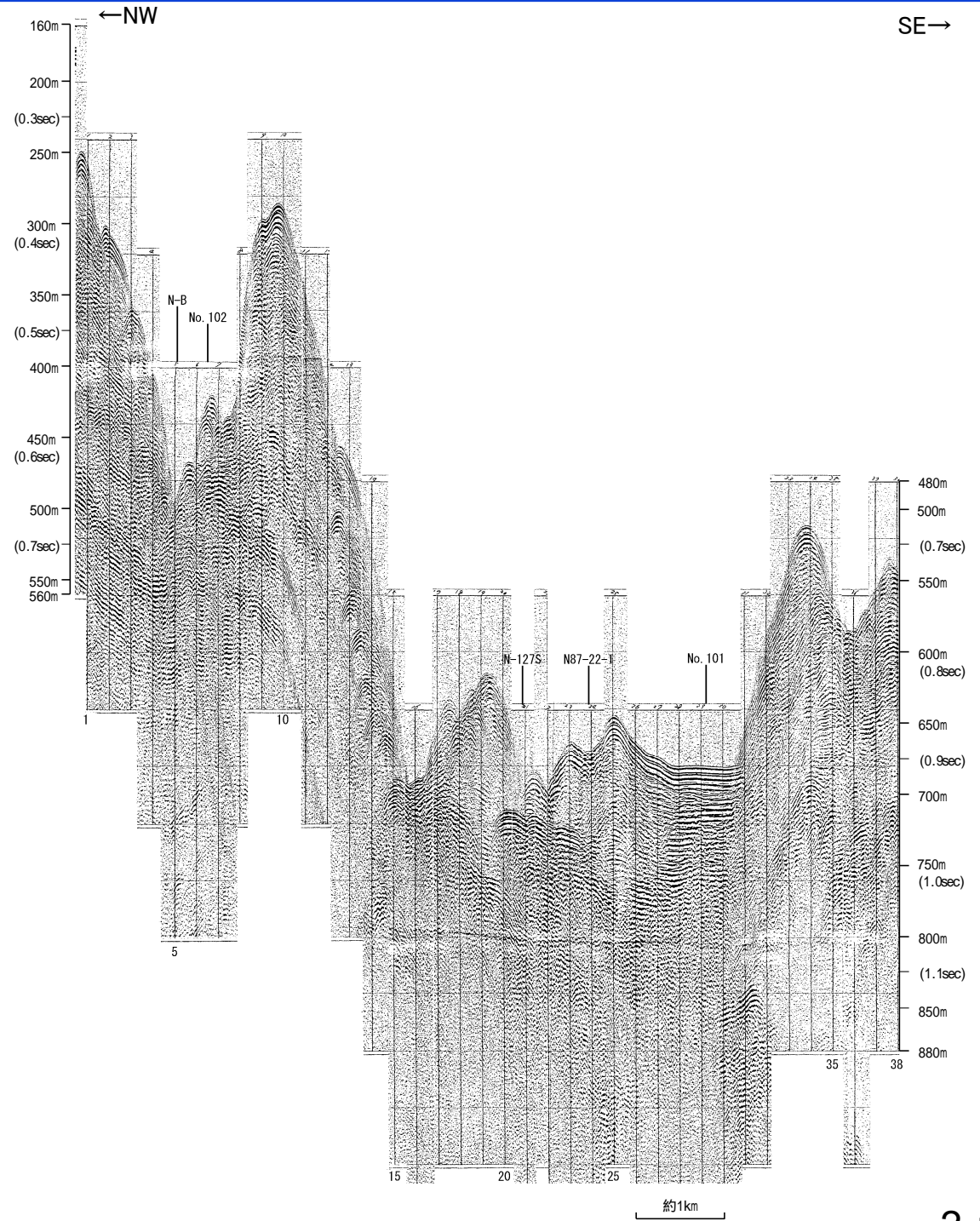


地質時代		地層名	
紀新世	後期	Q層	B層
	中期		
	前期		C層
紀山崎新	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

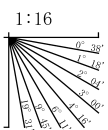


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

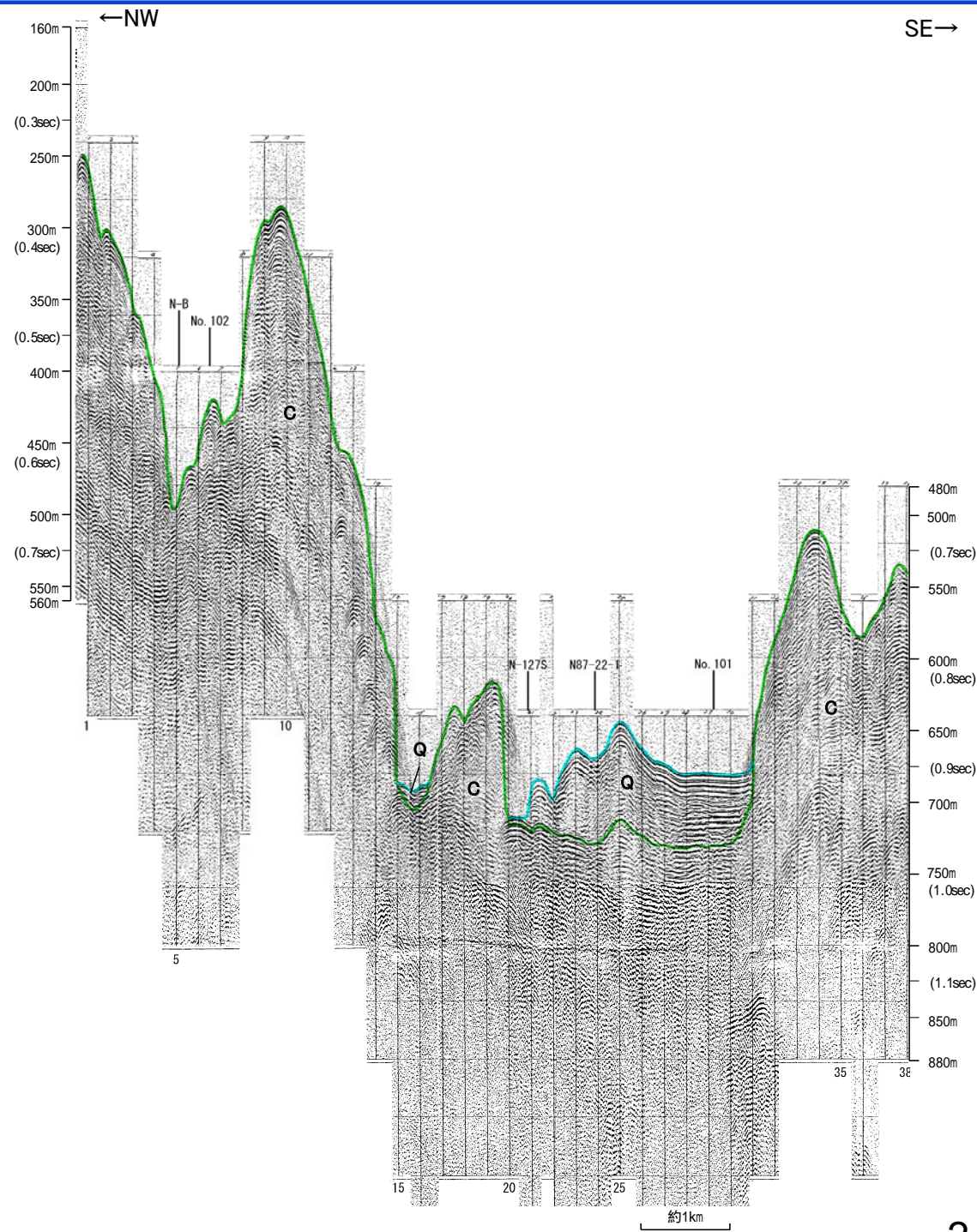
北陸電カスパーカー No.9



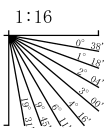
地質時代		地層名	
第三紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期	C層	
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
	古第三紀		
先第三紀			



北陸電カスパーカー No.9



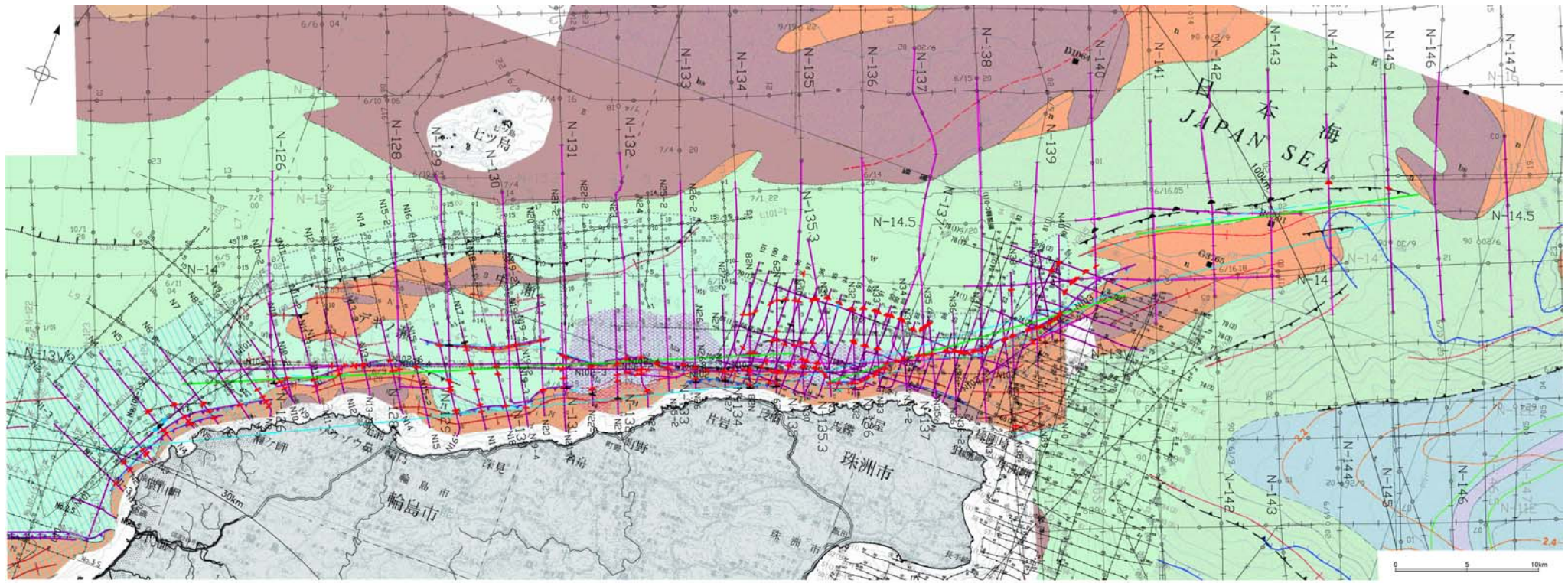
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	B層
	更新世	中期	Q層
		前期	C層
第三紀	新第三紀		D層
	中新世		
	古第三紀		
先第三紀			



余白

能登半島北部沿岸域断層帯

音波探査記録 添付測線①(能登半島北部沿岸域断層帯)



- 凡 例
- 上(D) 連続性のない断層(換曲)
 - ▲— B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められる
 - ▲— B₁層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない
 - ▲— B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められない
 - ▲— 添付した音波探査記録
- | | | |
|---------|----------|-------------------------------------|
| No. 3 | 55 | 調査測線(北陸電力:スーパー・シングルチャンネル・約2450ジュール) |
| No. 3-S | 10 | 調査測線(北陸電力:スーパー・シングルチャンネル・約360ジュール) |
| L3 | 10 | 調査測線(三澤(1997):ウォーターガン・シングルチャンネル) |
| N-130 | 10/14 04 | 調査測線(地質調査所:エアガン・シングルチャンネル) |
| N8 | 5 | 調査測線(産業技術総合研究所:ブーマー・マルチチャンネル) |
| 90 | 45 | 調査測線(海上保安庁水路部:スーパー・シングルチャンネル) |
- ▲— 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置(破線は断層トレース)
- ▲— 文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置

海域地質図凡例 Legend of offshore geological map

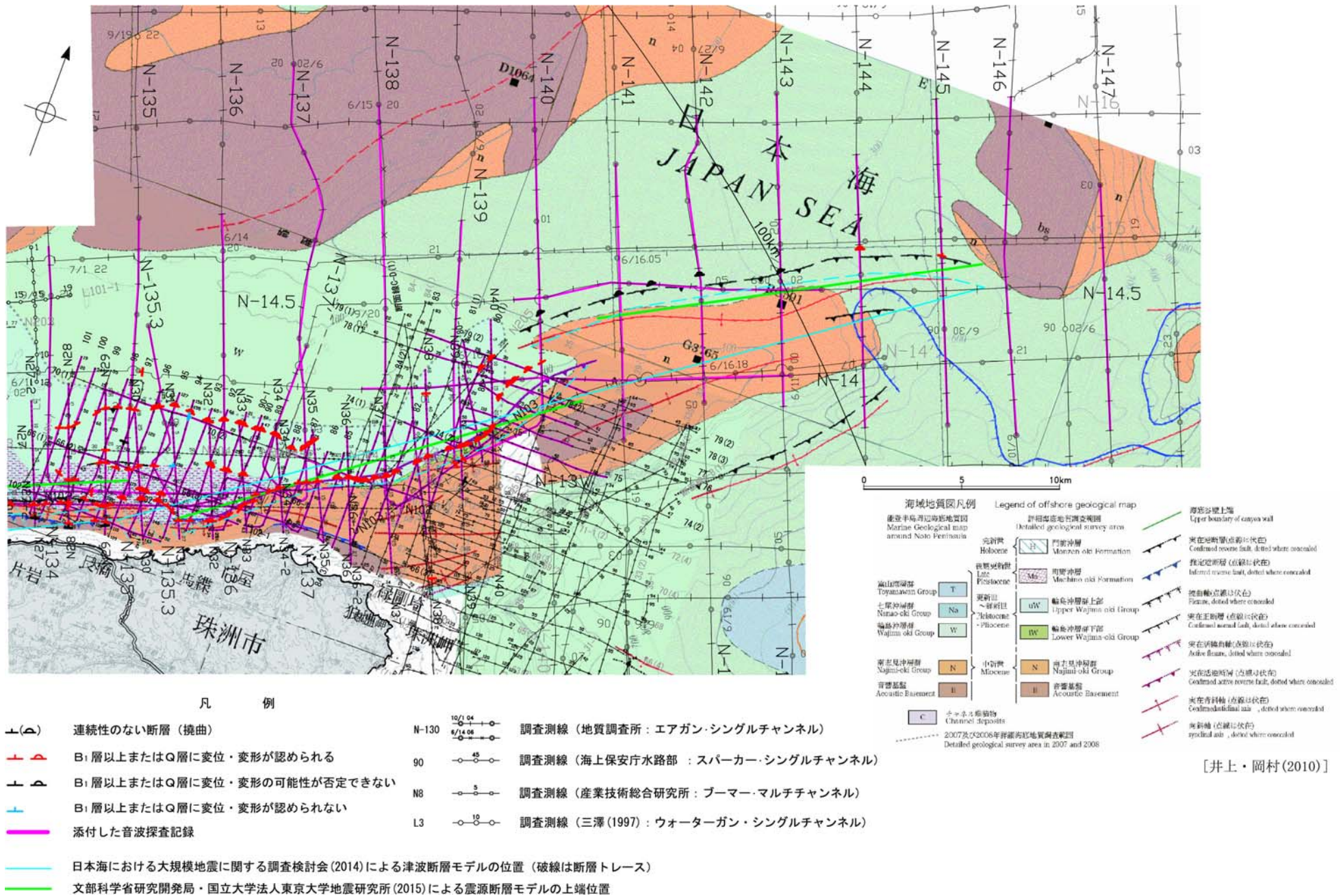
能登半島周辺海域地質図
Muroran Geographical map
around Noto Peninsula

詳細海域地質調査範囲
Detailed geological survey area

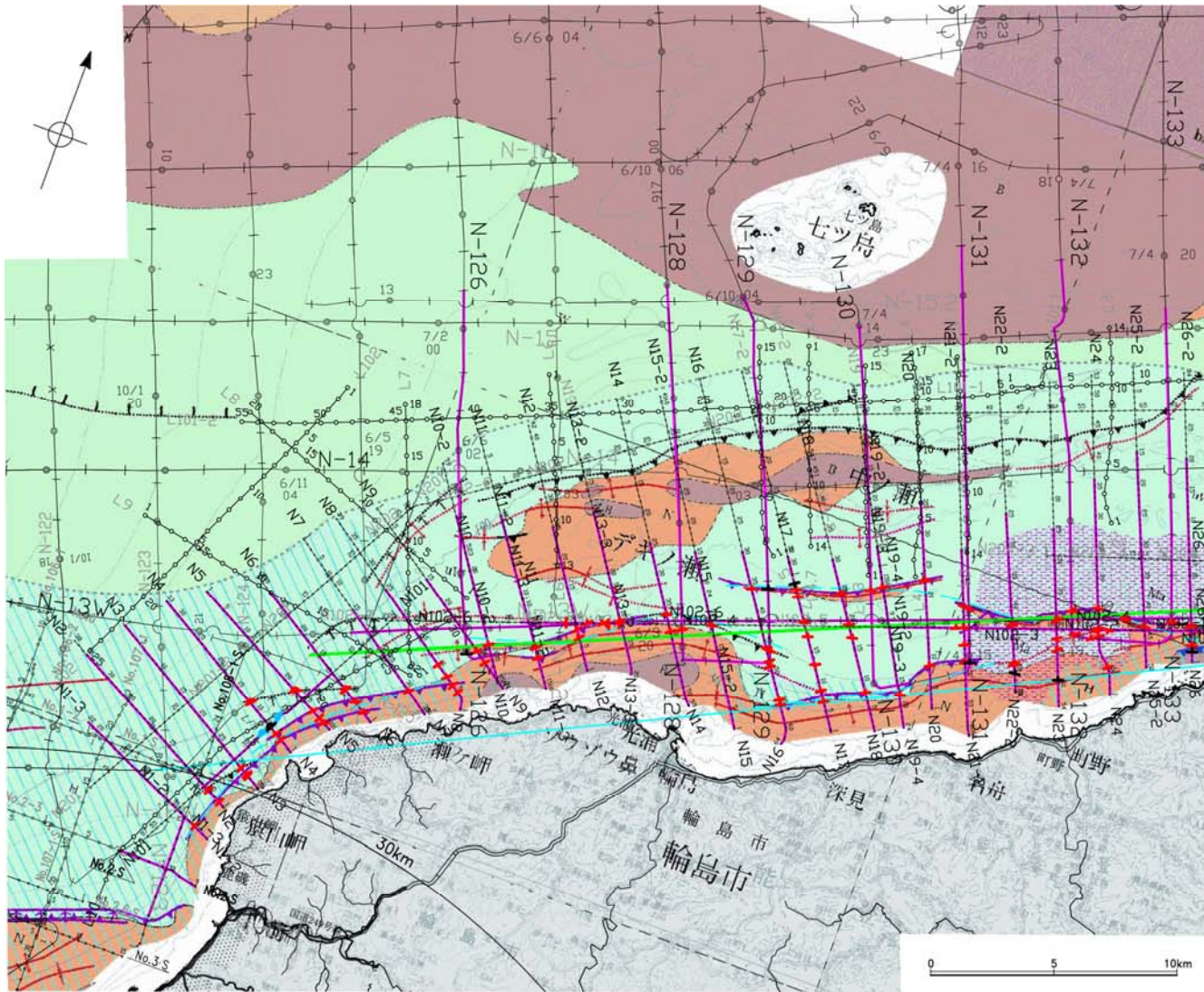
完新世 Holocene	門前沖層 Mitsunoki Formation	海成冲積土層 Upper boundary of canyon wall
第四紀 Quaternary	若狭沖層 Machino-oki Formation	東在逆断層(点線は伏在) Contracted reverse fault, dotted where concealed
中新世 Miocene	輪島沖層上部 Upper Wajima-oki Group	伏在逆断層(点線は伏在) Inferred reverse fault, dotted where concealed
中新世 Miocene	輪島沖層下部 Lower Wajima-oki Group	断層軸点線は伏在 Fault axis, dotted where concealed
中新世 Miocene	南志見沖層 Najimi-oki Group	東在正断層(点線は伏在) Contracted normal fault, dotted where concealed
中新世 Miocene	音波基盤 Acoustic Basement	断層軸点線は伏在 Fault axis, dotted where concealed
中新世 Miocene	チャネル堆積物 Channel deposits	東在活断層(点線は伏在) Contracted active reverse fault, dotted where concealed
2007及2008年詳細海域地質調査範囲 Detailed geological survey area in 2007 and 2008		東在活断層(点線は伏在) Contracted active fault, dotted where concealed
		東在活断層(点線は伏在) Contracted active fault, dotted where concealed
		東在活断層(点線は伏在) Contracted active fault, dotted where concealed
		東在活断層(点線は伏在) Contracted active fault, dotted where concealed
		東在活断層(点線は伏在) Contracted active fault, dotted where concealed
		東在活断層(点線は伏在) Contracted active fault, dotted where concealed
		東在活断層(点線は伏在) Contracted active fault, dotted where concealed
		東在活断層(点線は伏在) Contracted active fault, dotted where concealed

[井上・岡村(2010)]

音波探査記録 添付測線②(能登半島北部沿岸域断層帯 北東部)



音波探査記録 添付測線③(能登半島北部沿岸域断層帯 南西部)



- 凡例
- 連続性のない断層 (拗曲)
 - B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められる
 - B₁層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない
 - B₁層以上またはQ層に変位・変形が認められない
 - No. 3 調査測線 (北陸電力: スーパー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
 - No. 3-S 調査測線 (北陸電力: スーパー・シングルチャンネル・約360ジュール)
 - L3 調査測線 (三澤(1997): ウォーターガン・シングルチャンネル)
 - N-130 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)
 - N8 調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)
 - 添付した音波探査記録
 - 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置(破線は断層トレース)
 - 文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置

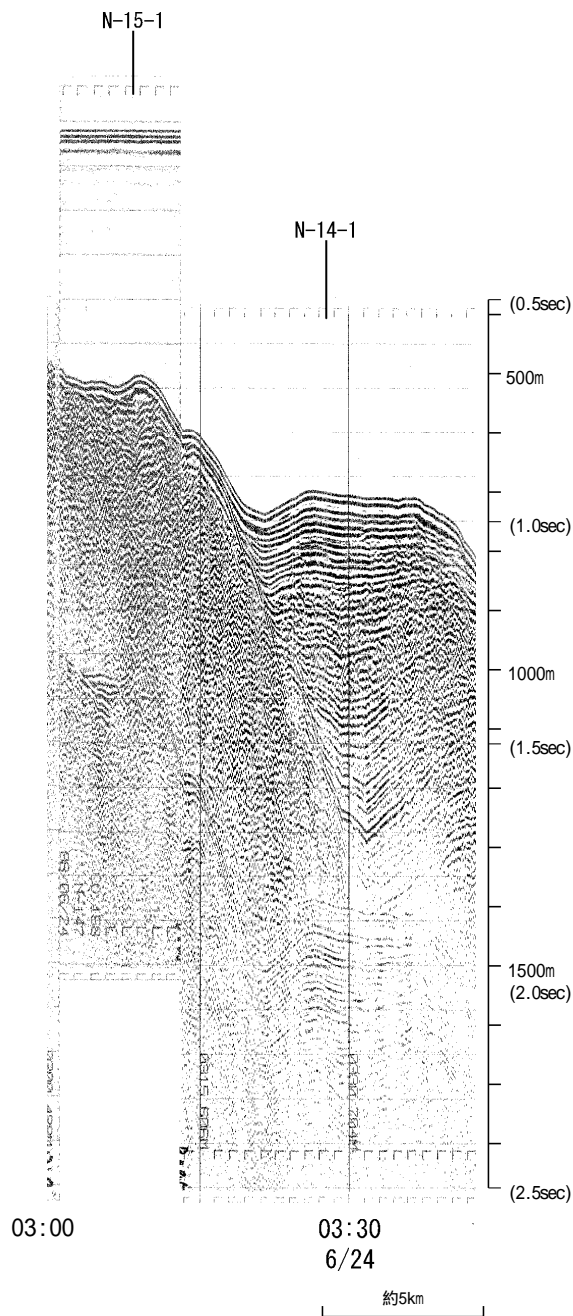
海域地質図凡例 Legend of offshore geological map

独立千島島嶼地質調査区 Marine Geological map around Noto Peninsula	詳細地質調査区 Detailed geological survey area	海成谷壁上部 Upper boundary of canyon wall
完新世 Holocene	門前地層 Monzen-oki Formation	実在逆断層(点線は伏在) Confirmed reverse fault, dotted where concealed
後新世 Late Pleistocene	町野地層 Machino-oki Formation	推定逆断層(点線は伏在) Inferred reverse fault, dotted where concealed
更新世 - 新新世 Late Pleistocene - Pliocene	輪島沖層上部 Upper Wajima-oki Group	線形断層(点線は伏在) Fluore, dotted where concealed
輪島沖層 Wajima-oki Group	輪島沖層下部 Lower Wajima-oki Group	実在正断層(点線は伏在) Confirmed normal fault, dotted where concealed
南老見沖層 Najima-oki Group	中新世 Miocene	実在活断層(点線は伏在) Active feature, dotted where concealed
音響基底 Acoustic Basement	南老見沖層群 Najima-oki Group	実在活断層(点線は伏在) Confirmed active reverse fault, dotted where concealed
C	音響基底 Acoustic Basement	実在斜断層(点線は伏在) Confirmed normal fault, dotted where concealed
チャネル堆積物 Channel deposits		実在斜断層(点線は伏在) Confirmed normal fault, dotted where concealed
2007及び2008年詳細地質調査区 Detailed geological survey area in 2007 and 2008		向斜軸(点線は伏在) Synclinal axis, dotted where concealed

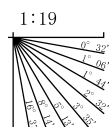
[井上・岡村(2010)]

地質調査所エアガン N-147

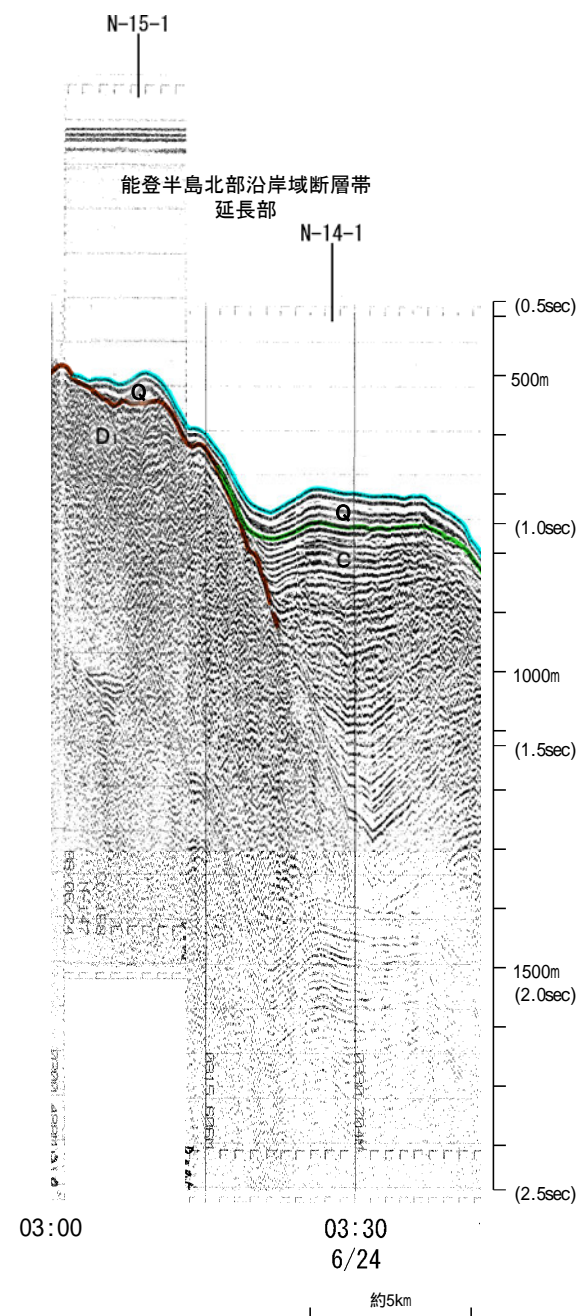
←NW SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B層	
		B層	
	中期	B層	
前期	B層		
	C層		
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
先第三紀	D層		



←NW SE→



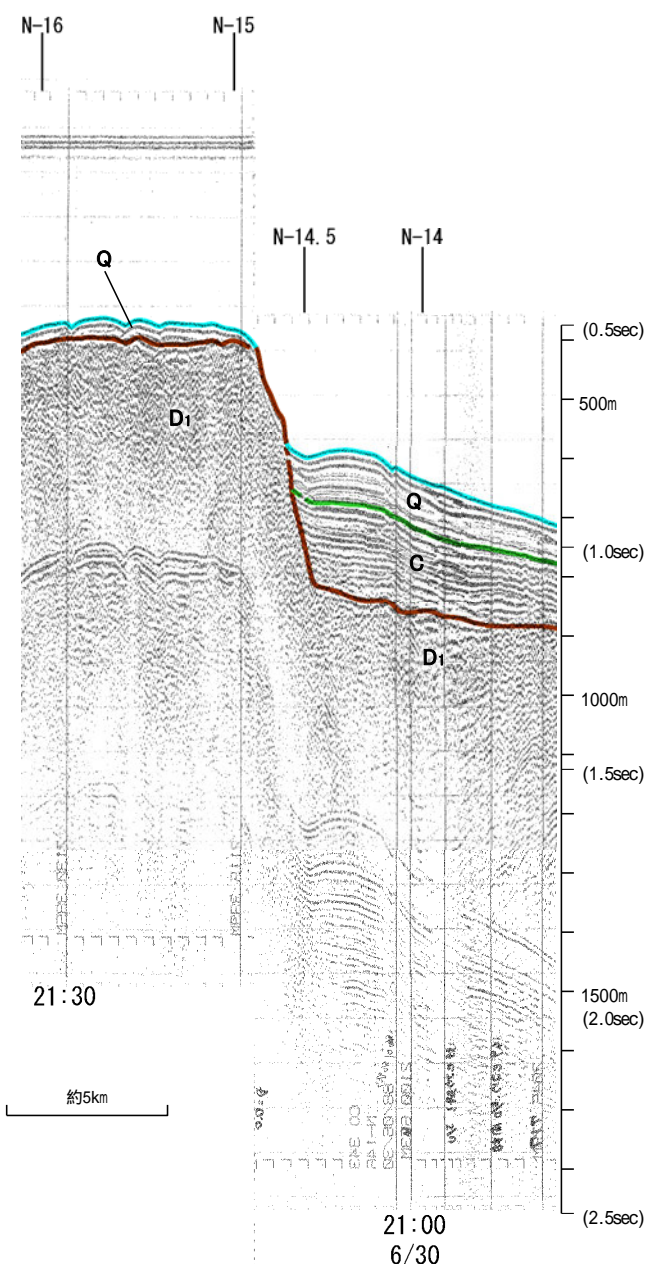
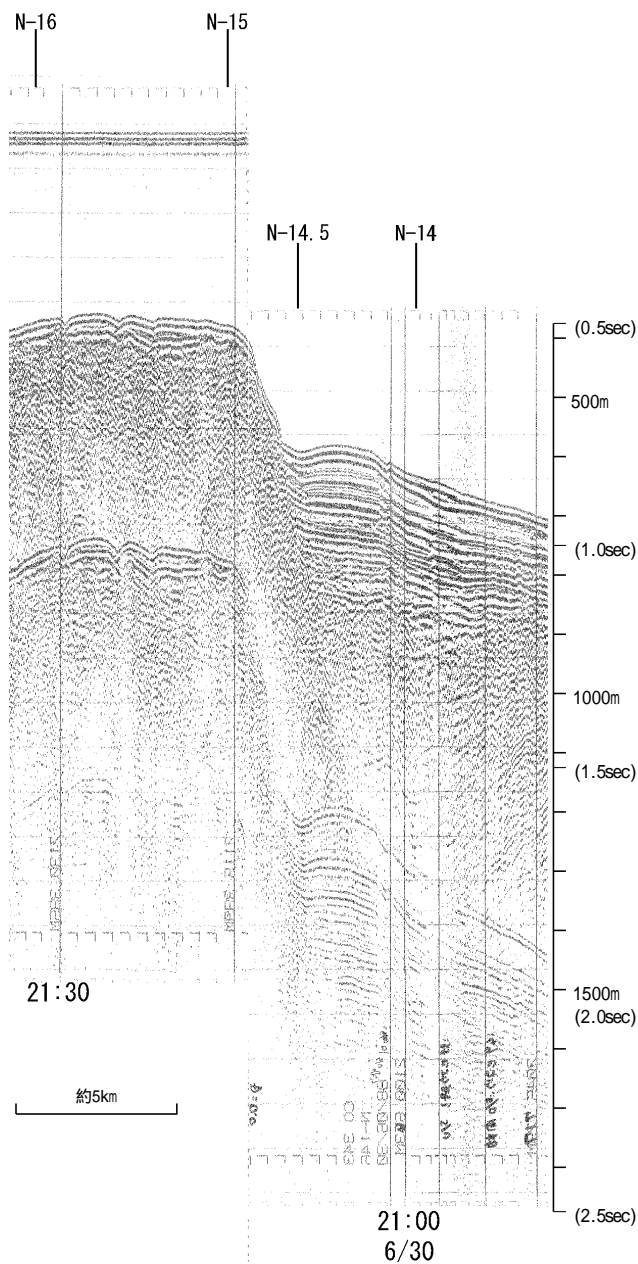
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-146

←NW SE→

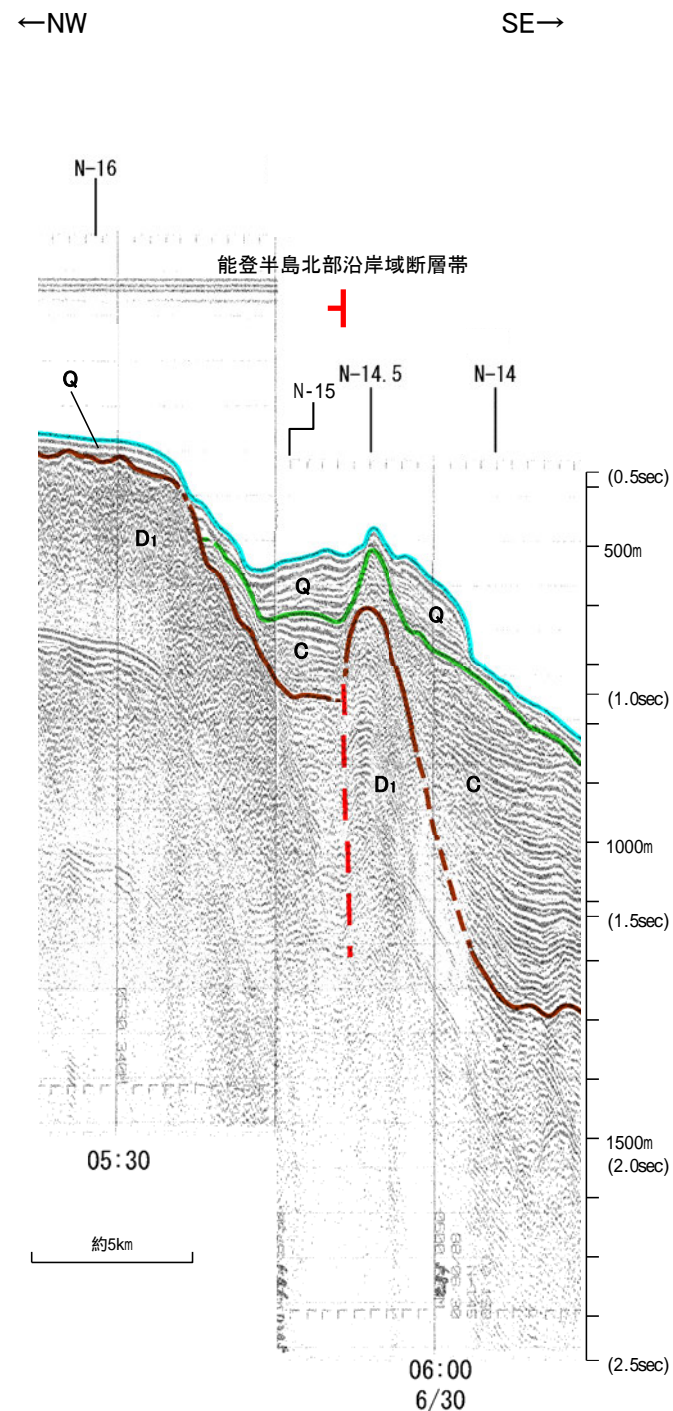
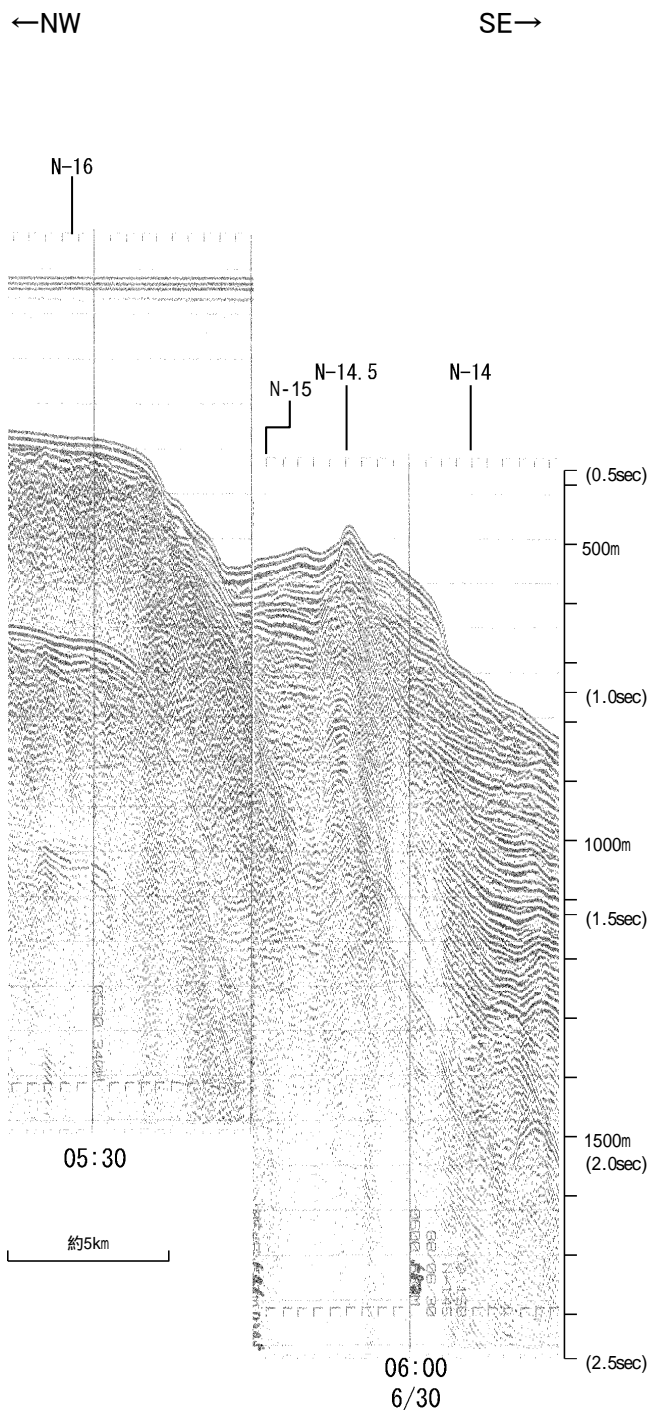
←NW SE→

能登半島北部沿岸域断層帯
延長部

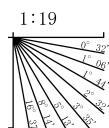


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-145



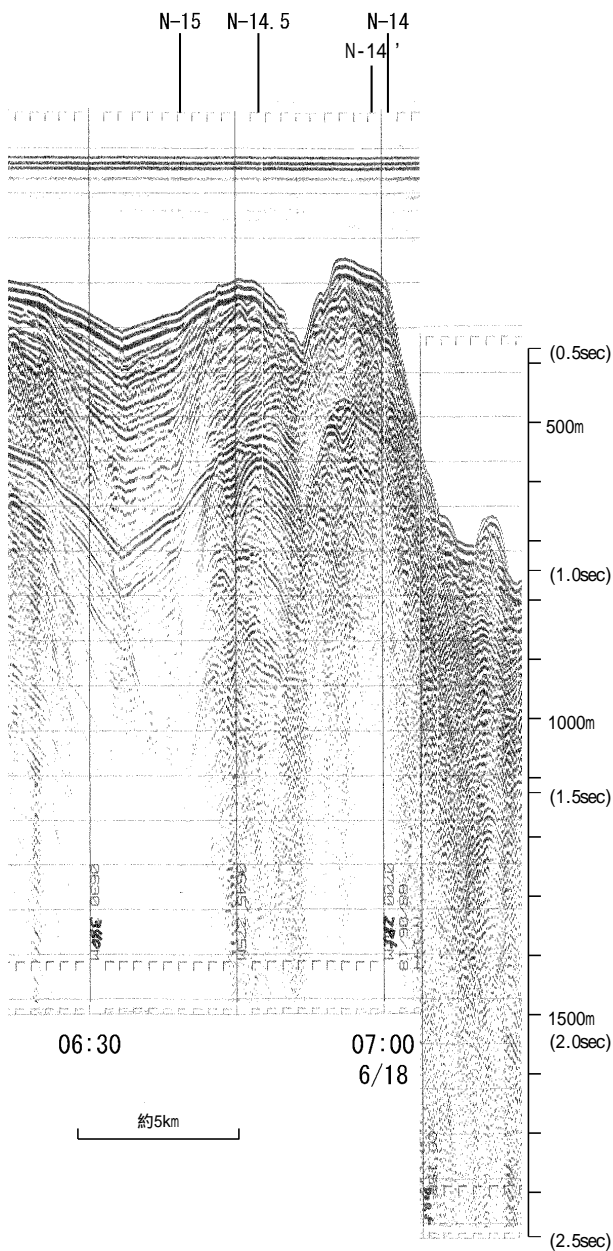
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	Q層	B ₁ 層
	中期	B層	B ₂ 層
	前期	C層	C ₁ 層
			C ₂ 層
第三紀	中新世	D ₁ 層	
古第三紀	先第三紀	D層	D ₂ 層



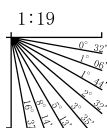
・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-144

←NW SE→

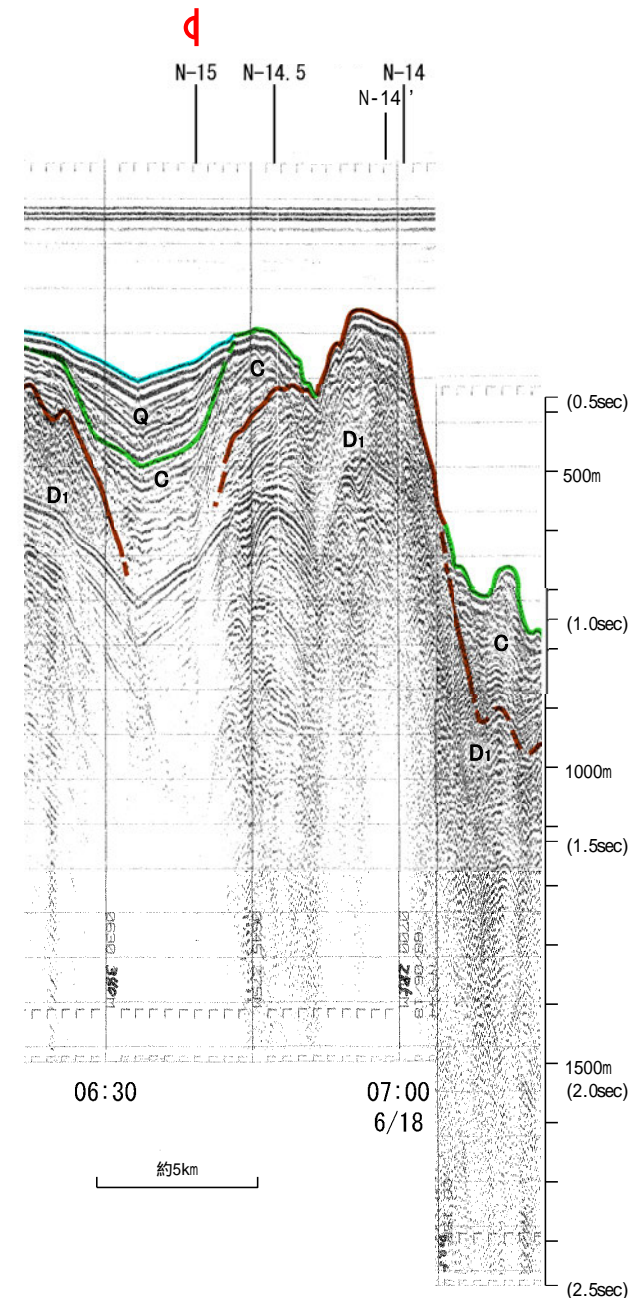


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	Q層	B ₁ 層
	後期	B ₂ 層	B ₂ 層
	中期	B ₃ 層	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層	C ₁ 層
第三紀	鮮新世	C ₂ 層	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層	D ₁ 層
古第三紀	D ₂ 層	D ₂ 層	
先第三紀	D ₃ 層	D ₃ 層	



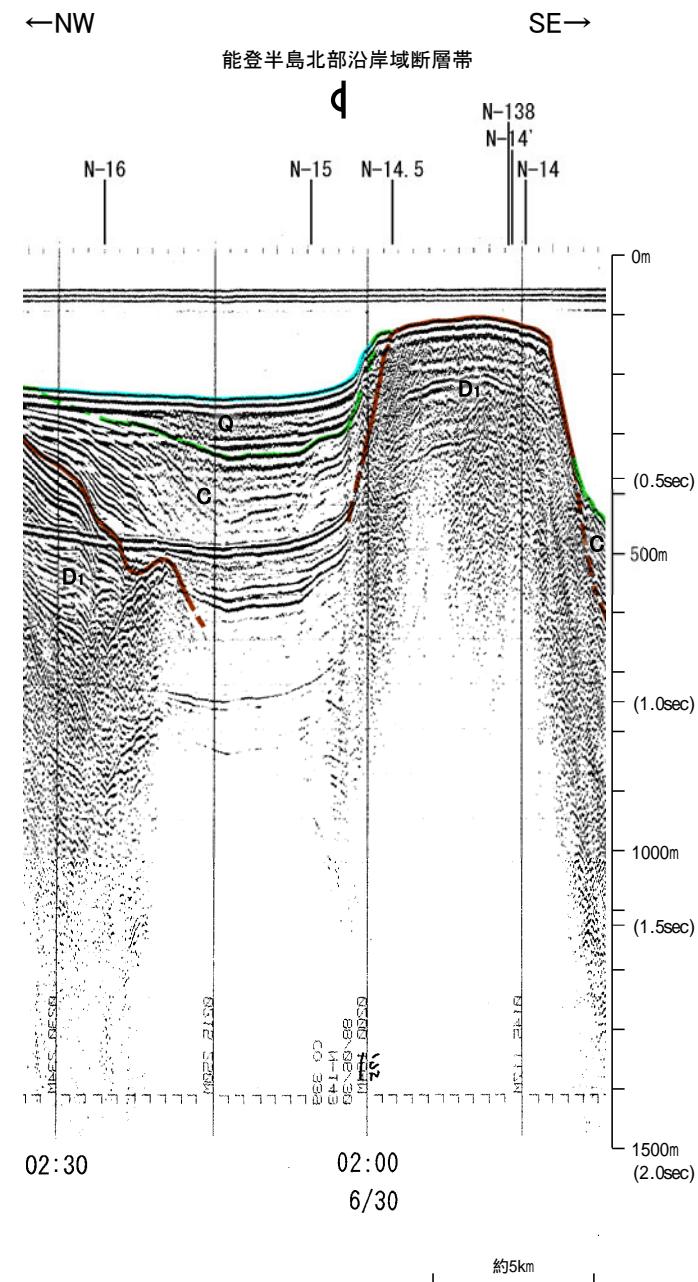
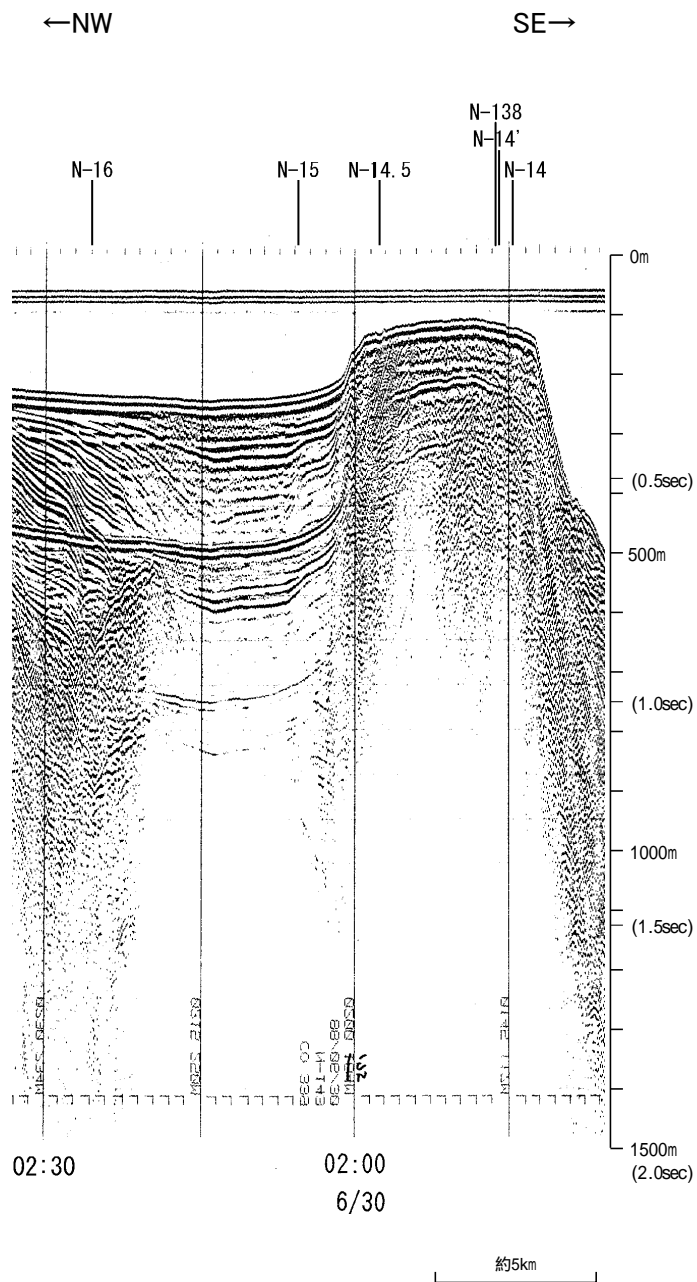
←NW SE→

能登半島北部沿岸域断層帯

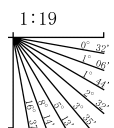


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-143



地質時代		地層名		
第四紀	完新世	A層		
	後期	B ₁ 層		
	中期	Q層	B ₂ 層	
			B ₃ 層	
前期	C層			
第三紀	鮮新世	C ₁ 層		
	中新世	D ₁ 層		
	古第三紀	D ₂ 層		
先第三紀				

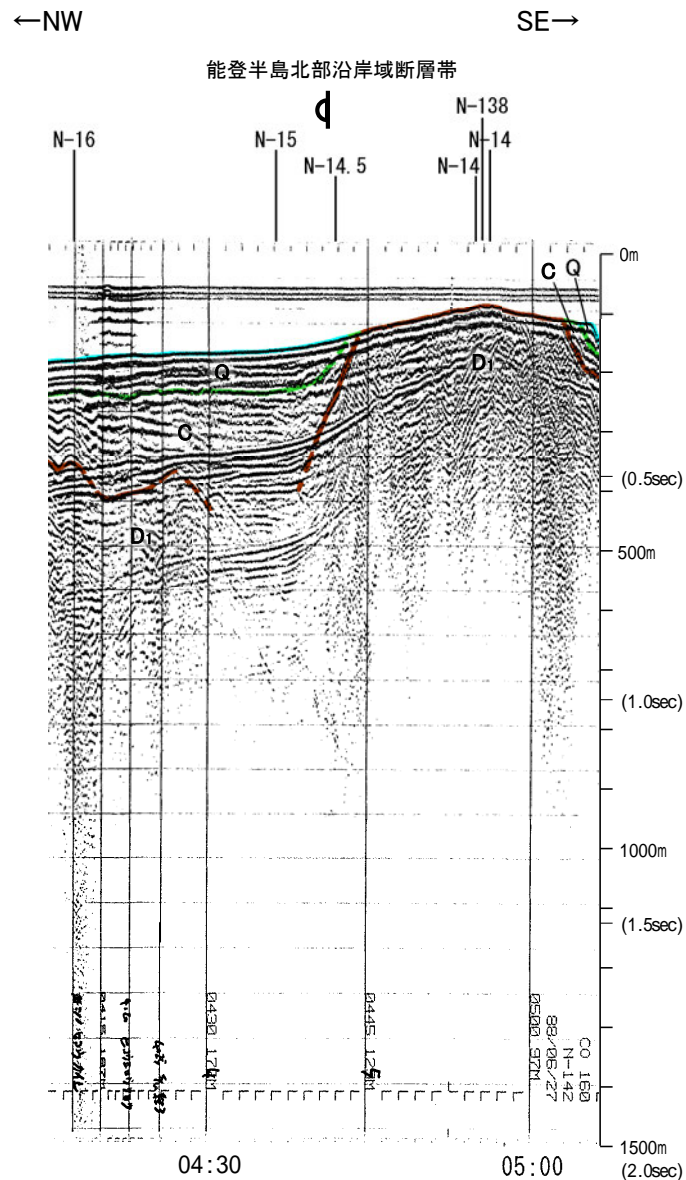
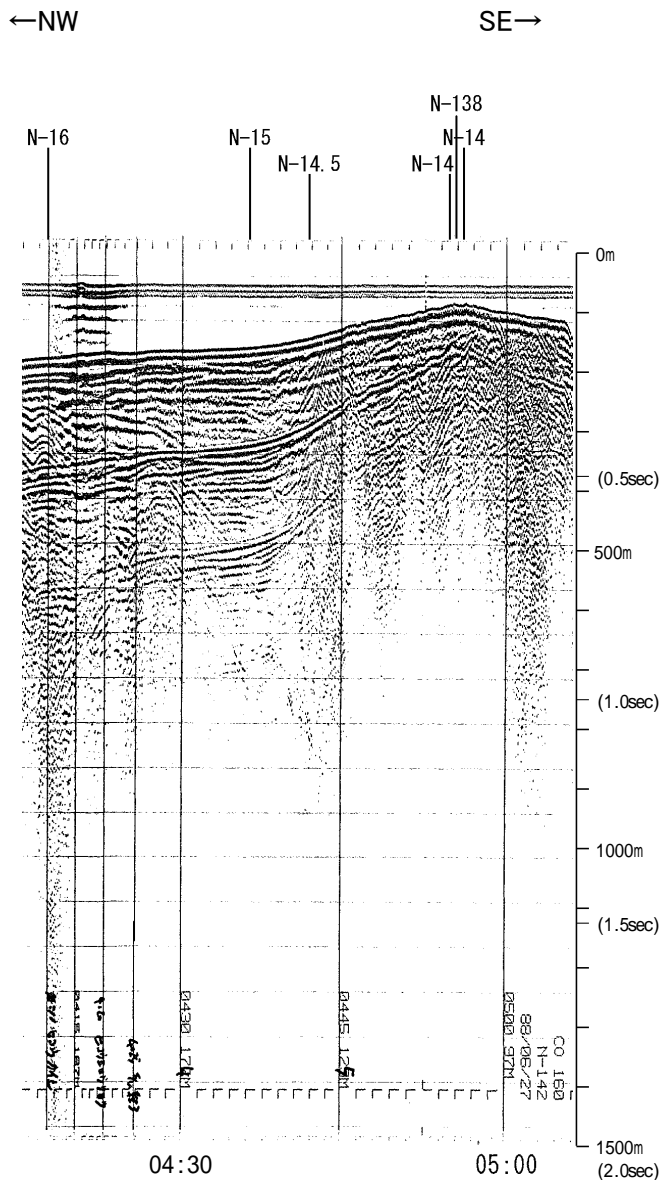


能登半島北部沿岸域断層帯

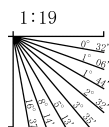
d

・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-142

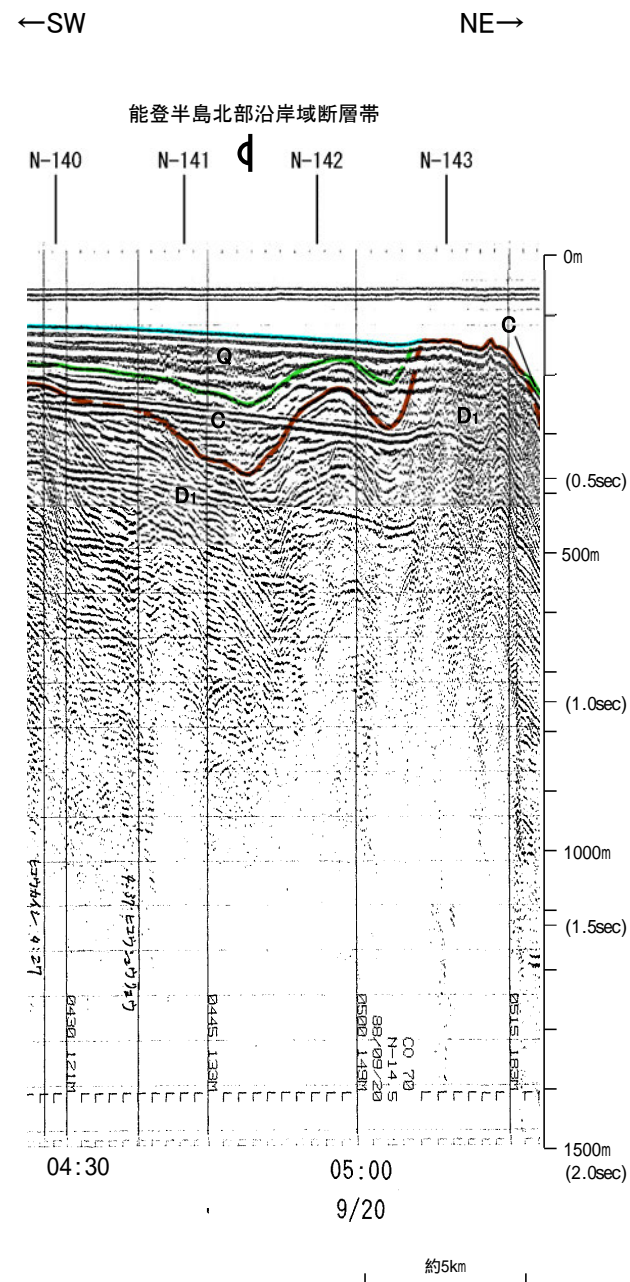
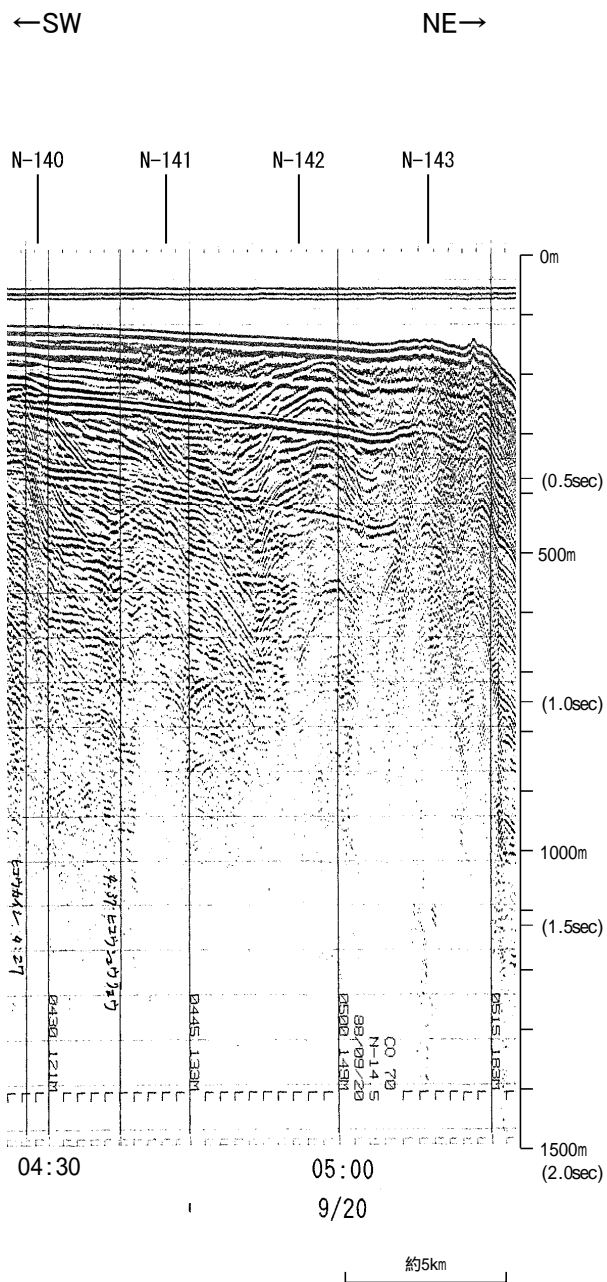


地質時代	地層名
第四紀 更新世	A層
	B層
	Q層
	B層
	B層
第三紀 新第三紀	C層
	C層
	D層
古第三紀	D層
	D層
先第三紀	D層

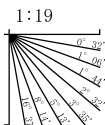


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-14.5



地質時代		地層名
第四紀	全新世	A層
	後期	B層
		B ₁ 層
	中期	B層
	前期	B層
C層		
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
	先第三紀	D層

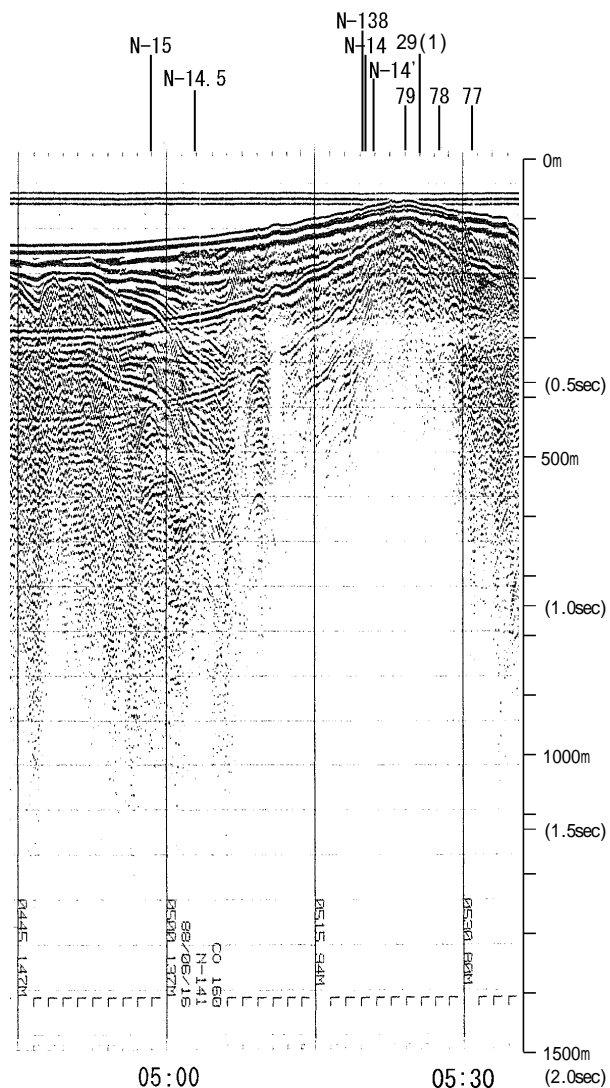


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

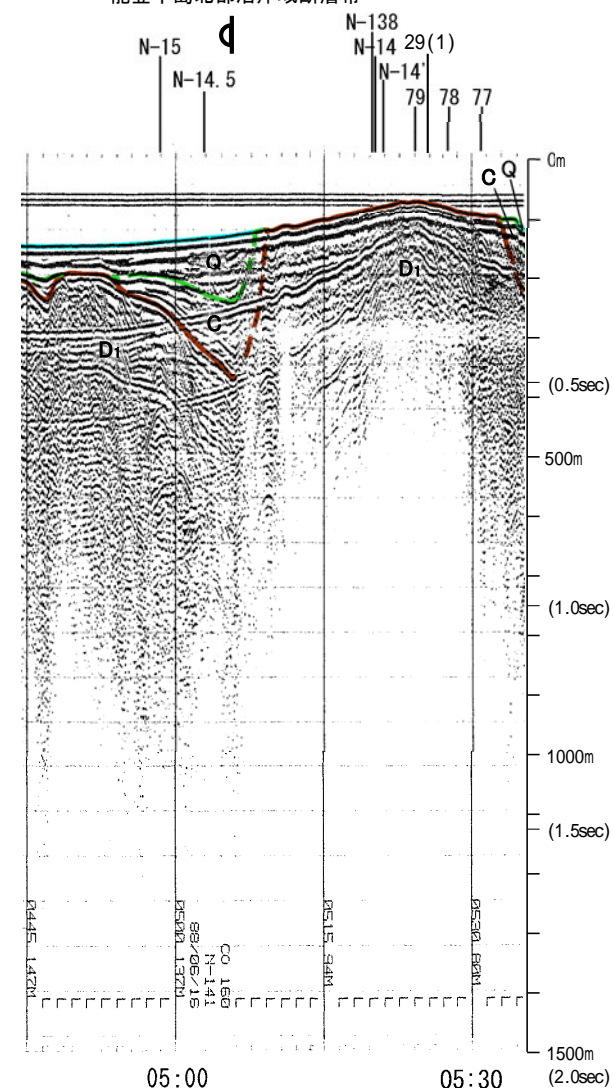
地質調査所エアガン N-141

←NW SE→

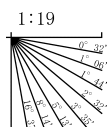
←NW SE→



能登半島北部沿岸域断層帯

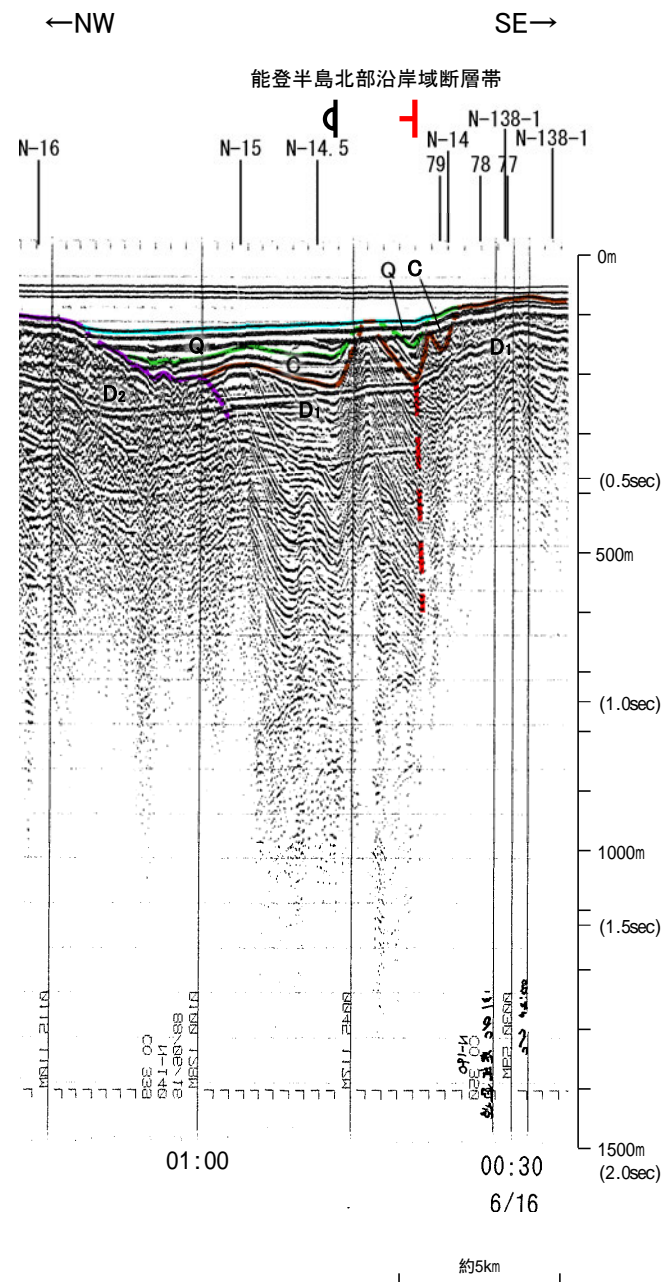
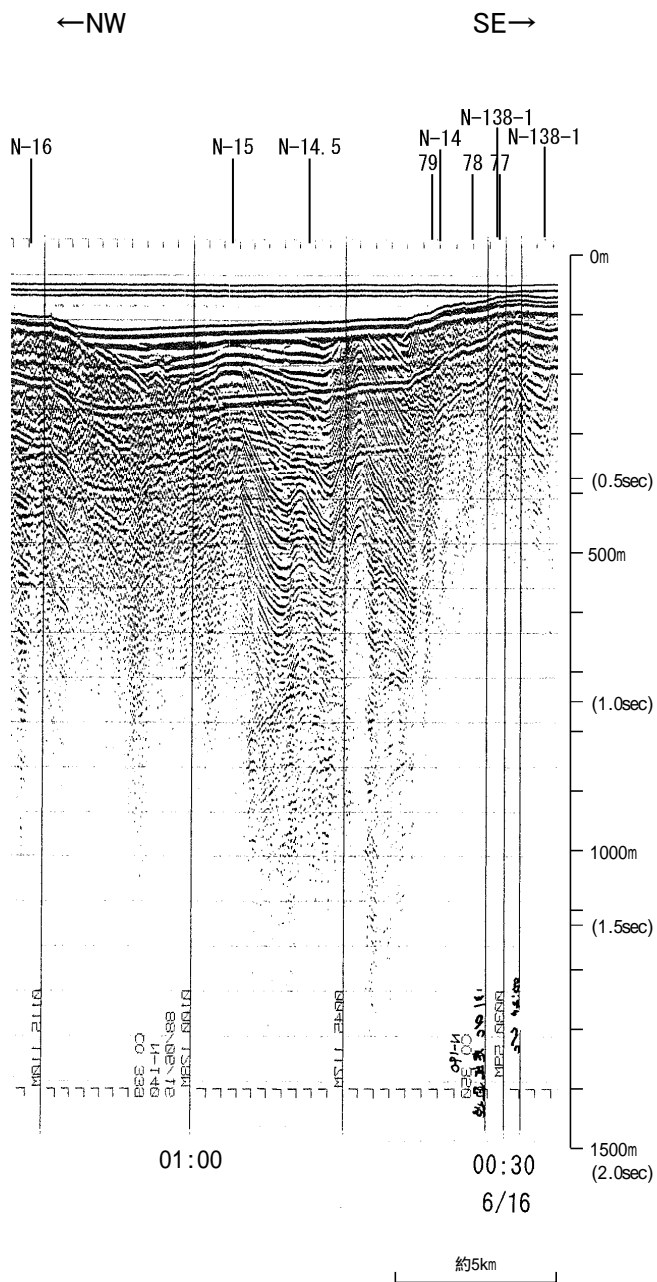


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
前期	B ₄ 層	
	C層	
第三紀	鮮新世	C ₁ 層
	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀	D ₃ 層	

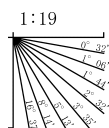


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-140

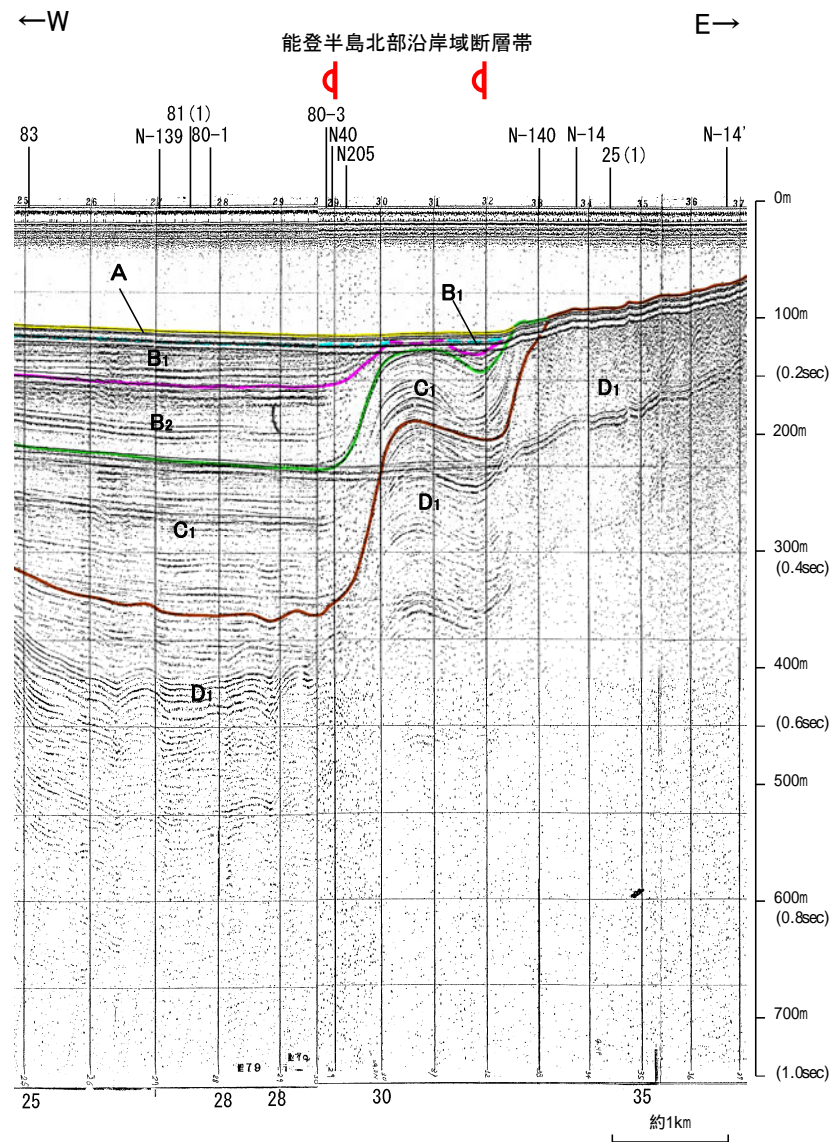
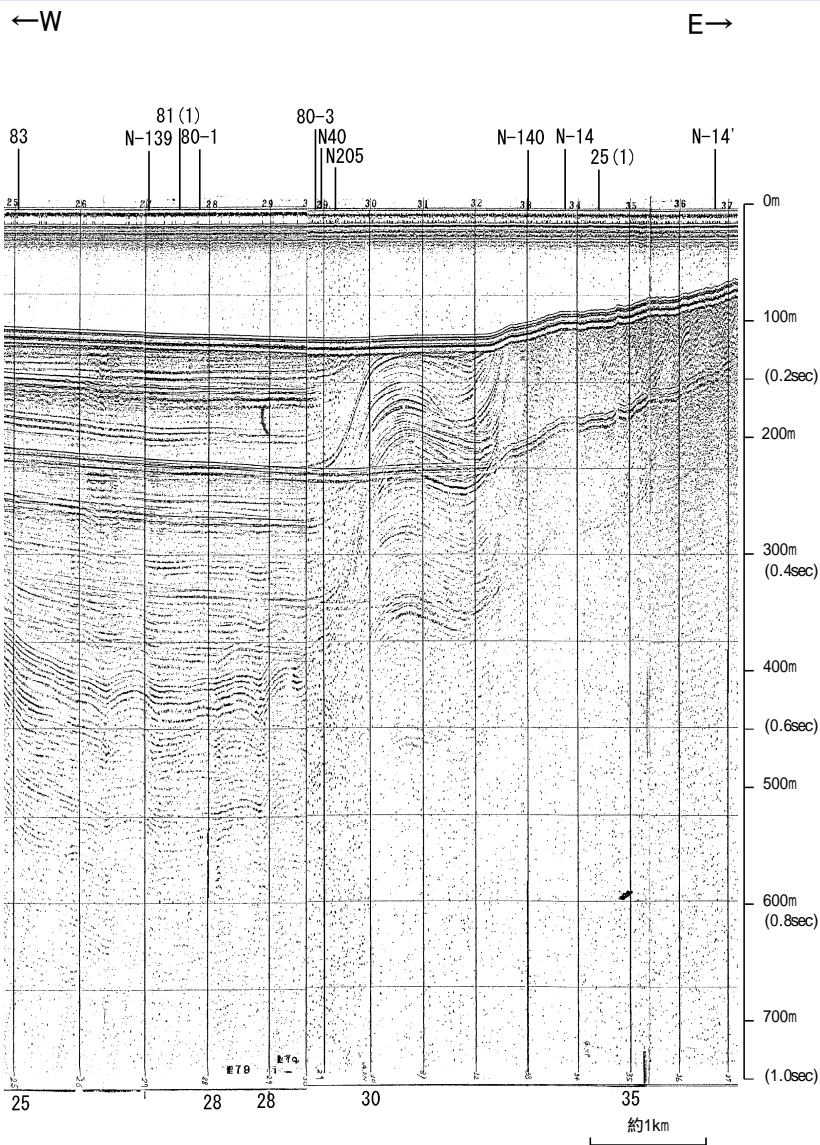


地質時代		地層名	
第四紀 更新世	完新世	A層	
	後期	B層	
	中期	Q層	B層
	前期	B層	B層
第三紀 新第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

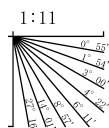


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー 79(1),79(2)

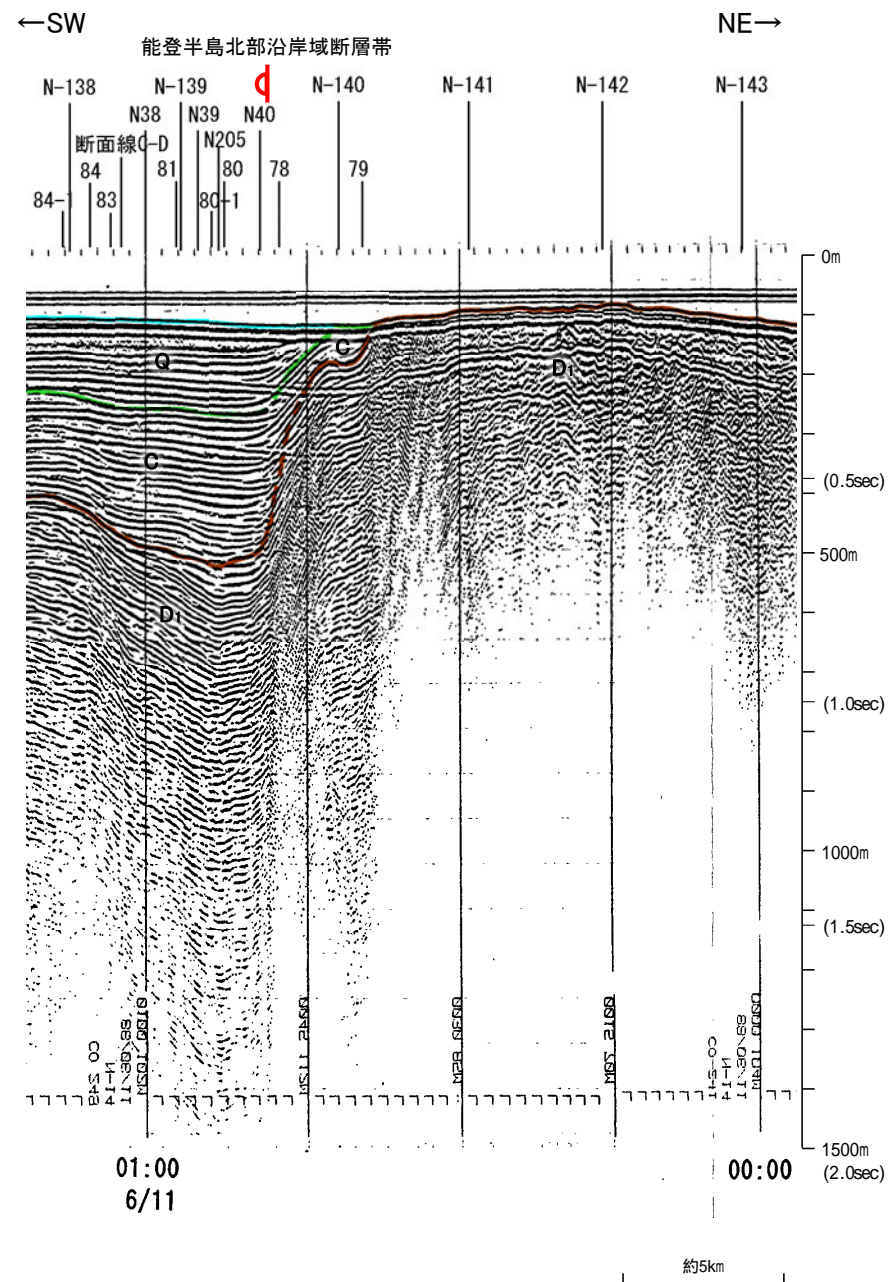
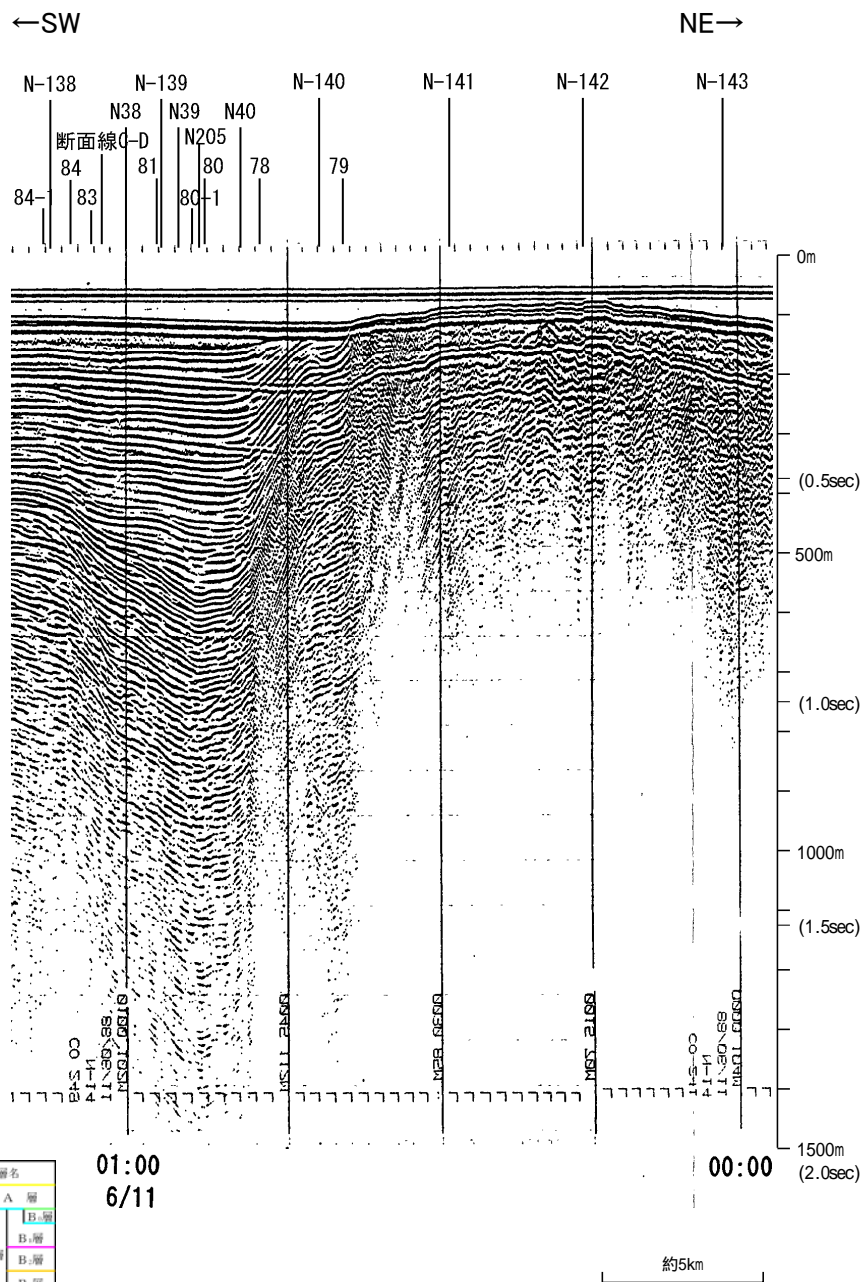


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
		B ₁ 層
	前期	B ₂ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層
	中新世	C ₁ 層
		D ₁ 層
	古第三紀	D ₁ 層
先第三紀	D ₁ 層	

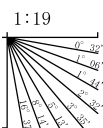


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-14



地質時代	地層名	
第四紀	全新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	C層	C層
	D層	D層
中新世	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

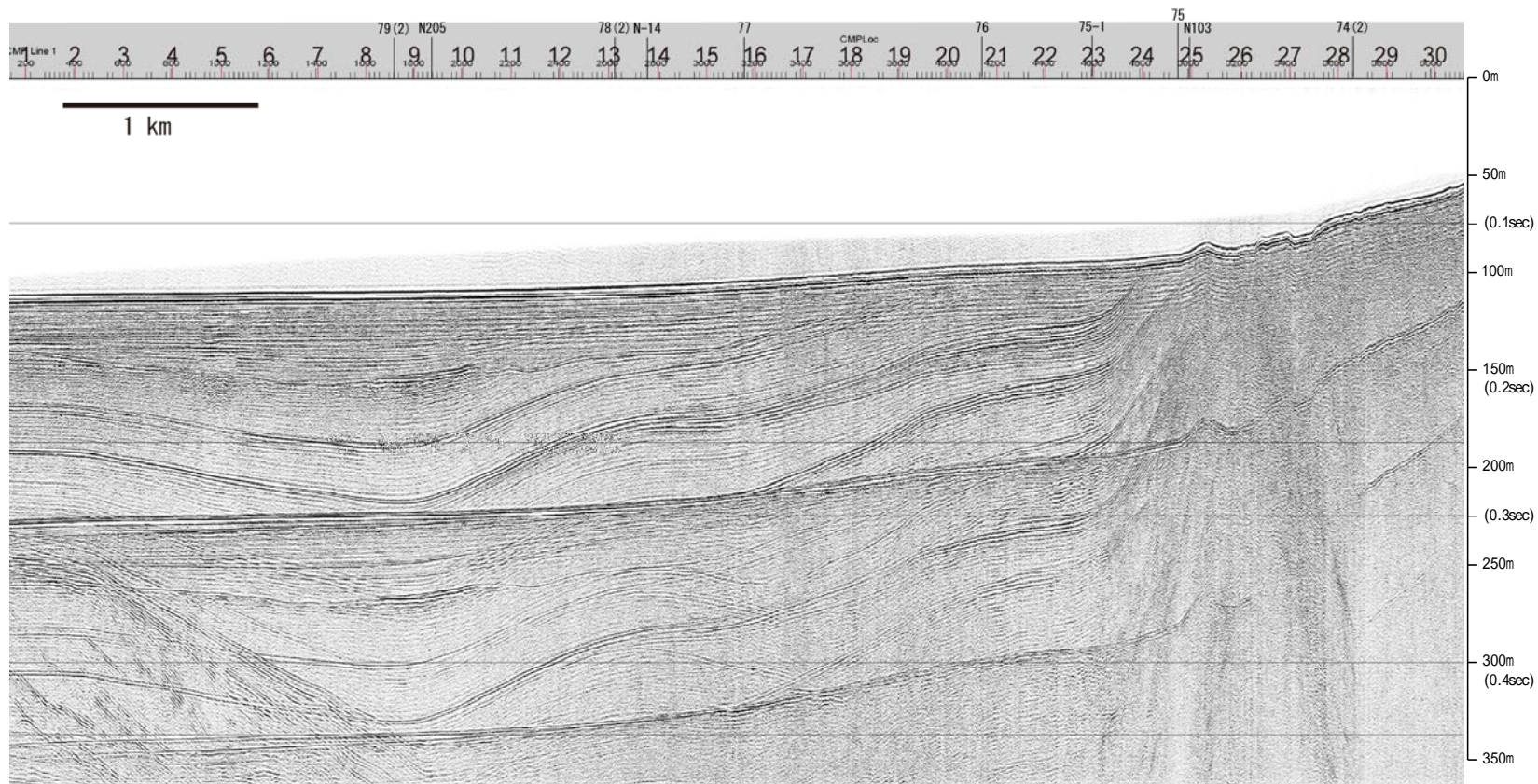


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

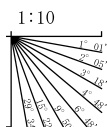
産総研ブーマー N40

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
	先第三紀	D層

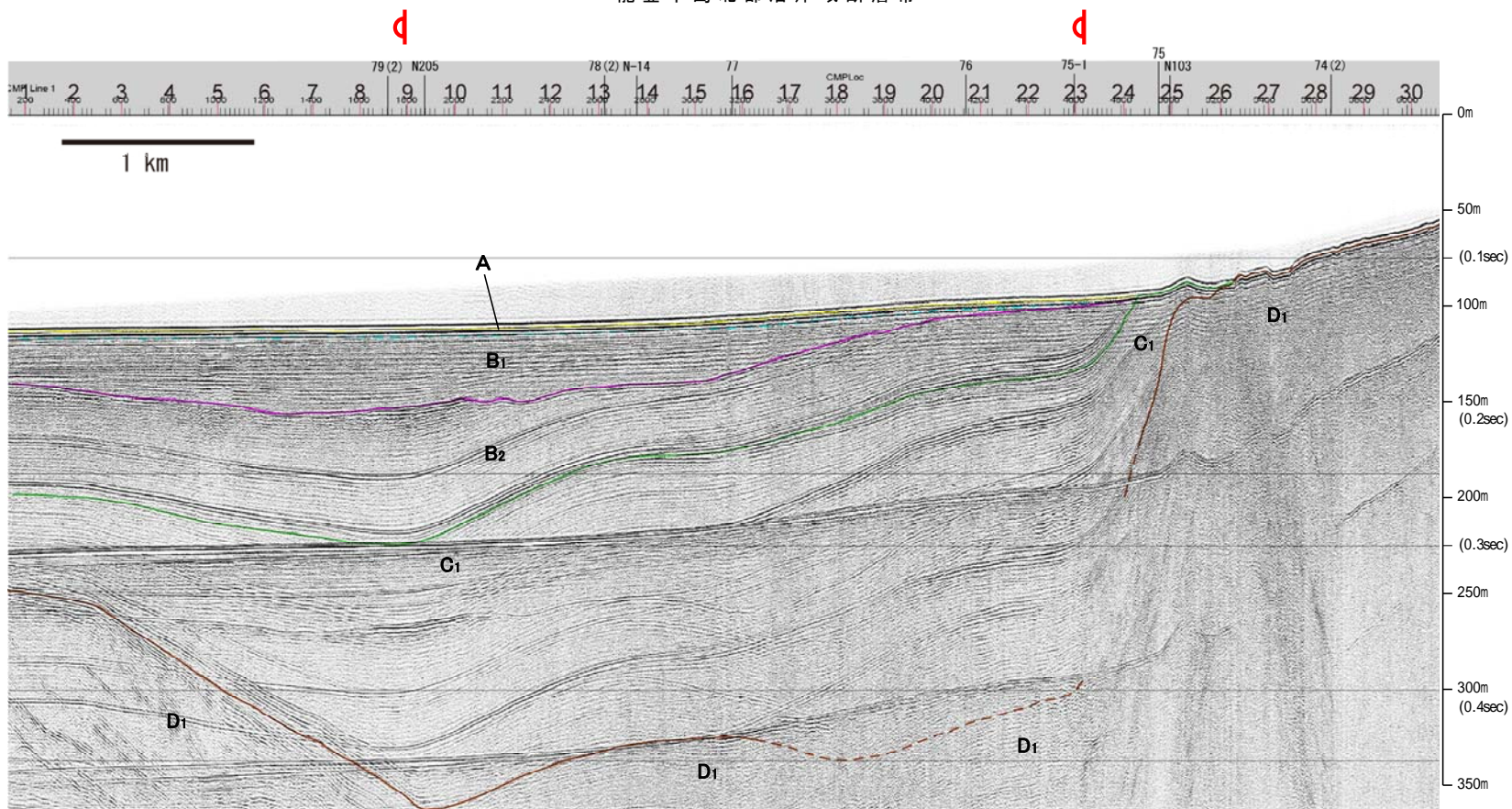


産総研ブーマー N40

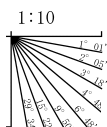
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯



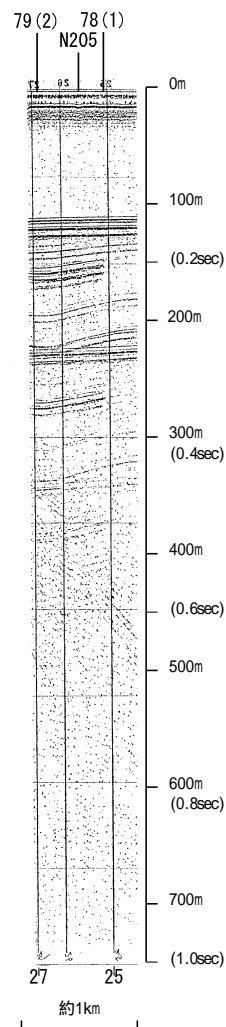
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D ₁ 層



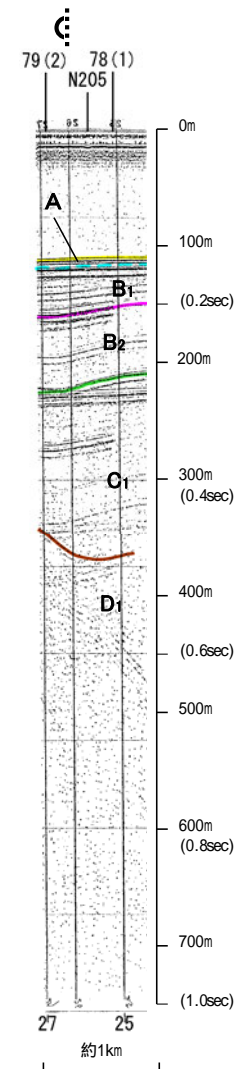
※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー 80-3

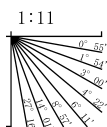
←N S→



←N S→
能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	中新世	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D ₁ 層



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー 78(1),78(2),78(3)

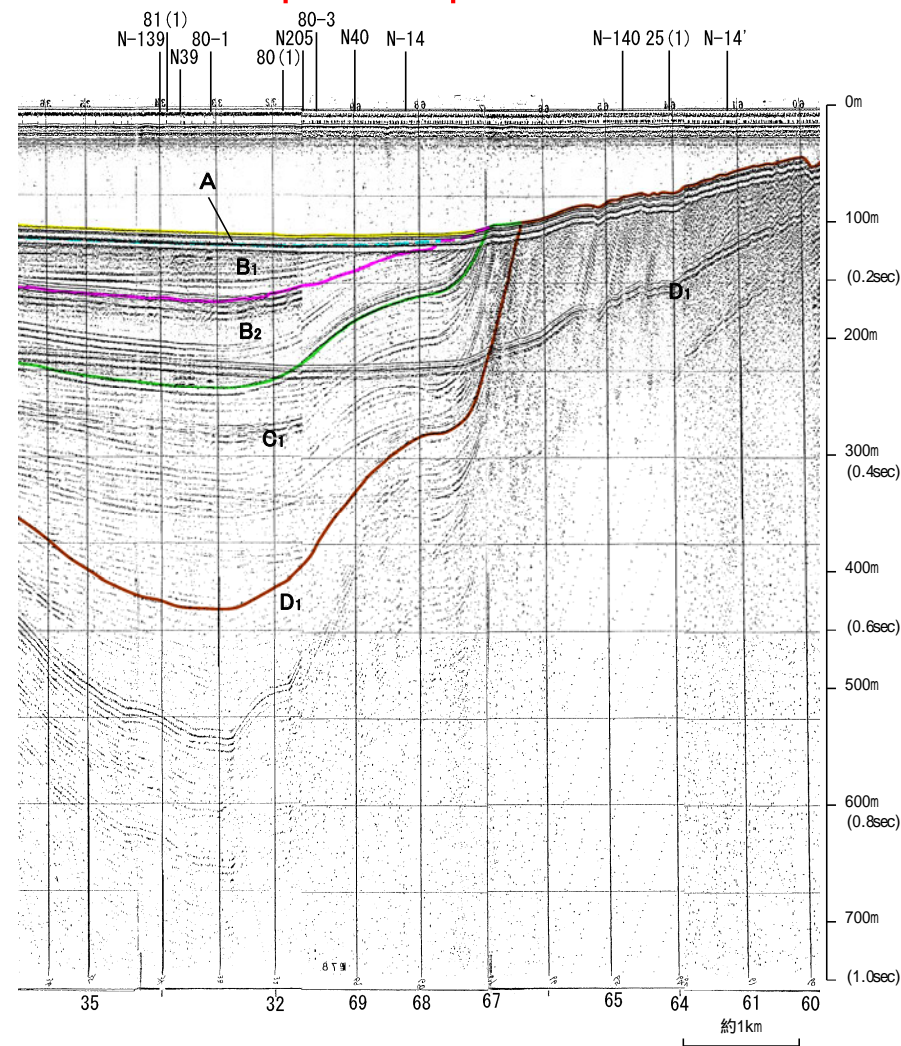
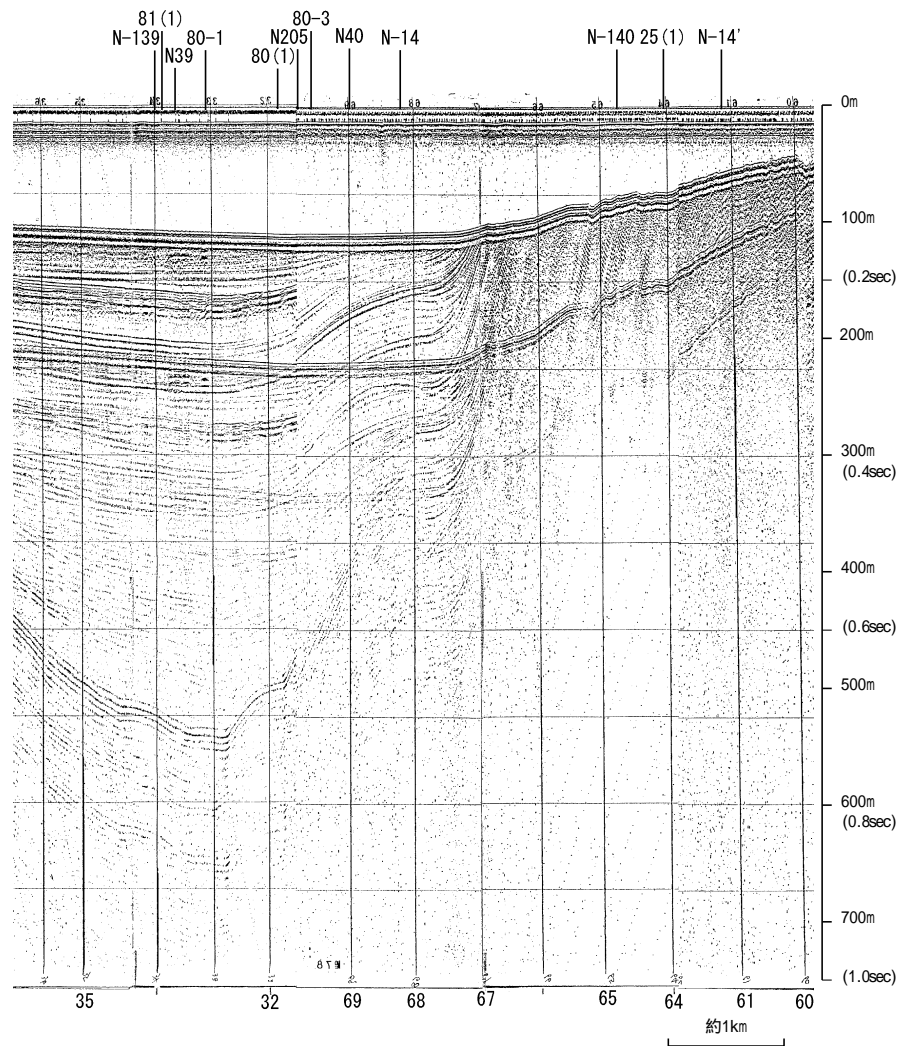
←W

E→

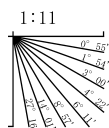
←W

E→

能登半島北部沿岸域断層帯

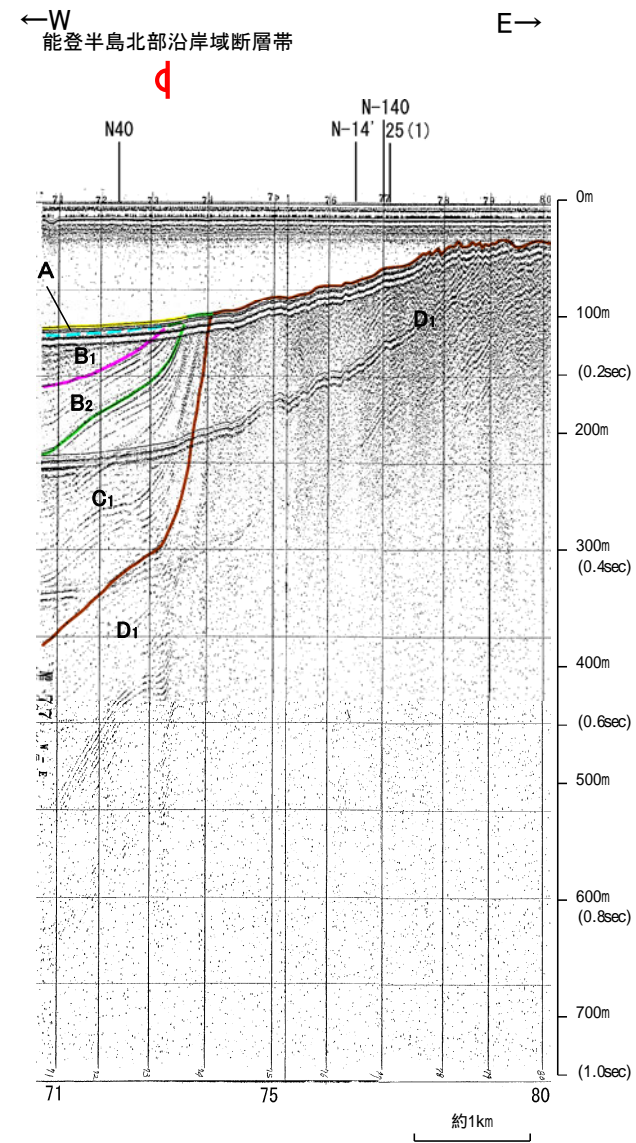
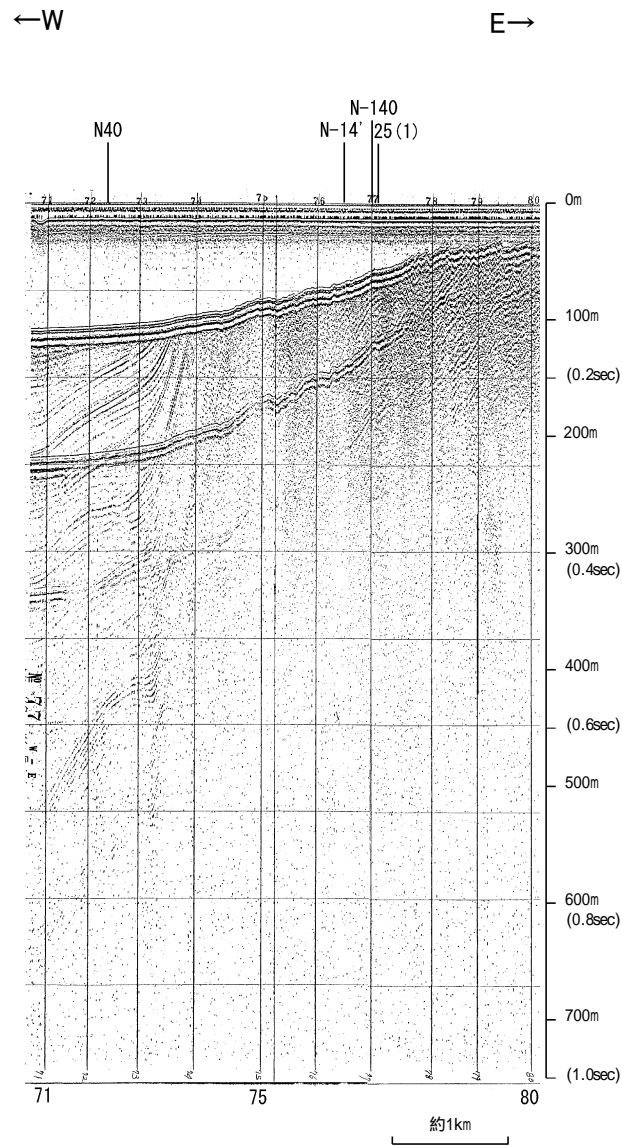


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
		B ₃ 層
前期	C層	
第三紀	新第三紀	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
	古第三紀	D ₃ 層
先第三紀	D ₄ 層	

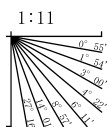


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

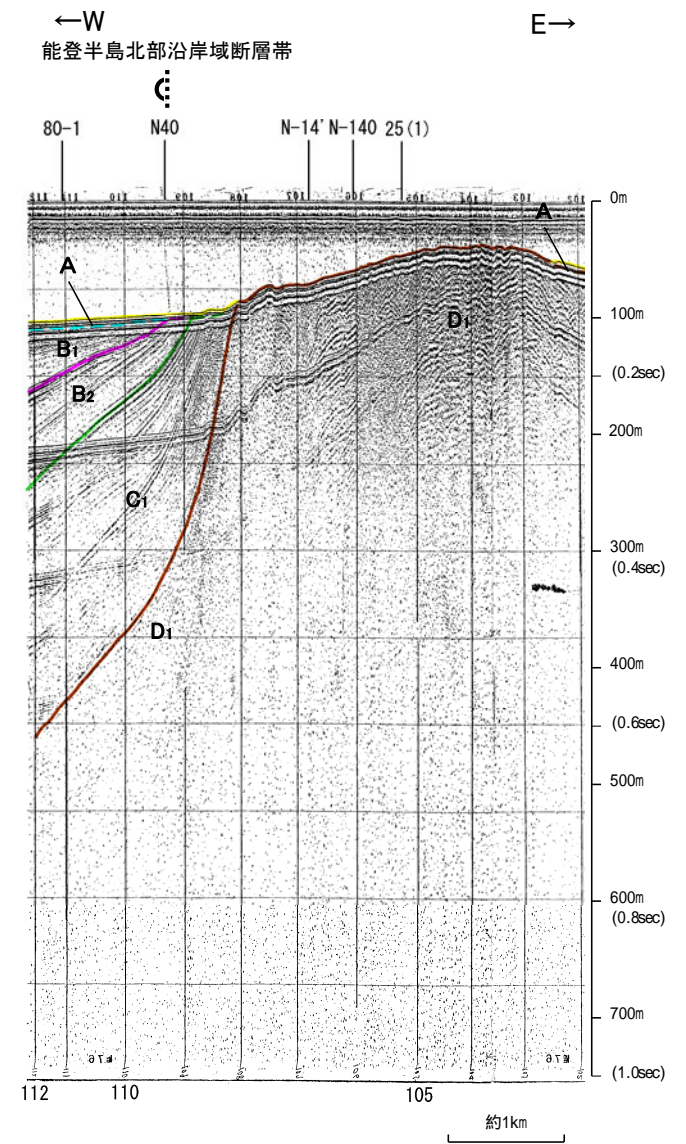
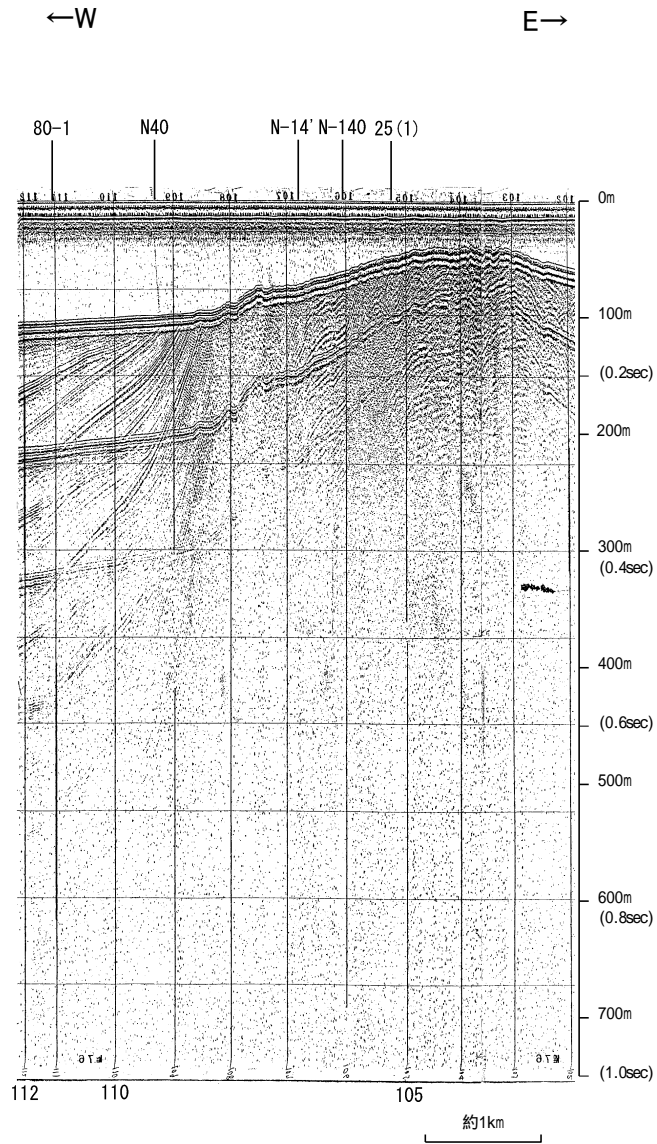
海上保安庁スパーカー 77



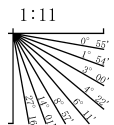
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B層
		B層
	前期	C層
第三紀	D層	
中新世	D層	
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



海上保安庁スパーカー 76



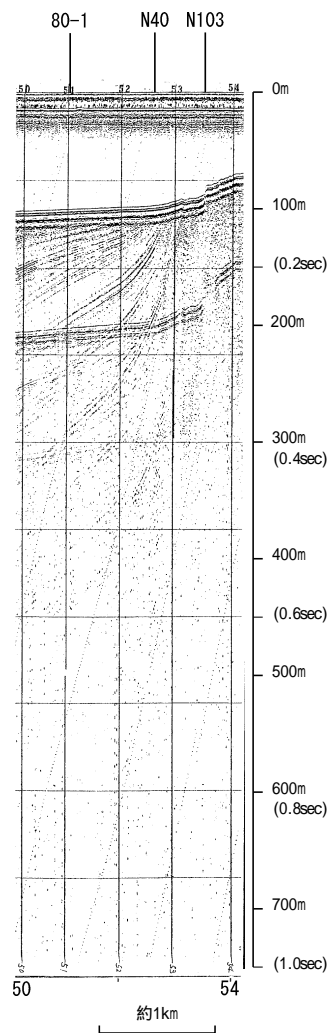
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D ₁ 層



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

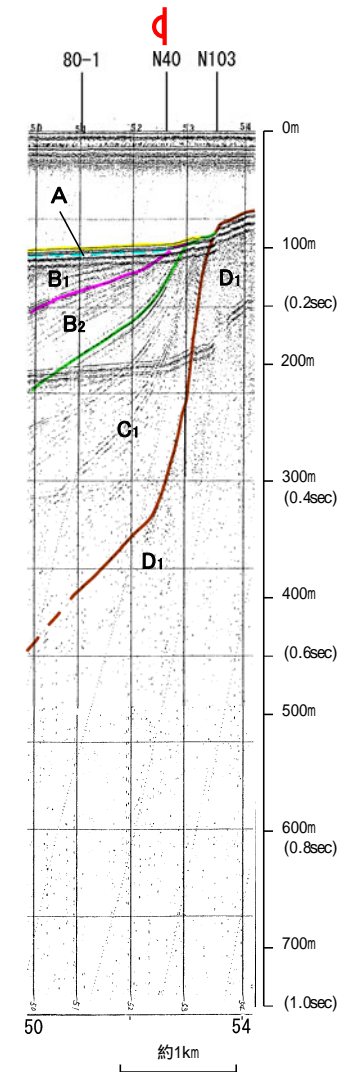
海上保安庁スパーカー 75-1

←W E→

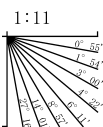


←W E→

能登半島北部沿岸域断層帯

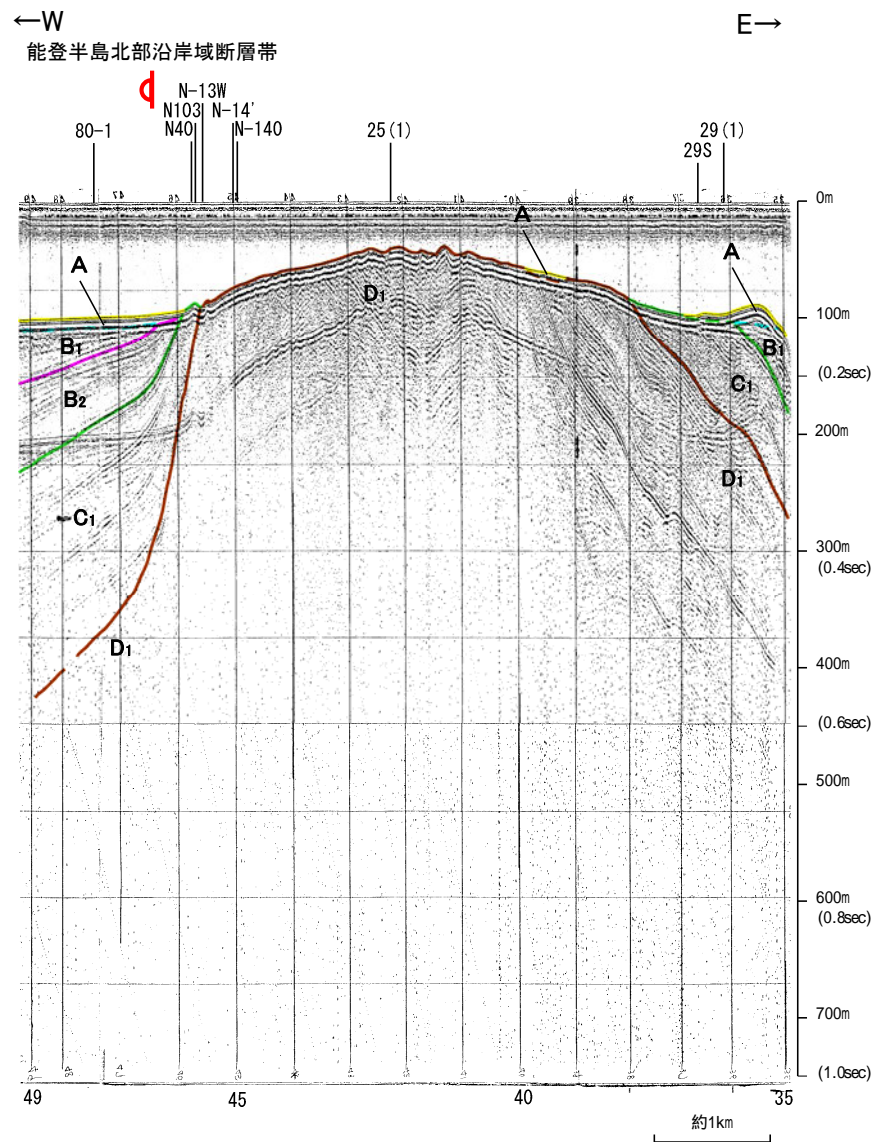
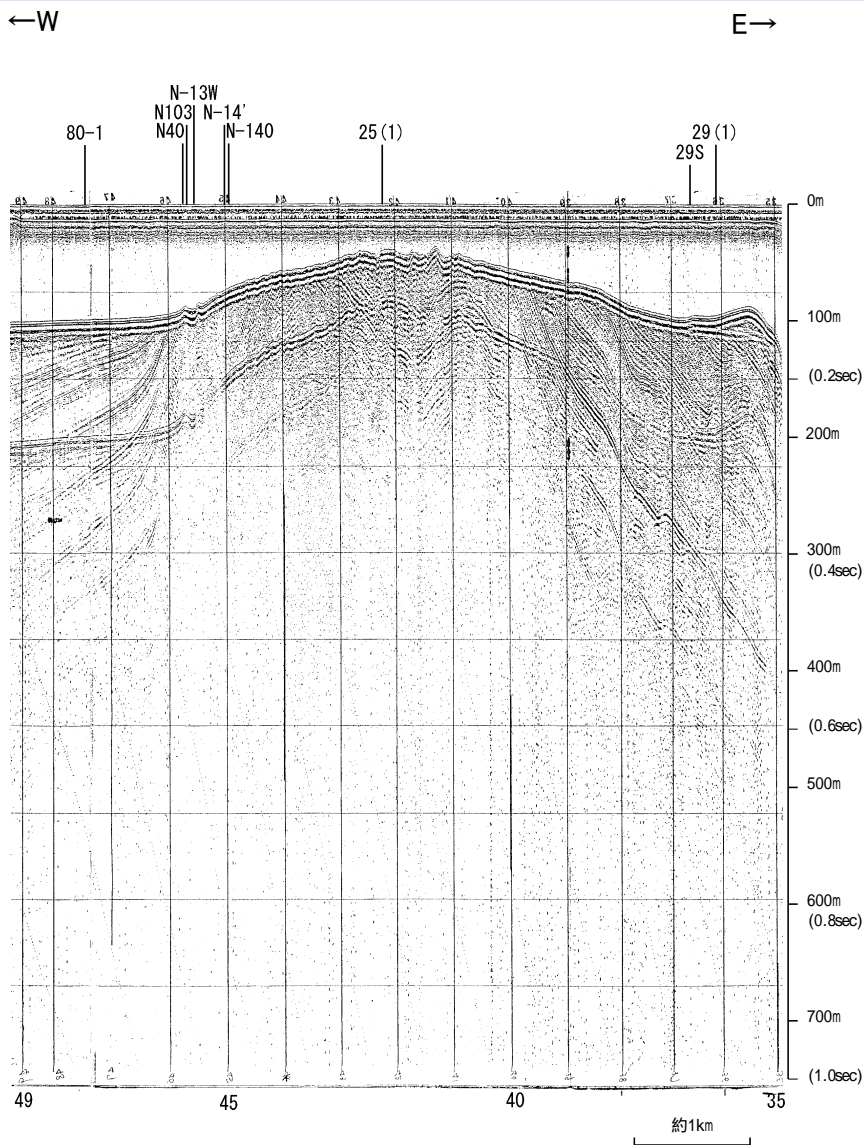


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D ₁ 層

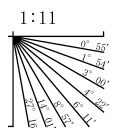


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー 75



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層
	古第三紀	D ₁ 層
先第三紀	D ₂ 層	



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

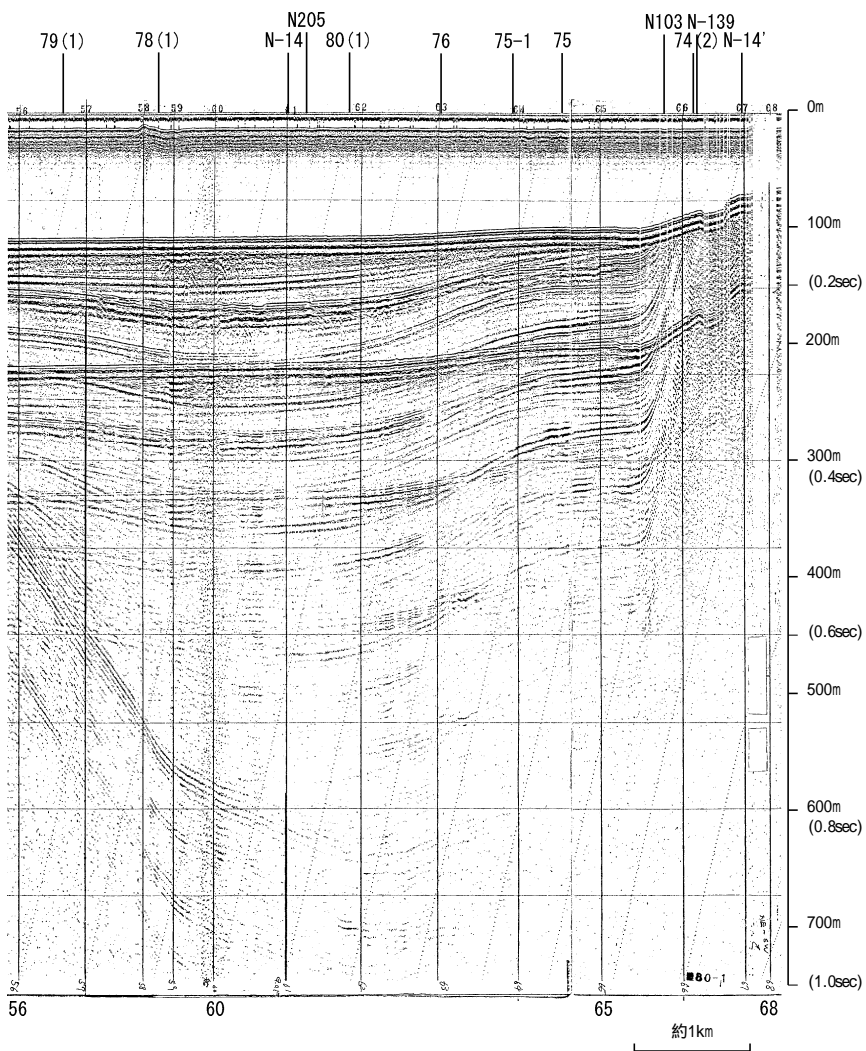
海上保安庁スパーカー 80-1

←NW

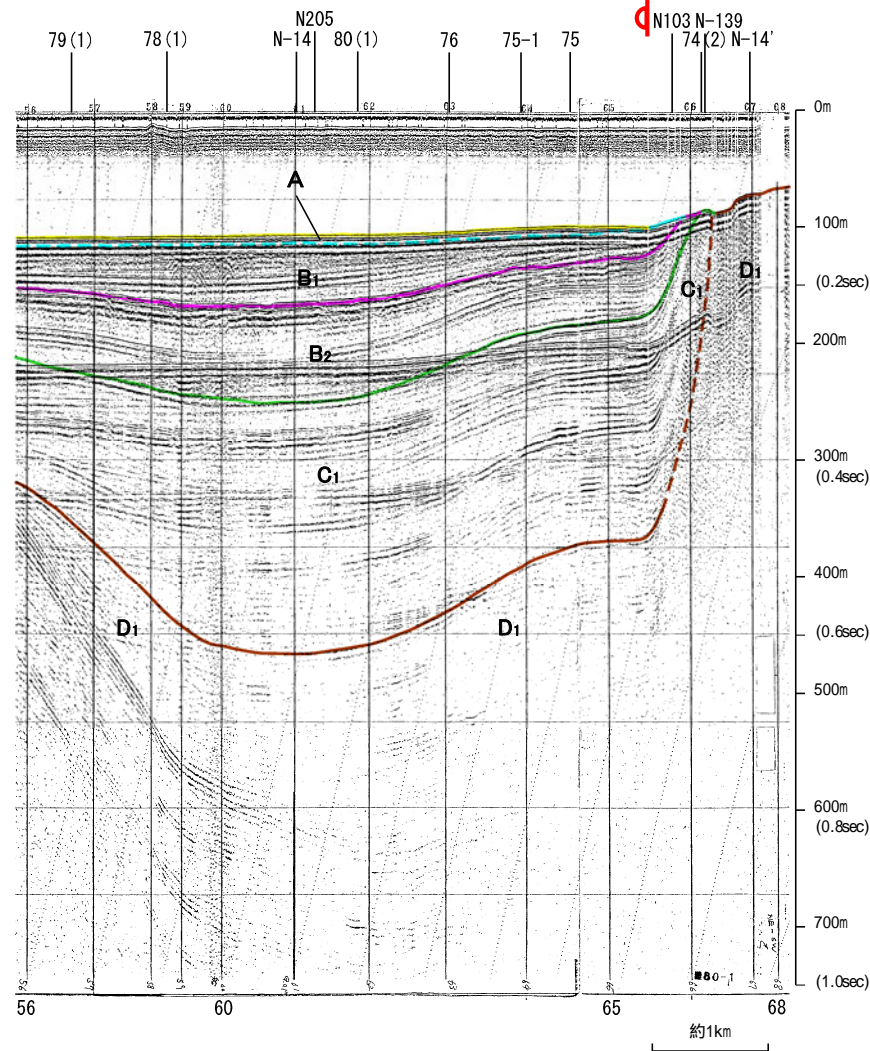
SE→

←NW

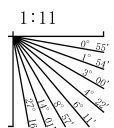
SE→



能登半島北部沿岸域断層帯

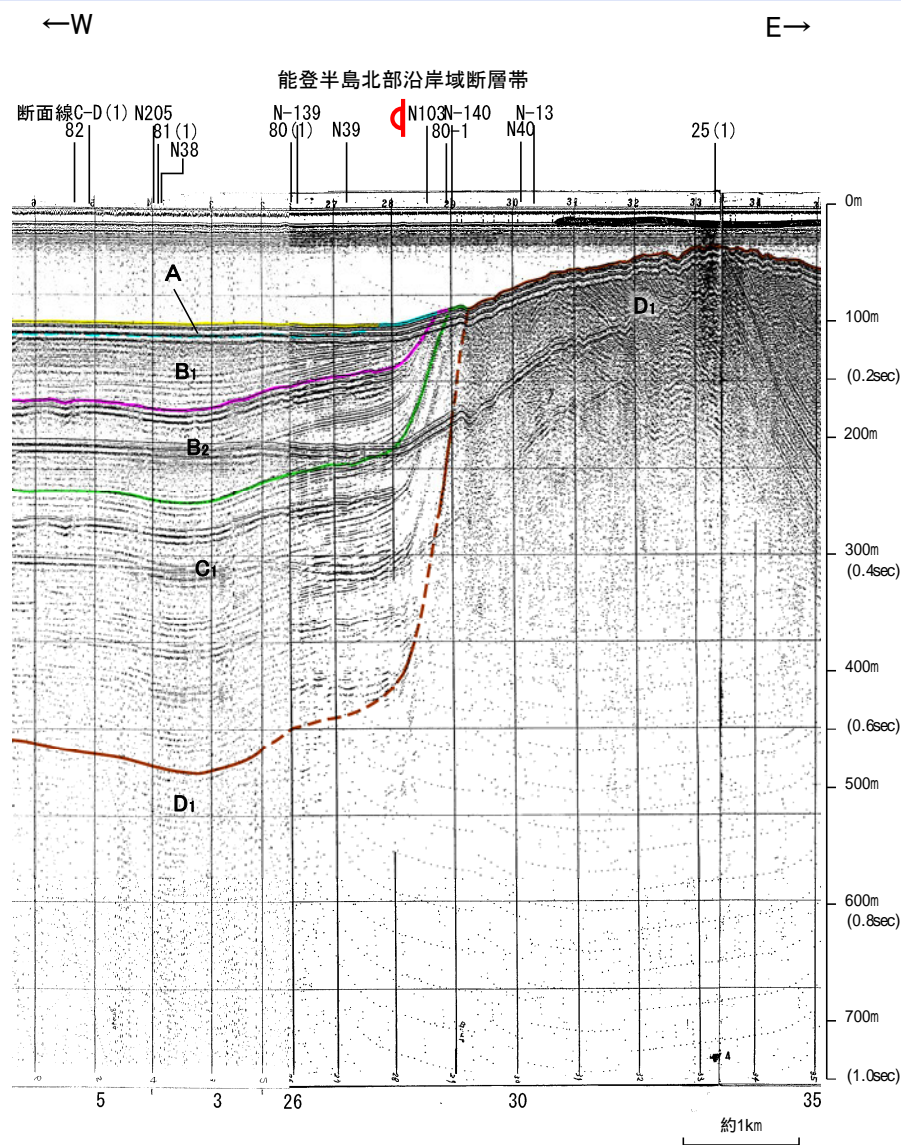
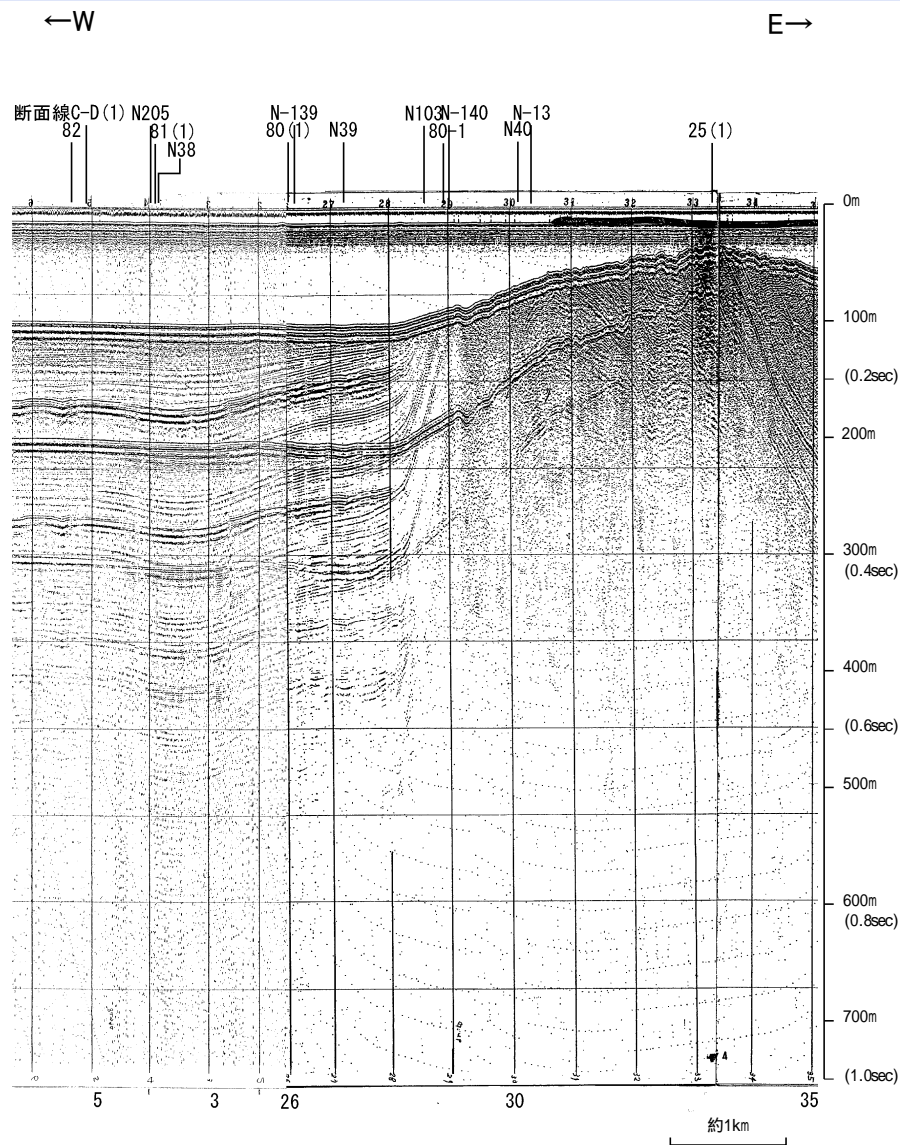


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D ₁ 層

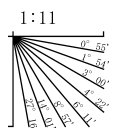


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー 74(1),74(2)



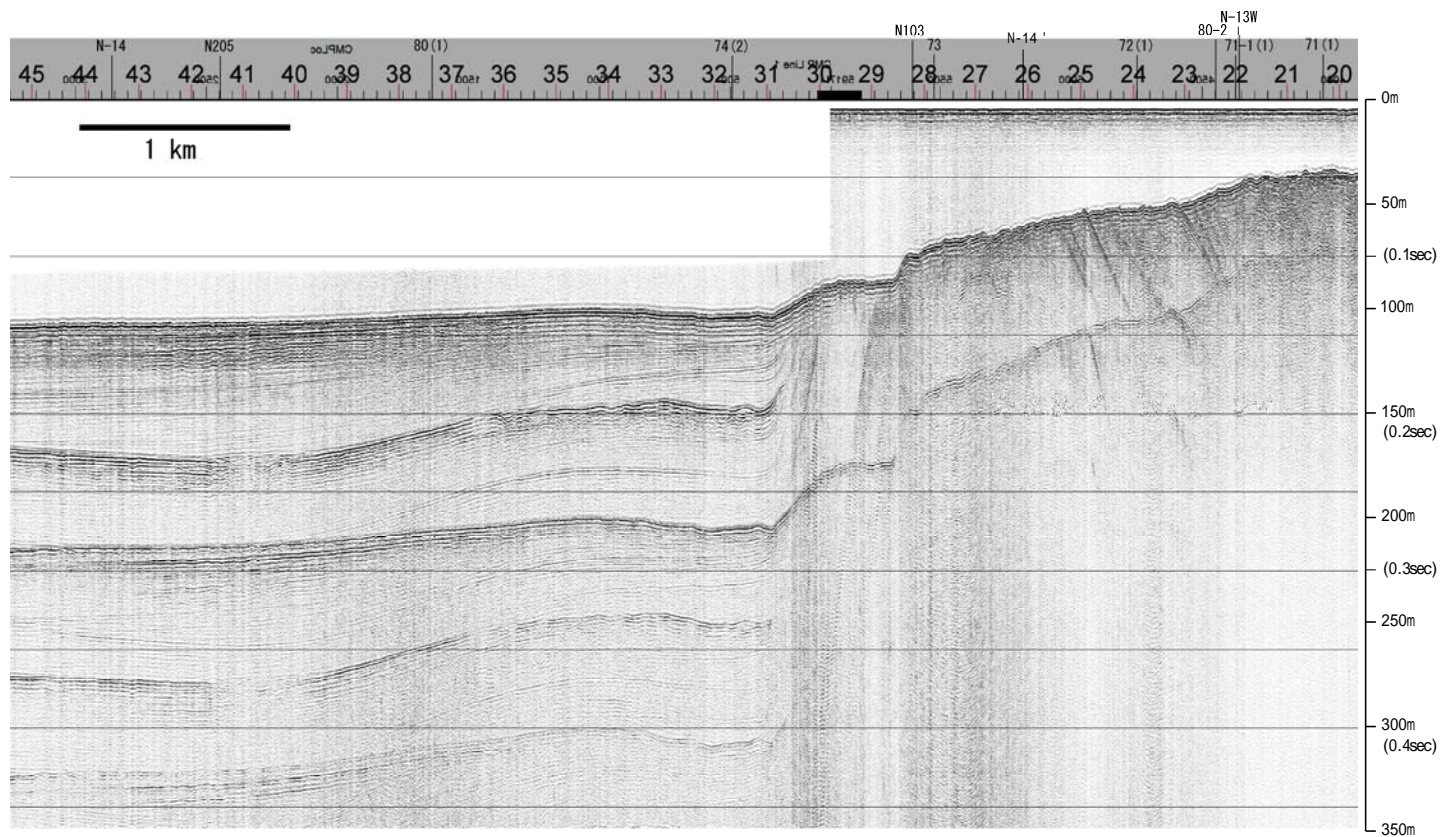
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層



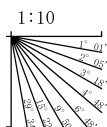
産総研ブーマー N39

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
		B層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

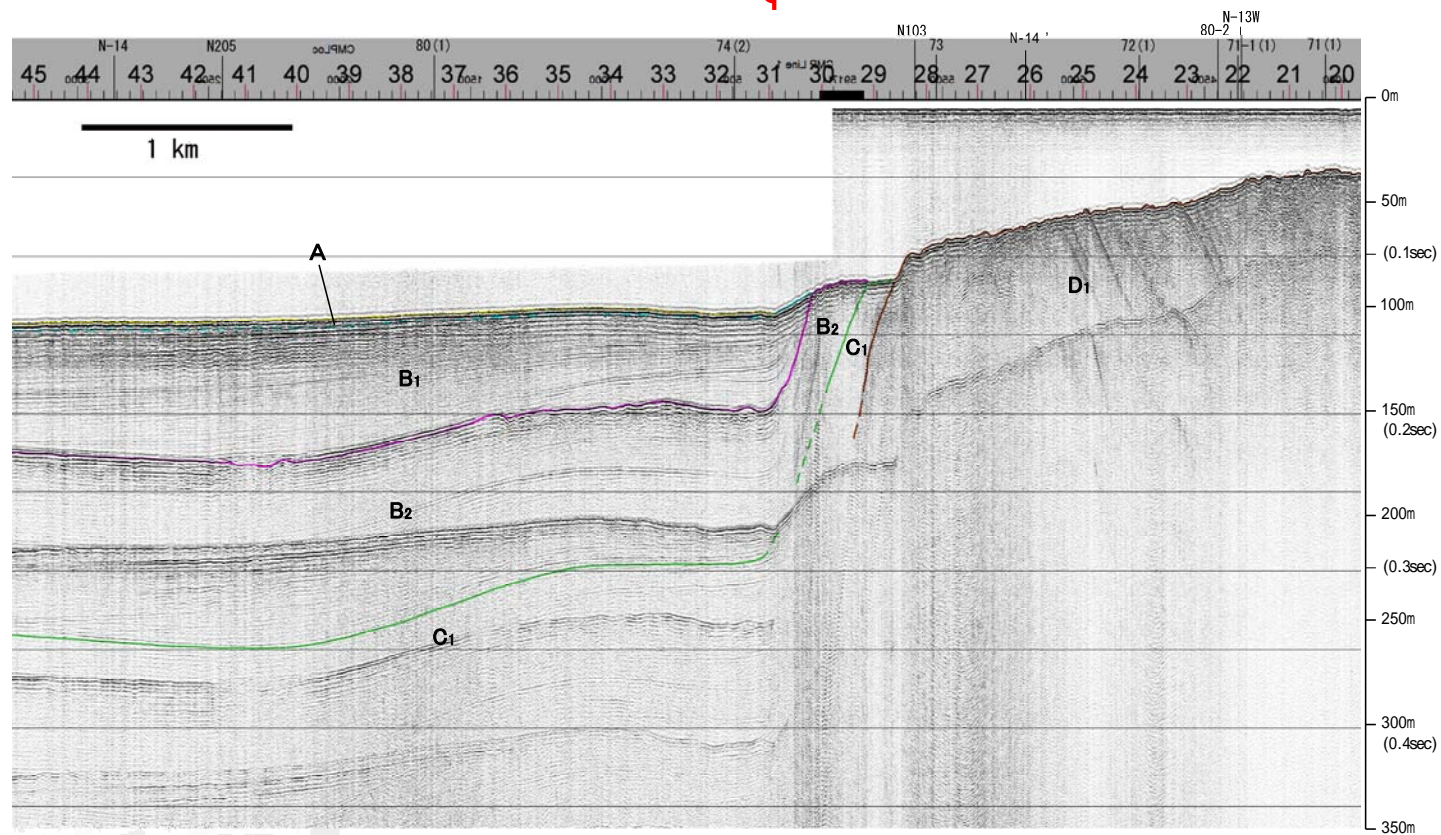


←NNW

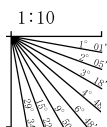
SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

d



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B ₁ 層
		前期	B ₂ 層
			B ₂ 層
新第三紀	鮮新世	C層	
新第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₂ 層	



※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである